


実践的データ分析コース
～開催記録～



平成27年6月

I. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(中国会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
開催形態	特別講座
日程	2015年1月10日～11日 9:30～17:30
会場	広島市まちづくり市民交流プラザ マルチメディア実習室
会場所在地	広島県広島市
申込者数	33名
受講者数	20名(企業5名、教員15名)
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	10名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 中国総合通信局

I. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(中国会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=20

地域	広島県広島市 [13]			広島県東広島市 [1]	広島県呉市 [2]	岡山県岡山市 [3]	山口県宇部市 [1]
産業分野・業種	建設 [1]	サービス (ICT関連) [2]	コンサルティング [1]	学校・教育機関 [15]			その他 [1]
所属部門	マーケティング [1]	コンサルティング [1]	情報システム [3]	研究開発 [9]		教育 [5]	その他 [1]
組織規模	19人以下 [3]		100～499人 [11]		500～999人 [3]	1000人以上 [3]	
地位・役職	一般社員 [9]			係長・主任 [3]	課長 [4]	部長 [2]	経営者・役員 [1] その他 [1]
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の事務所または部門で取り組んでいる [4]		取り組みを検討している [14]			取り組みの予定はない [2]	
分析ツールの使用経験	1年以上 [3]	1年未満 [3]	未経験 [14]				

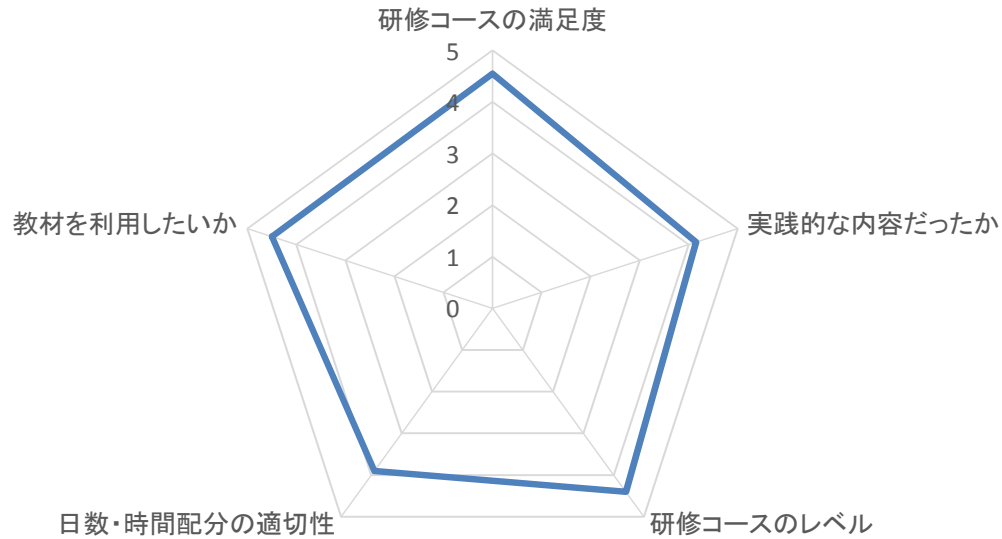
2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=10

地域	広島県広島市 [7]			広島県呉市 [1]	岡山県岡山市 [2]
産業分野・業種	建設 [1]	コンサルティング [1]	学校・教育機関 [7]		その他 [1]
所属部門	マーケティング [1]	コンサルティング [1]	情報システム [1]	研究開発 [4]	教育 [2]
勤務先での立場	フリーランス で活動して いる講師 [1]	大学、専門学校等の教員 [7]			その他 [2]
インストラクター経験	3年以上 [5]		3年未満 [1]	未経験 [4]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

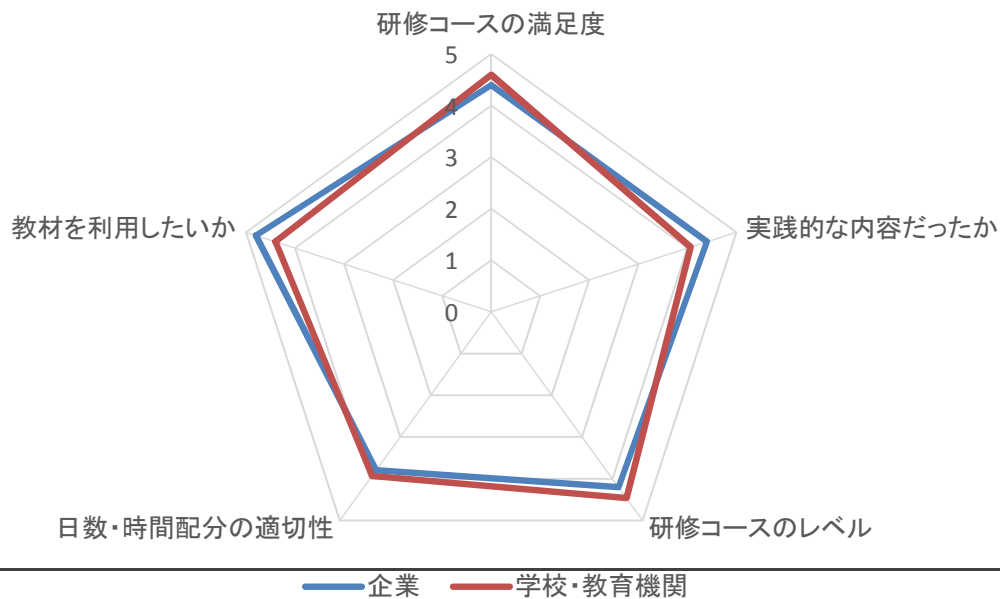
- Linuxシステム管理、スマホアプリ開発、プロジェクトマネジメント
- ネットワークエンジニア, ネットワーク研究者
- 岡山県情報サービス協会の会員企業 社員(エンジニア)
- 企業のコミュニケーション戦略立案者の育成

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



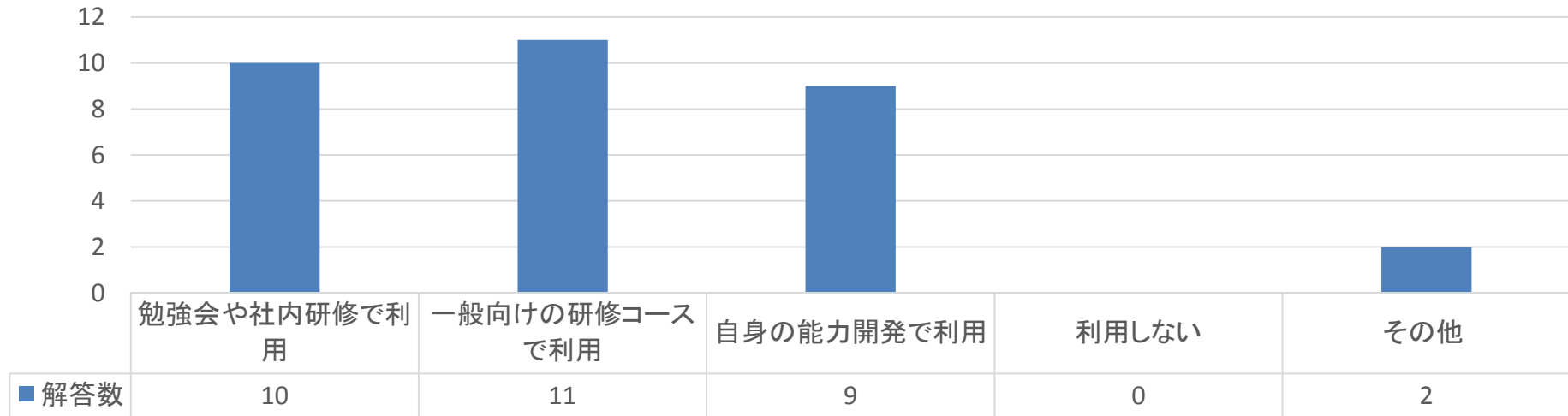
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.6	4.2	4.4	3.9	4.5

3-2. 研修コースの評価(立場別)

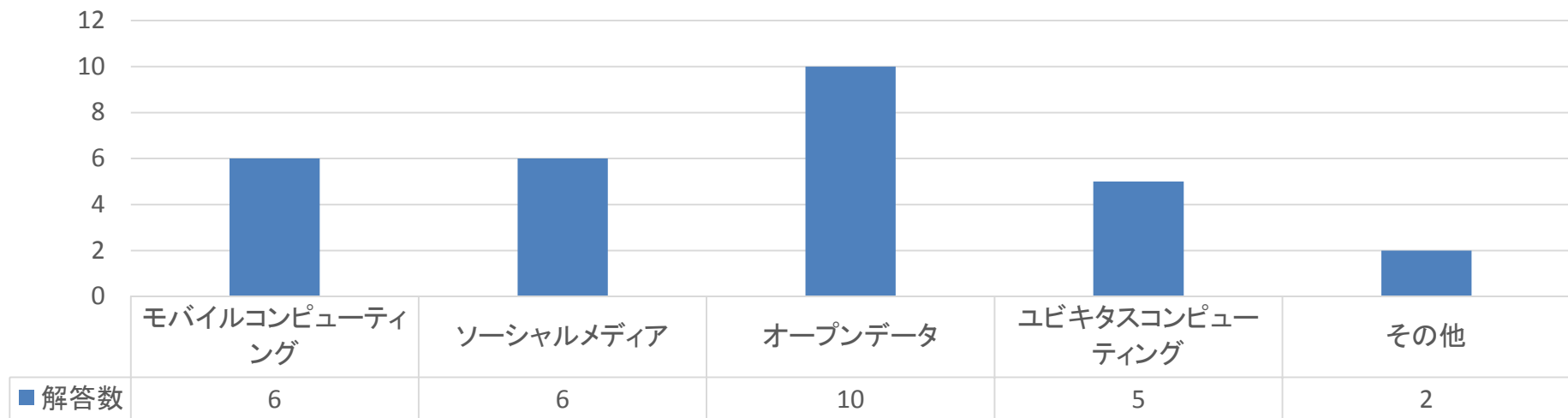


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.4	4.4	4.2	3.8	4.8
学校・教育機関	4.6	4.1	4.5	3.9	4.4

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 分析法に対するコースなどを充実させていただければ、又是非参加させていただきたい。→そもそも分析のみのコースがあれば期待したい
- 事前、事後テストの問題が重点項目と設定されているのなら、研修でも時間を多めにとったり、強調するなどの改善があるとより効果的だと思います
- 簡単な用語の解説が欲しい

演習の内容

- 1回目のグループワークが、あまりビッグデータ活用に関係した内容になっていない気がします
- Excelのピボットの使用法を事前に詳しく説明した方が良い
- データ分析に関する実習にウエイトを置いた研修を実施していただければうれしいです
- 自分で研修を実施するときは、何パターンかのBIツールの演習パック(類似問題含む)があれば嬉しい。2日目午前のGWの演習のデータがあればBIツールの演習データとして活用したい。(すでに1度考えているので、理解がよい)

日数・時間配分

- BIツールを利用したデータ分析の時間をもう少しとっていただきたい
- PCを使用した演習の時間をもっと少し長くした方が良い

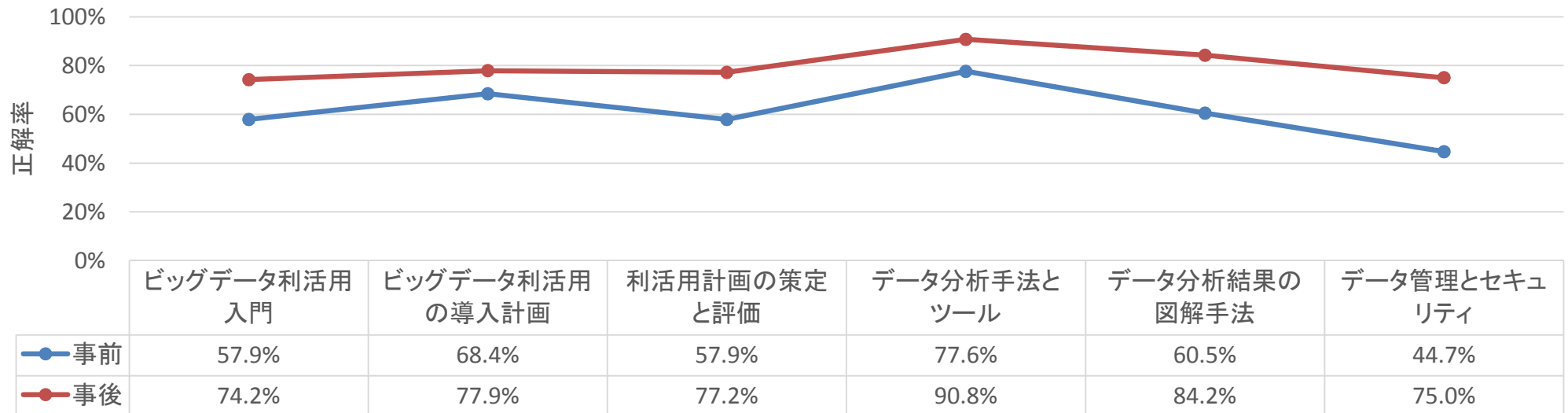
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
18.3	23.6

(30点満点)

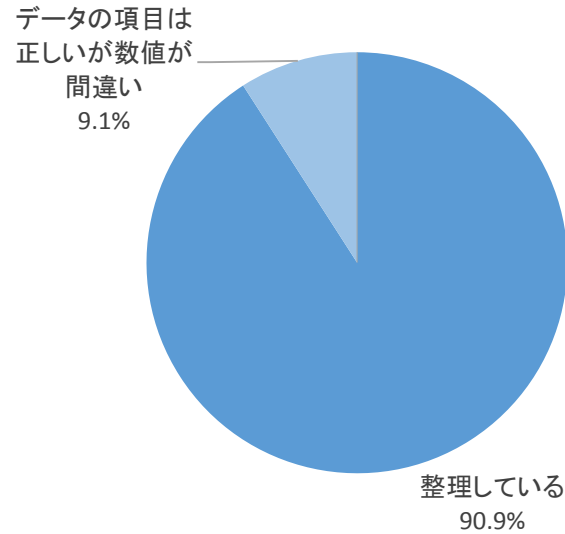
5.3点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

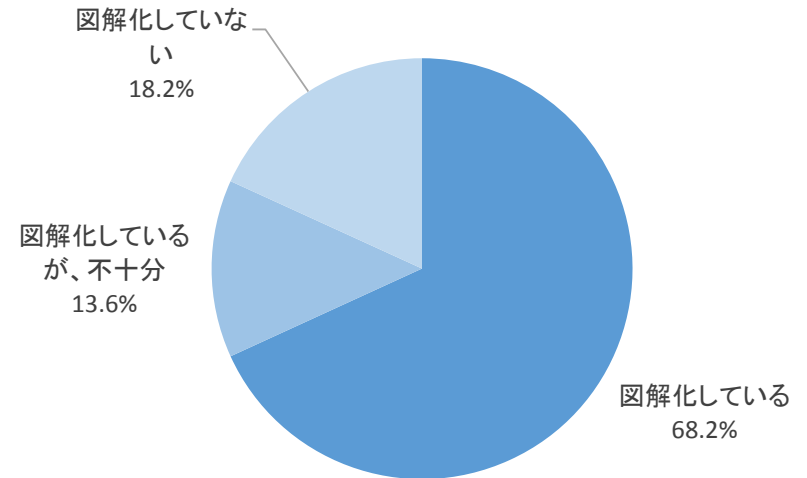


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

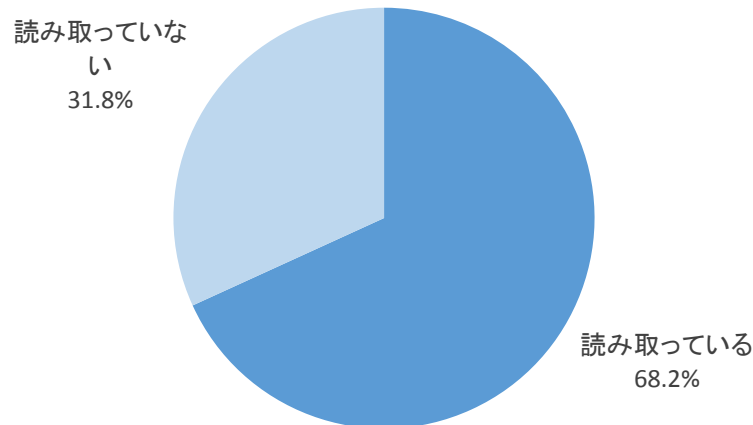
■ データを正しく整理しているか



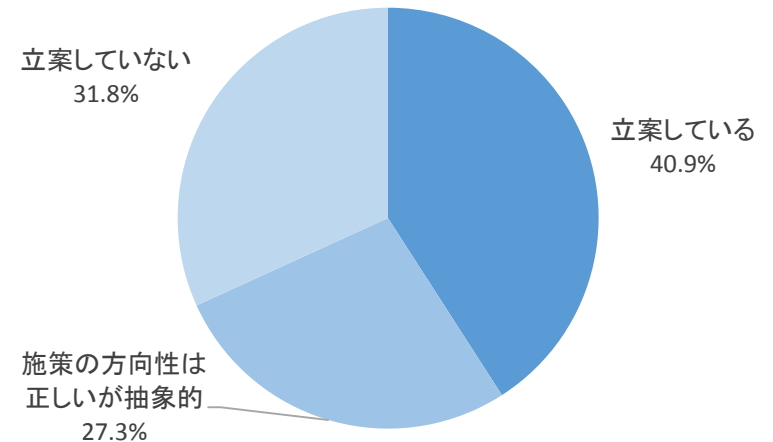
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

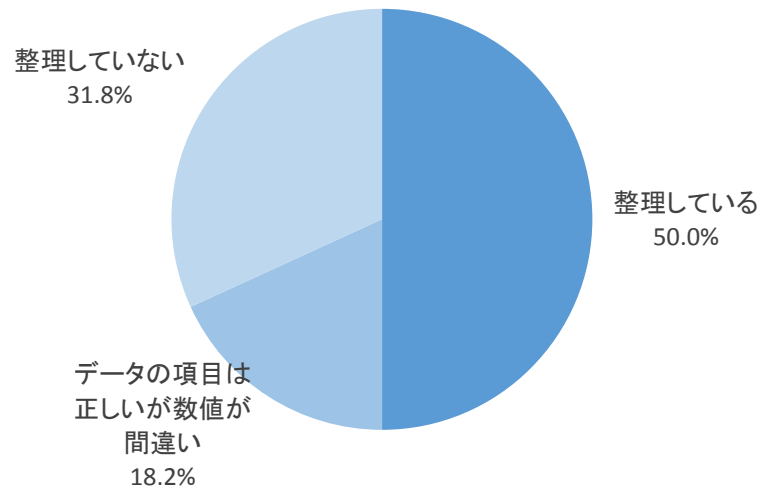


■ 考察から適切な施策を立案しているか

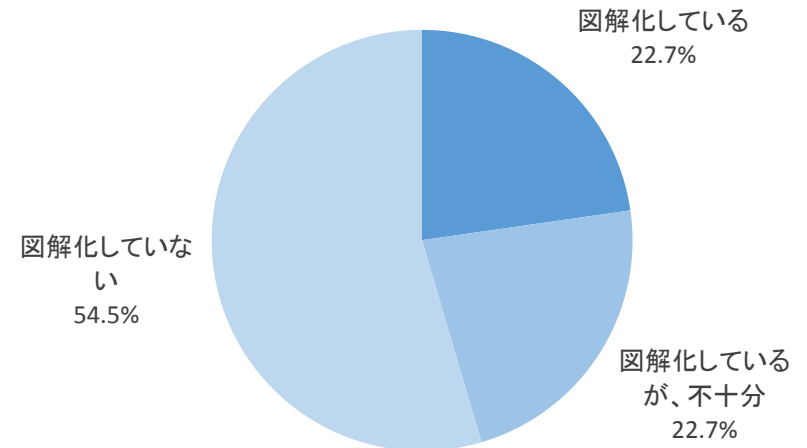


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

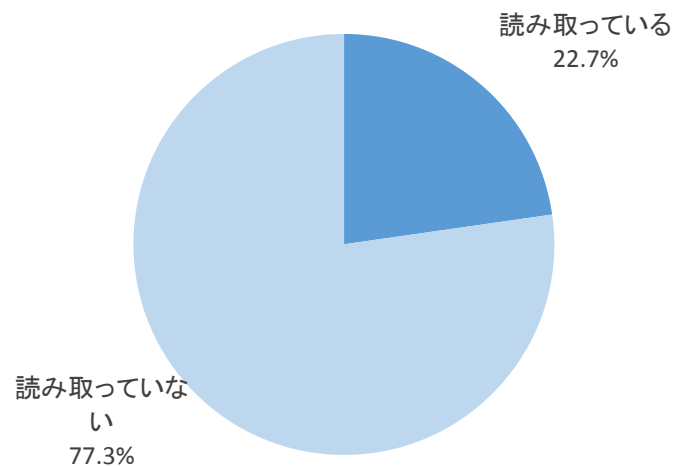
■ データを正しく整理しているか



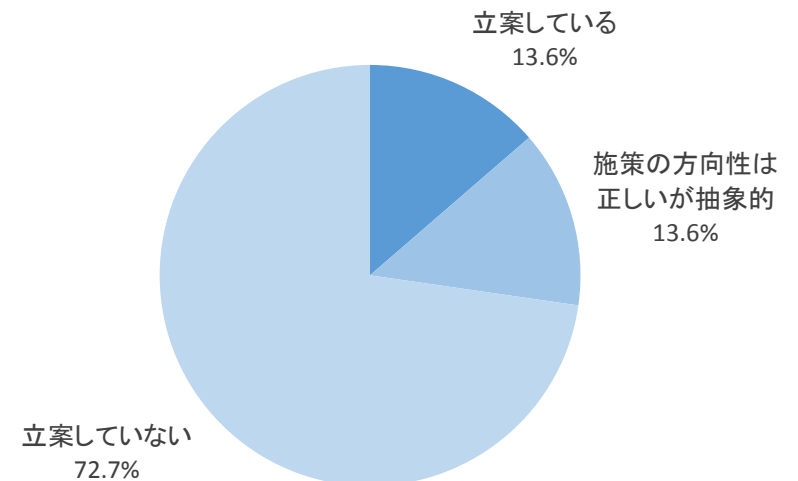
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: とてもスピードが速くて情報量が多く、自己学習をしないとたぶん追いつかないと思う。また、実際に活用するにはもう少し深いところをやらないと、なかなか活用できないと思うので部署に戻ったらその点を踏まえてやっていきたい。
- 受講者B: 帰ってから会員企業の方にどの様に展開していこうか考えている。
- 受講者C: 今回の研修に参加しなければ、実際自分でやってみることはなかった。いいきっかけになったと思う。これから日常的な業務に活かしていきたい。
- 受講者D: 企業内部の話など、日常の業務に役立つような内容だった。二日間ありがとうございました。
- 受講者E: 今まで、ビッグデータや分析に関して勉強する機会がなかったので、このような体系的に理解できる機会を与えていただいて非常に感謝している。広告の仕事をしているが、企画や戦略立案などに少しでも今回の演習を活かしていきたい。

9-2. 研修コースの感想(学校・教育機関) 1/2

- 受講者F: 今回の研修で、ビッグデータの大枠とタームが分かった。そこをそれぞれ勉強すれば、深堀出来るかなと思う。
- 受講者G: 二日間、幅広くいろんなことを学んだ。学生にどう教えるかはこれからよく考える必要があるが、前よりはだいぶいろんなことが分かってきたと感じている。
- 受講者I: ビッグデータがどのように何に使えるかがよく分かった研修だったと思う。学生指導にも活かしていきたい。
- 受講者J: 学生の成績など、いろんなメータを利用して、教員の能力によらない指導方法など、ビッグデータを利用して発見できないかなと思い参加した。
- 受講者J: 普段疑問に思っていたことをいろいろ教えていただいた。また、ビッグデータについて偏った考えがあったが、身近なもの(データ)で(分析)出来るということを教えていただいたことが一番良かった。

9-2. 研修コースの感想(学校・教育機関) 2/2

- 受講者K: (研修の成果を)できるだけ活かせるように頑張っていきたい。
- 受講者L: ビッグデータに関するいろんなポイントを勉強をできてよかった。これから、データマイニングとWebマイニングの授業を持つが、そこに活かしていきたい。
- 受講者M: ビッグデータについては全く素人で、この研修を受けていろんなことが身に付いたと思う。あと、チームの方に恵まれて、ビッグデータのみならず、さまざまな話が聞けたことが大きな財産になった。
- 受講者N: 今回ビッグデータに関して、ある程度知識は得られたと思うが、まだまだ勉強しないと学生に広く教えていくことは出来ないと思うので、今後も勉強を続けていきたい。
- 受講者O: 浅く広くという感じだったが、大まかなところは大体理解できたと思う。また、個人的に深掘したいところがあるので、勉強を続けていきたいと思う。
- 受講者P: 受講するまで、ビッグデータについて部分的に分からないことがたくさんあったので、総合的に話を聞けて大変良かった。また、ビジネス関係の話は大学にいるとわからないので、どういうところに注意しながら話したら良いか聞けて良かった。
- 受講者Q: 世の中に利用可能な教材は結構増えているが、インストラクター研修付の機会というのはなかなか無いので貴重だった。二日目はずっと演習だったが、学んだ知識と演習が合わさって良かったなという感じがあるので、(自分で研修を開催する際は)演習を出来るだけ取り入れていきたいと思う。
- 受講者R: Excelでデータをまとめる作業に手間がかかった。個人的には、NoSQLの講習会があれば参加したい。
- 受講者S: ずっと周りにあるデータで使えるデータと使えないデータを考えていたが、非常に考えることが多かった。

Ⅱ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(信越会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	信越(長野県、新潟県)
開催形態	研修コース
日程	2015年1月15日～16日 9:15～17:15
会場	ポリテクセンター長野 36番教室
会場所在地	長野県長野市
申込者数	15名
受講者数	15名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	6名
講師	日本サード・パーティ株式会社 関口大五郎
協力	総務省 信越総合通信局

Ⅱ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(信越会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=15

地域	長野県長野市 [6]		長野県松本市 [1]	長野県上田市 [1]	長野県諏訪市 [1]	新潟県新潟市 [4]		新潟県長岡市 [1]	神奈川県横浜市 [1]	
産業分野・業種	製造(ICT関連) [3]		通信 [1]	サービス(ICT関連) [6]			コンサルティ ング [1]	学校・ 教育機 関 [1]	官公庁・自治体 [2]	その他 [1]
所属部門	営業・販売 [2]	マーケ ティング [1]	コンサルティング [2]	情報システム [6]			研究開発 [3]		その他 [1]	
組織規模	19人以 下 [1]	20～99 人 [1]	100～499人 [7]			500～999人 [4]		1000人以上 [2]		
地位・役職	一般社員 [4]		係長・主任 [2]	課長 [5]			部長 [3]		経営 者・役 員 [1]	
勤務先でのビッグ データ利活用状況	一部の事務所または部門で取り組 んでいる [4]			取り組みを検討している [10]					その他 [1]	
分析ツールの使用 経験	1年以上 [4]		1年未満 [3]		未経験 [8]					

2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=6

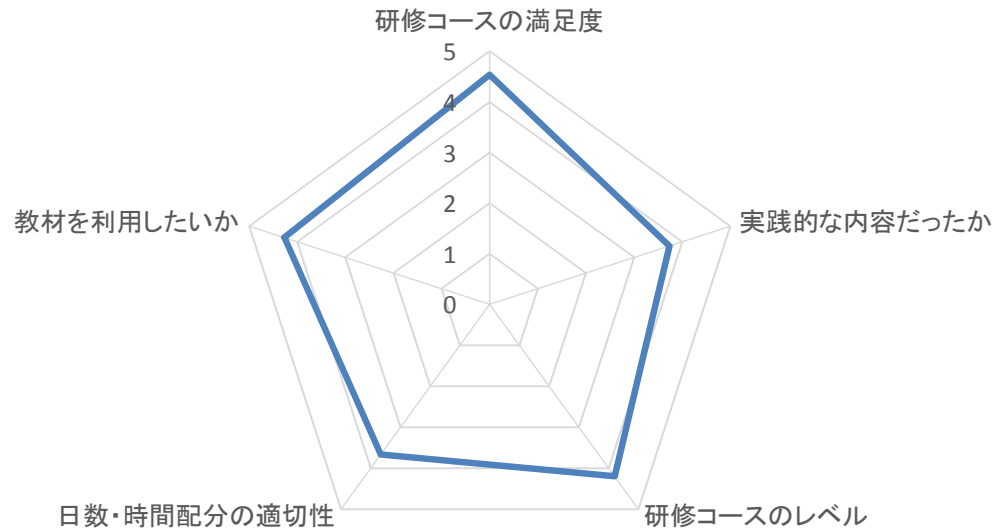
地域	長野県長野市 [3]		長野県松本市 [1]	新潟県新潟市 [1]	新潟県長岡市 [1]
産業分野・業種	通信 [1]	サービス(ICT関連) [2]	コンサルティング [1]	学校・教育機関 [1]	官公庁・自治体 [1]
所属部門	コンサルティング [2]		情報システム [1]	研究開発 [2]	教育 [1]
インストラクター経験	3年以上 [3]		3年未満 [1]	未経験 [2]	
勤務先での立場	大学、専門学校等の教員 [2]		その他 [4]		

現在、取り組んでいる人材育成の分野

- C言語、C++言語
- プログラマの育成
- 上流SE全般
- 情報化人材(自治体)

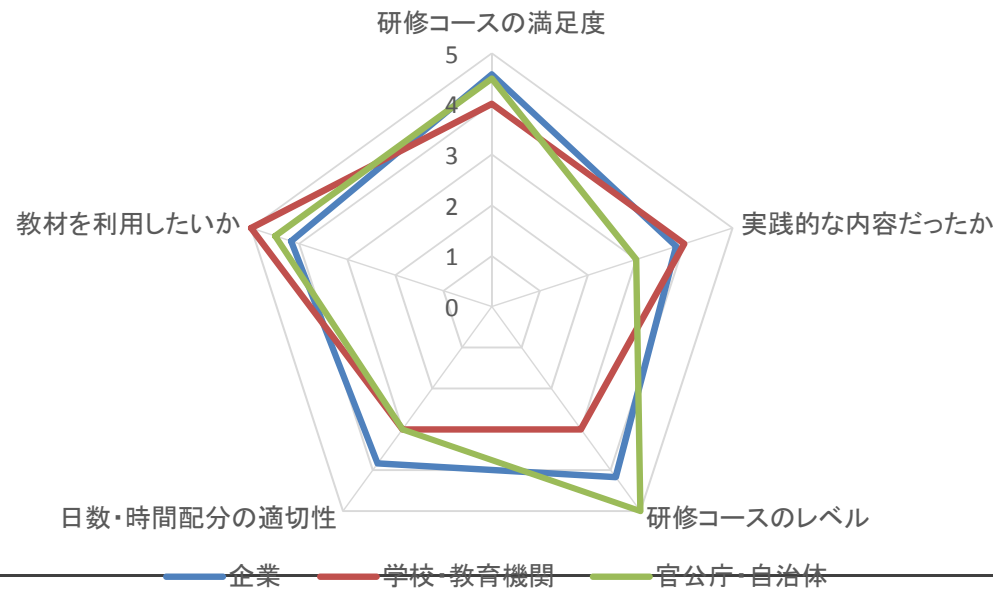
Ⅱ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(信越会場)」～開催記録～

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



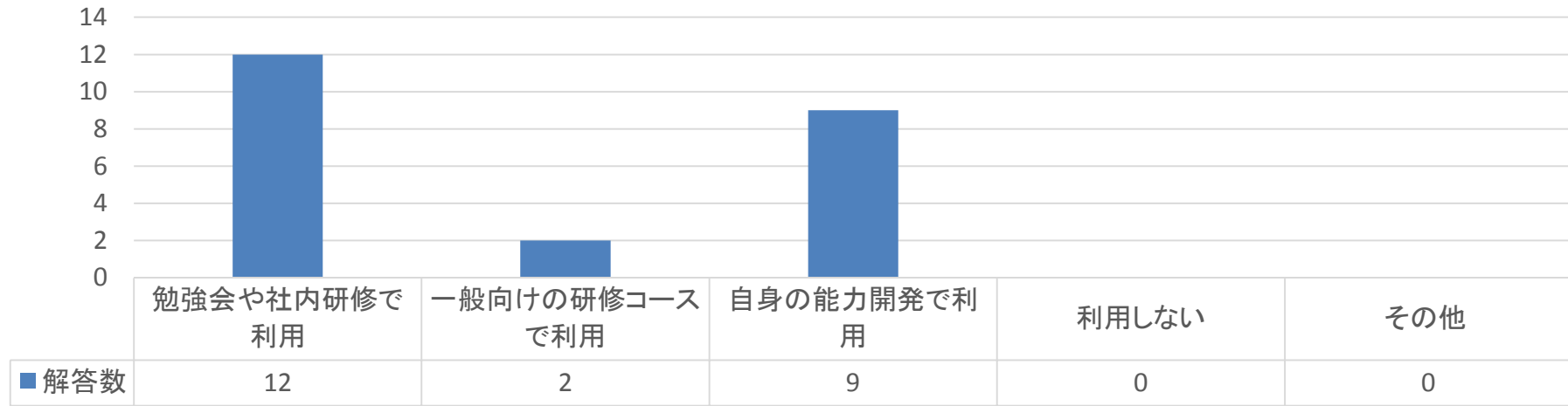
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.5	3.7	4.2	3.7	4.3

3-2. 研修コースの評価(立場別)

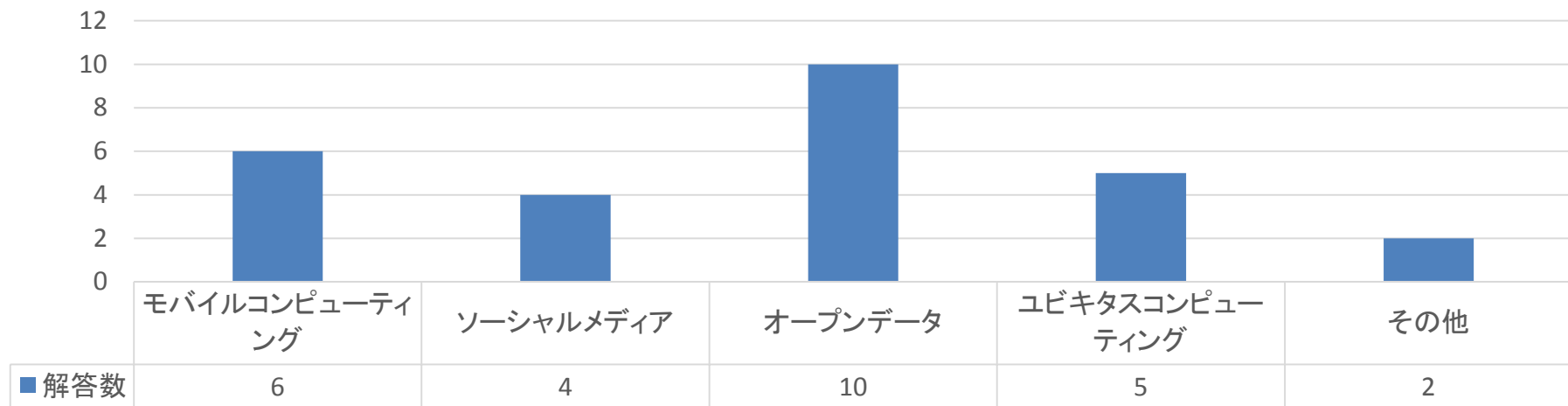


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.6	3.8	4.2	3.8	4.2
学校・教育機関	4.0	4.0	3.0	3.0	5.0
官公庁・自治体	4.5	3.0	5.0	3.0	4.5

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 演習の解答例(1日目)があるとよい
- RFM分析やSWOT分析などのフレームワークなども学びたかった

演習の内容

- BIツールは、後ですぐに使えるよう、フリーのものが良い
- ディスカッションなどもっと多くても良いかと思う

日数・時間配分

- もう一步踏み込んだ、実践的な内容になると良いかと感じました。(特に分析の部分) →時間が短いせいもあると思います
- さらに深い内容も別にコースがあっても良いと思う

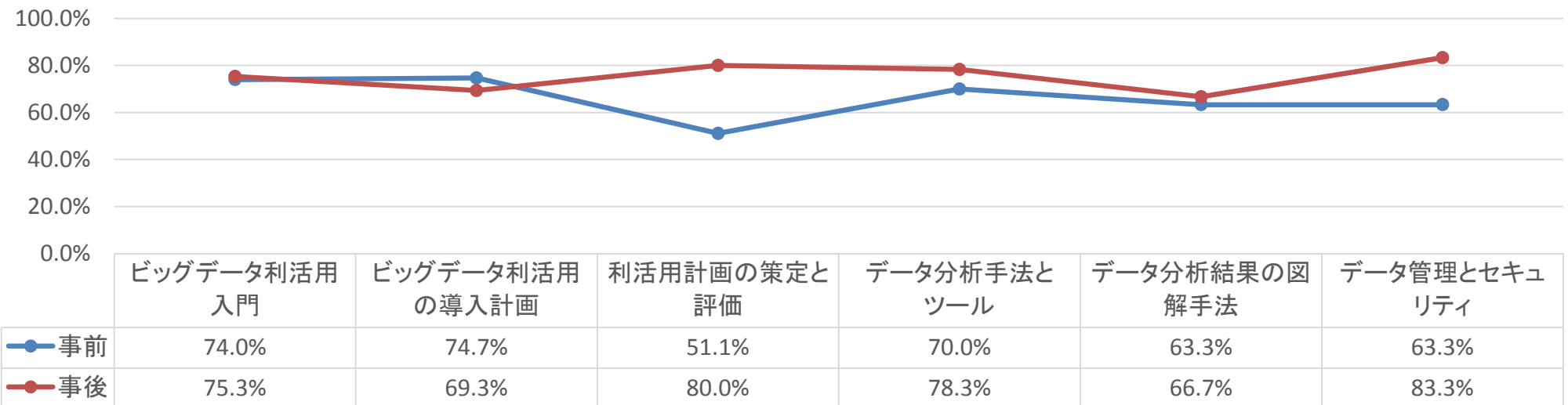
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
20.5	22.5

(30点満点)

2.0点UP

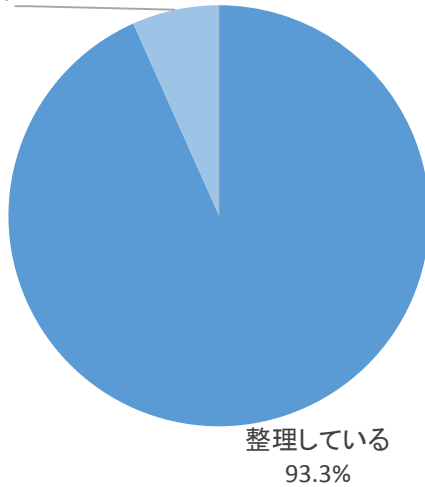
■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率



8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

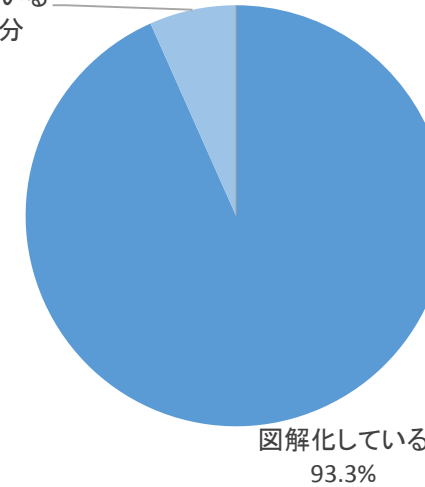
■ データを正しく整理しているか

データの項目は正しいが数値が間違い
6.7%



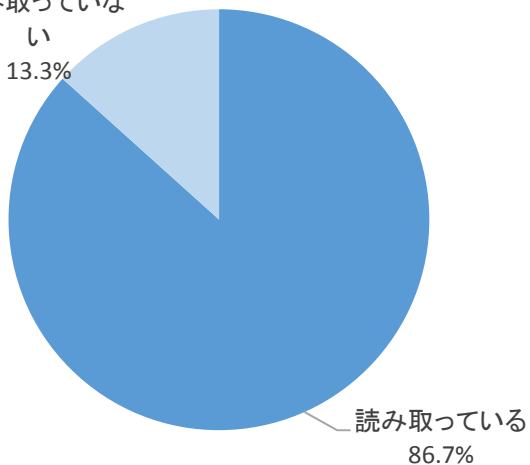
■ 適切に図解化しているか

図解化しているが、不十分
6.7%



■ 分析結果を正しく読み取っているか

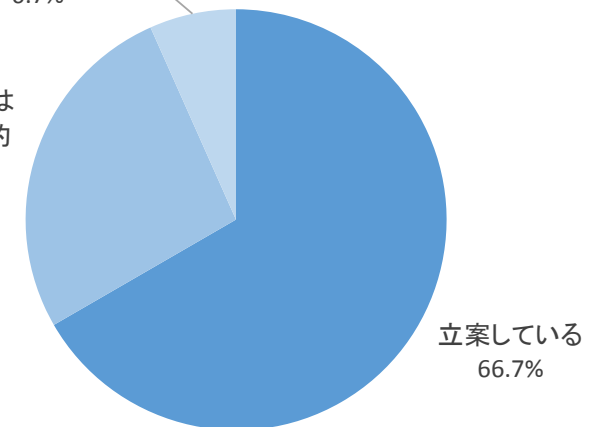
読み取っていない
13.3%



■ 考察から適切な施策を立案しているか

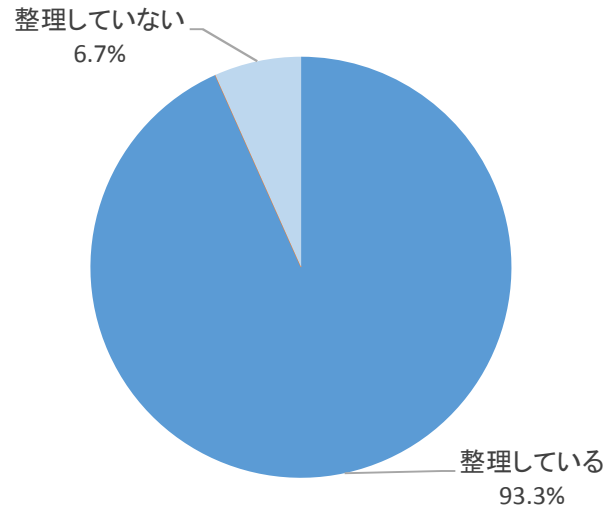
立案していない
6.7%

施策の方向性は正しいが抽象的
26.7%

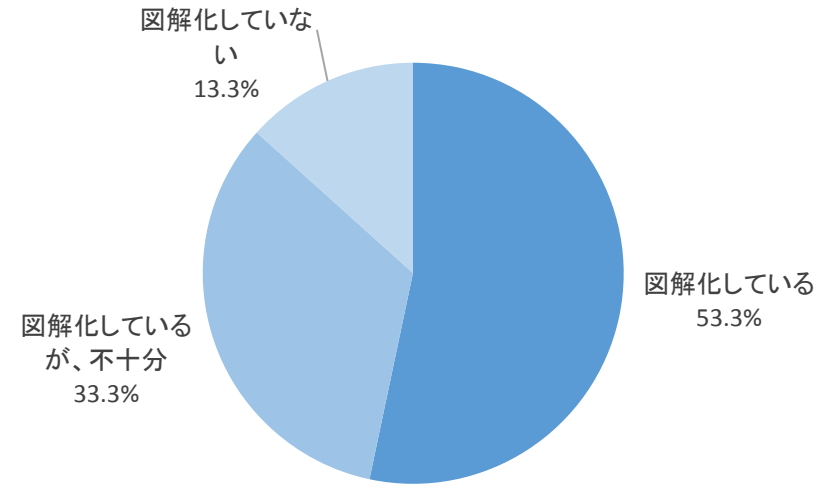


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

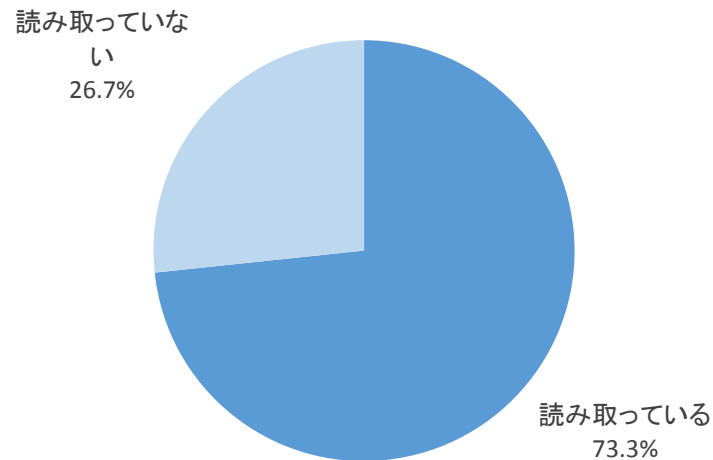
■ データを正しく整理しているか



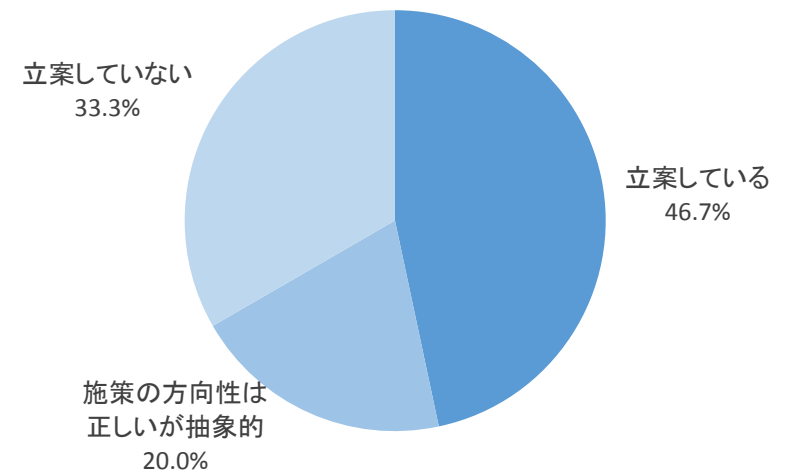
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: 雑学程度の甘い気持ちで参加したがとても大変だった。どうもありがとうございました。
- 受講者B: 貴重な時間を体験できた。これをきっかけに勉強していこうと思う。
- 受講者C: ビッグデータという名前に惑わされ、とてつもなく巨大でなければいけないと思っていたが、身近なところからでも出来るようなので、これから活用できればと思う。
- 受講者D: 2日間でかなりの量を聞くことができ、本当に貴重な時間だった。また、手を動かしてデータ分析の概要を学ぶことができた。(ビッグデータについて)もっと雲の上の存在で遠いところにあると思っていたが、小さく始めていけることが理解できて本当に良かった。
- 受講者E: 基礎的なところが非常に分かりやすかった。最後、実際に手を動かしてみても分かったことは、自分の感覚的なところを磨いていかないとデータを分析するというのは難しいと感じた。
- 受講者F: こういう内容を自己学習するというのはけっこうハードルが高いので、体系的に一連の流れが学べて、実習までできたので非常に有意義だった。
- 受講者G: 非常に網羅性の高い研修だった。自分たちのビジネス、お客様のビジネスに活かしていく一つのきっかけになればと思って参加したが、ある程度、学習やツールの経験を積んでいくということが重要になってくることが分かった。非常に有意義だった。
- 受講者H: 参加する前は、ビッグデータは言葉だけしか知らなかったが全体像について理解することができた。
- 受講者I: ずっとビッグデータ分析に興味があり、地元でやってきたが、シナリオの策定や可視化の部分など、うまくいかない部分があった。そういった自分ができないところを詳しく教えていただいて、クリアになって良かった。
- 受講者J: お客様にビッグデータの利活用を提案するとき、どうやって進めればいいのか疑問だったが、結局PDCAサイクルを地道にまわすことが必要なんだということがわかった。ありがとうございました。
- 受講者K: とても分かりやすかった。テキストも分厚く内容も濃いものだったので、社内にも出していきたいと思う。
- 受講者L: 教えていただいたことを、今後も使っていけるようにしていきたいというのと、どうやって社内に拡散していこうかなというところを考えていきたい。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者M: 内容盛りだくさんで覚えることがたくさんあったが、一つ一つ時間が欲しかった。お願いとしては、勉強用のサイトとか書籍の案内があるとありがたい。
- 受講者N: 今後の施策等に活かしていきたいと同時に、自治体職員としては、オープンデータの公開という部分にも力を入れていくべきだと思った。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者O: 体系的に全体像が学べたことと、実際に演習が出来たことがすごく良かった。もうちょっと、RFM分析とか、ソート分析のような分析のフレームワークが欲しかった。

Ⅲ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(東北会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
開催形態	研修コース
日程	2015年1月22日～23日 9:30～17:30
会場	仙台ソフトウェアセンター ワークショップルーム1
会場所在地	宮城県仙台市
申込者数	26名
受講者数	20名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	4名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 東北総合通信局

Ⅲ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(東北会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=20

地域	宮城県仙台市 [11]					宮城県石巻市 [1]	宮城県黒川郡 [2]	福島県福島市 [1]	秋田県秋田市 [1]	岩手県盛岡市 [1]	岩手県一関市 [1]	新潟県新潟市 [2]
産業分野・業種	建設 [1]	製造(ICT関連) [3]	通信 [1]	卸売・小売 [1]	サービス [1]	サービス(ICT関連) [4]	学校・教育機関 [3]	官公庁・自治体 [4]			その他 [2]	
所属部門	経営企画 [1]	営業・販売 [2]	コンサルティング [3]		情報システム [6]			研究開発 [1]	製造・生産管理 [1]	総務・財務・経理 [2]	教育 [1]	その他 [3]
組織規模	19人以下 [2]	20～99人 [9]					100～499人 [2]	500～999人 [1]	1000人以上 [6]			
地位・役職	一般社員 [11]					係長・主任 [3]		課長 [3]		部長 [2]		経営者・役員 [1]
勤務先でのビッグデータ利活用状況	全体的に取り組んでいる [3]		一部の事務所または部門で取り組んでいる [4]			取り組みを検討している [9]				取り組みの予定はない [4]		
分析ツールの使用経験	1年以上 [2]	1年未満 [1]	未経験 [17]									

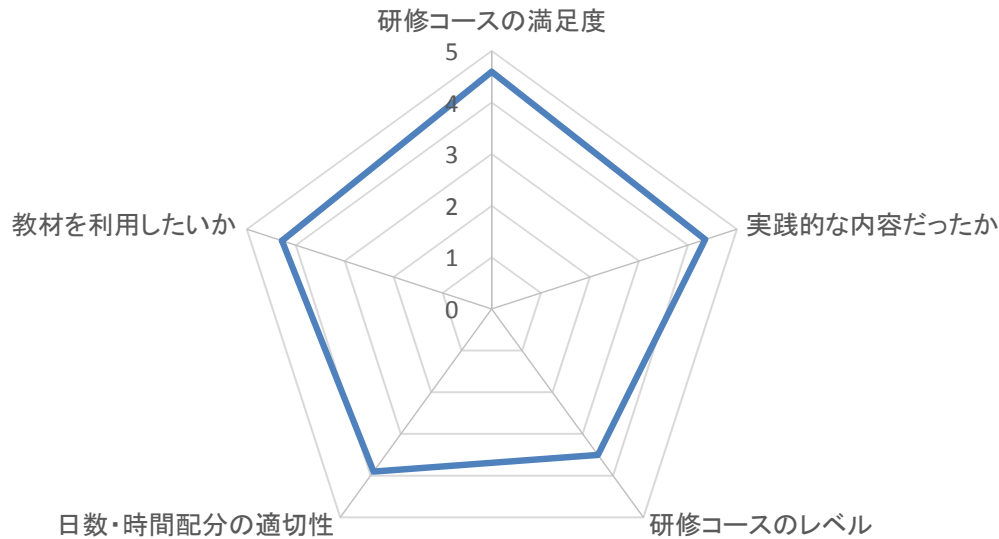
2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=4

地域	宮城県仙台市 [3]		福島県福島市 [1]
産業分野・業種	製造(ICT関連) [1]	サービス(ICT関連) [2]	
所属部門	情報システム [2]		研究開発 [1]
勤務先での立場	大学、専門学校等の教員 [1]	ユーザ企業の人材育成担当者 [1]	その他 [2]
インストラクター経験	3年以上 [3]		未経験 [1]

現在、取り組んでいる人材育成の分野

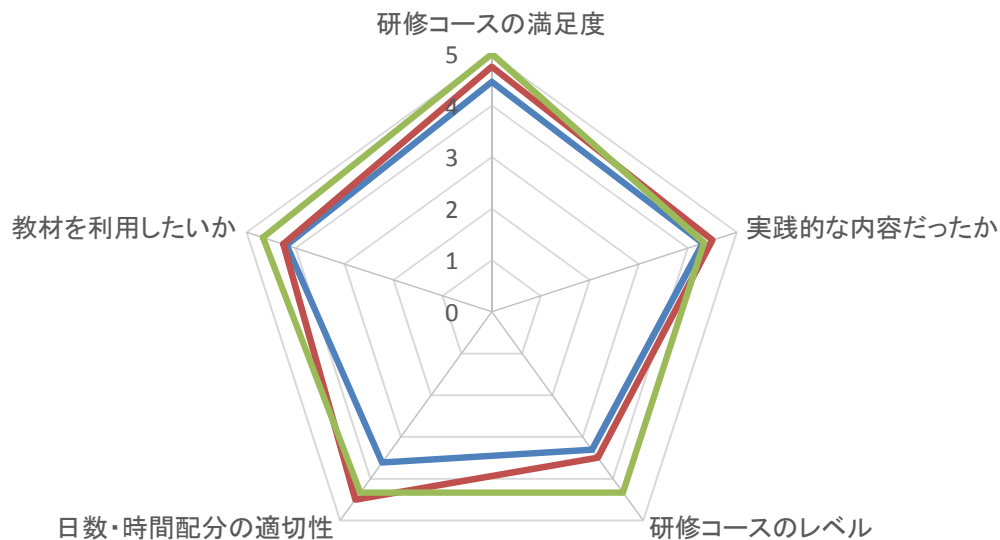
- Linuxエンジニア、クラウドエンジニアの育成
- スマートフォン向けアプリ開発者育成
- 情報工学・科学一般

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



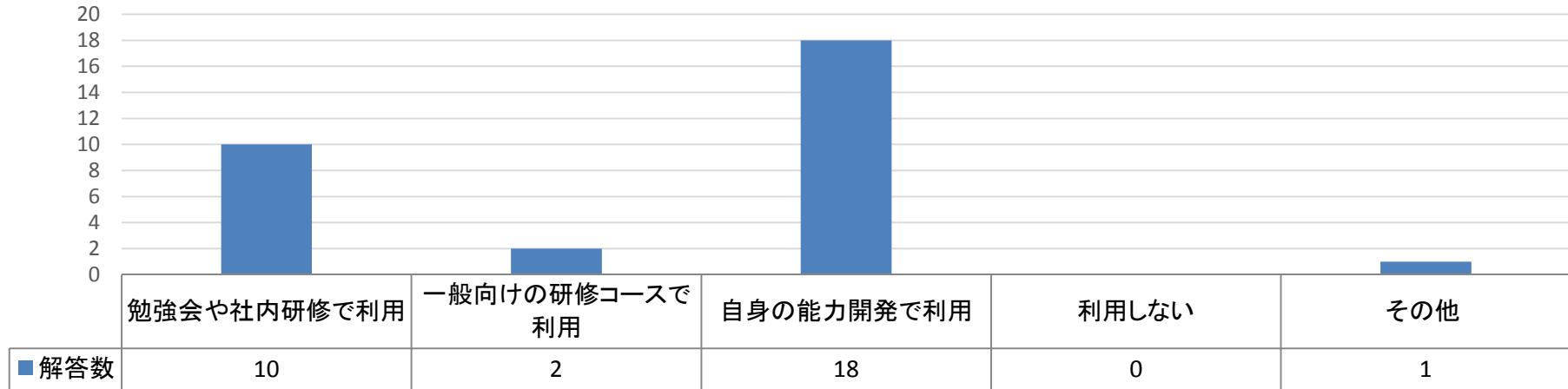
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.6	4.4	3.5	3.9	4.3

3-2. 研修コースの評価(立場別)

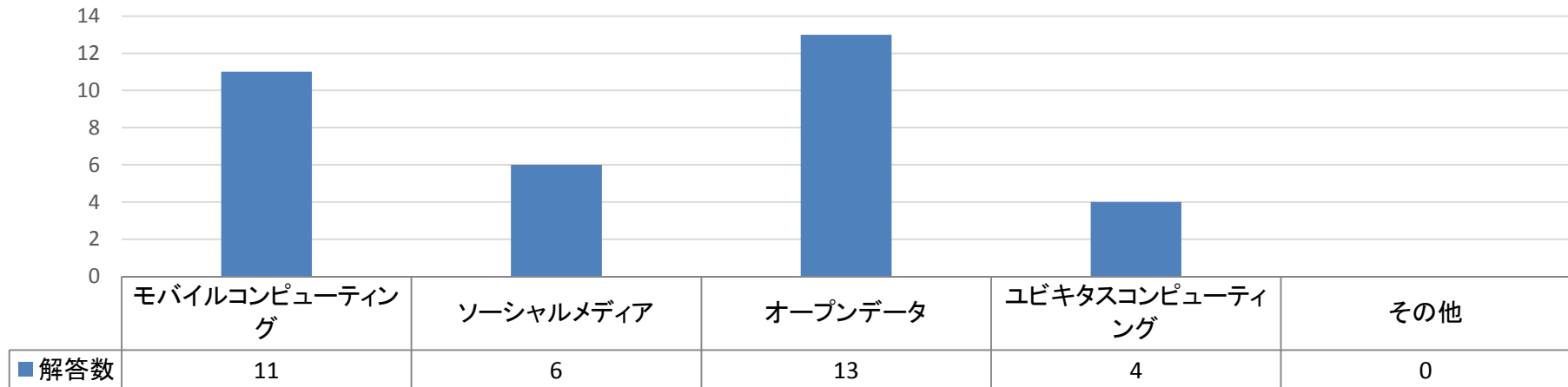


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.5	4.3	3.3	3.6	4.2
官公庁・自治体	4.8	4.5	3.5	4.5	4.3
学校・教育機関	5.0	4.3	4.3	4.3	4.7

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 内容・分野が多岐にわたっているので、すぐに逆引きできるように教材全体のアジェンダがあればよいかと思いました
- 回答を頂いた時に、回答の裏付けが欲しい、(理由)などがあれば理解度がもっと深まると思います
- 話題として触れる程度でも構わないので、テキスト作成以降に出てきた新しい事例や技術動向についても紹介してもらえると良いと思います(例えば、クラウド活用やMachine Learning、Deep Learningなど)

日数・時間配分

- 1日の研修時間をもう少し短縮して、3日程度の日数で出来れば、なお良かった
- 演習課題にももう少し時間があると良かったと思いました
- 量が多いものだけに日程などの関係上進行が早いと感じる部分もあり、十分理解できない部分もいくつかありました
- 実践演習は、初心者向けにももう少しゆっくり進めてもらえればもう少し理解できたかもしれません

その他

- (グループは)業種などを限定することで、実務に置き換えて考えることができ、参加者間で情報共有ができるのではないかと感じました
- 参加者の業種や世代がバラバラのため、スキルや知識の差が大きいように感じました。基本編と発展編のような形で1日目と2日目の申し込みを分ける等、参加者レベルに合わせた対応をとることでより効果があるのではないかと感じました

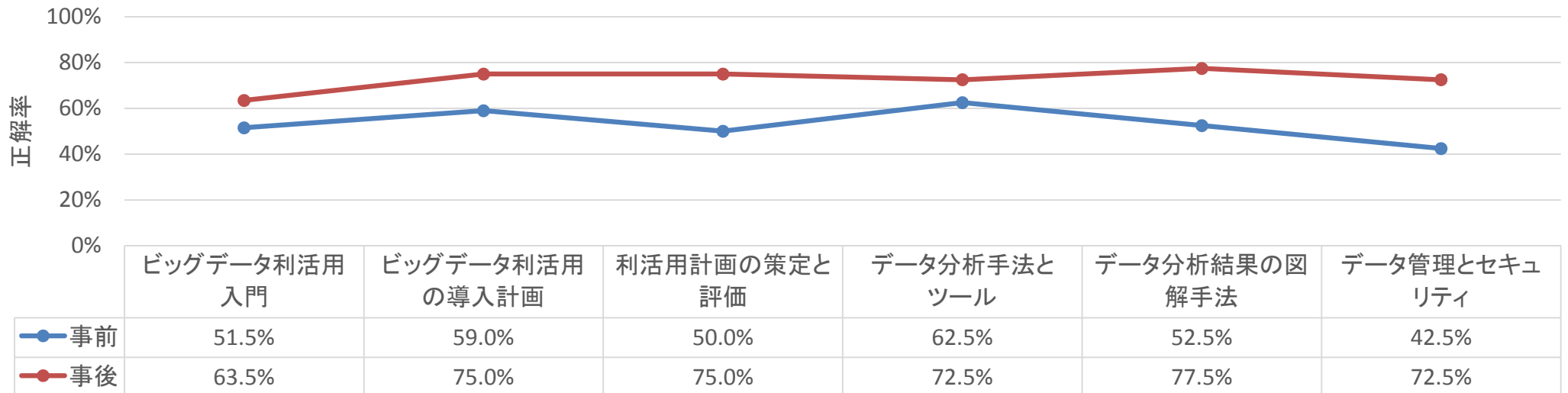
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
15.9	21.3

(30点満点)

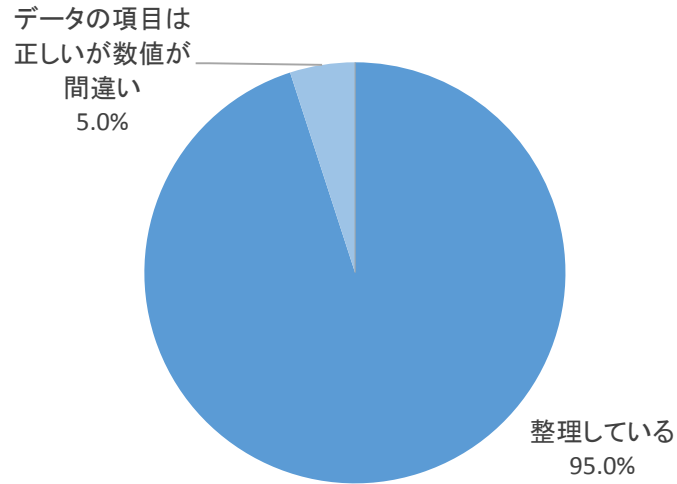
5.4点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

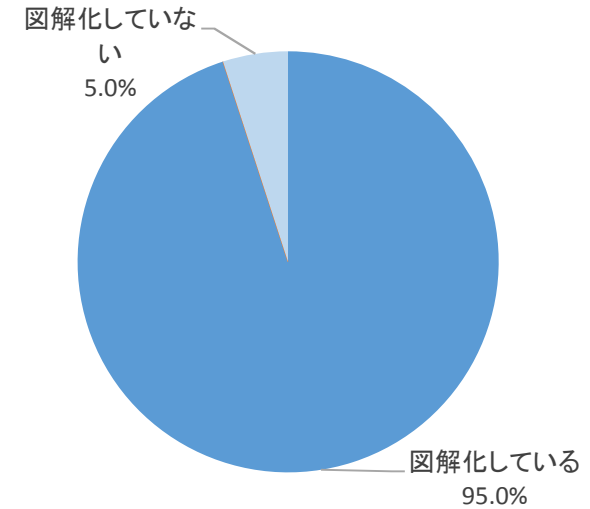


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

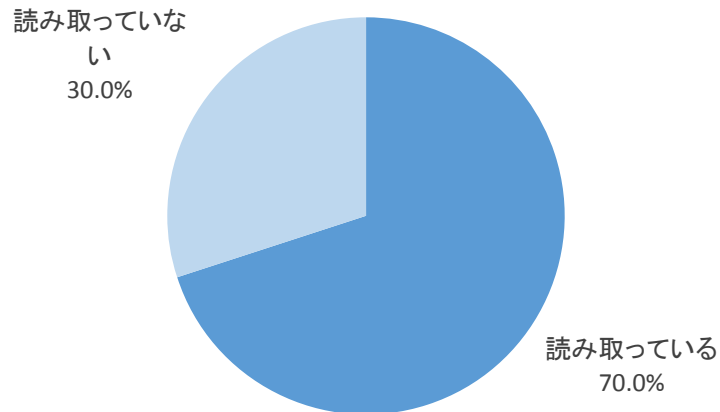
■ データを正しく整理しているか



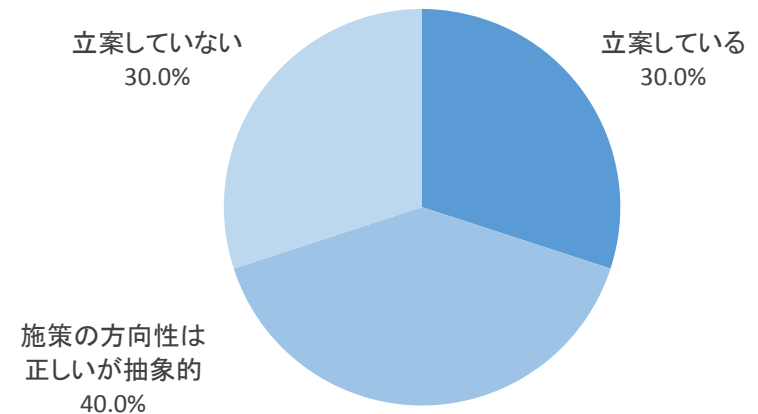
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

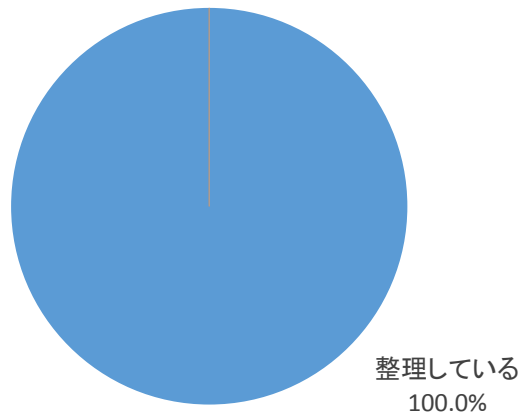


■ 考察から適切な施策を立案しているか

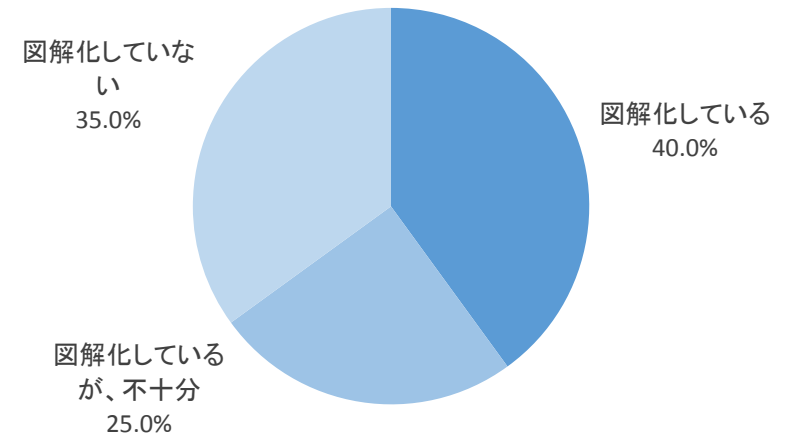


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

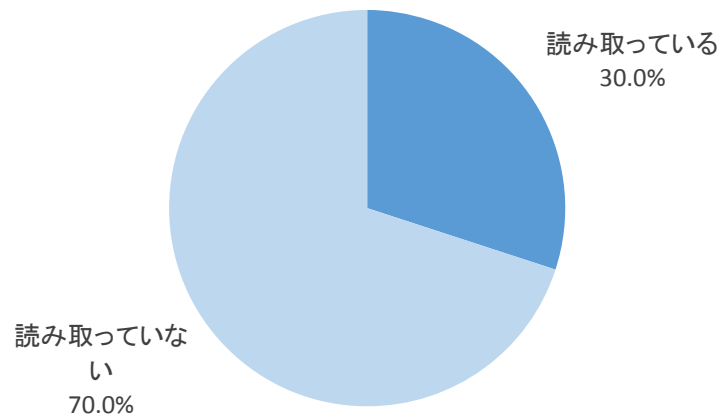
■ データを正しく整理しているか



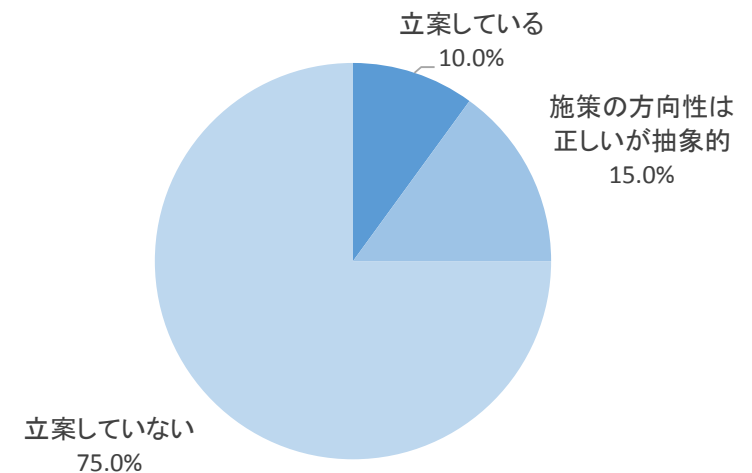
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: 2日間お疲れ様でした。また復習して、仕事のほうでも活用していければと思う。
- 受講者B: データの価値であったり、使い方というものを本当にまだ表面のところしか分かっていない状況で...ずっと継続していきたいと思う。
- 受講者C: ビッグデータの入口が開いて隙間の光が見えた感じかなと思う。なんとなくこんなことができるんだなということが、この二日間で分かったので、今回の研修をヒントにしながら、これからの仕事にあたっていければと思う。
- 受講者D: いろんな業界・業種の方が参加して、いろんな活用ができるんだということが知れてすごいと思った。
- 受講者E: 今回の研修は、企画、分析、ICTがテーマだったと思うが、それぞれの分野の概念を少しずつ把握出来たかなと思う。自社に帰ってお客様や企業間同士で話をしていく中で活かしていきたい。
- 受講者F: 大変勉強になった。いろいろと皆さんありがとうございました。
- 受講者G: これから会社に帰って、上司や部下が理解を深める場を設けて、会社で実践していけるような体制を作っていきたい。
- 受講者H: 今回やってみて、こういう数字を今(実業務で)使ってるなというものもあったが、その中でもっと深く見ていけるんだな、という気づきがあった。今後活かしていきたいと思う。
- 受講者I: いつも売上や顧客のデータをいじって集計まではするが、その後、何に使えばいいのかいつも疑問があった。どうやって企画検討するのか、切り口が分かった。
- 受講者J: 本当に盛りだくさんの内容で、久しぶりに頭を使った。会社に戻って、もう一度見直して復習して、その後業務に活かしていきたいと思う。
- 受講者K: 難しかったが実際の仕事に活かしたいと思う内容だったので、また頑張っていきたい。
- 受講者L: 実際にツールを使ってみて実践で使ってみようと思った。できるだけ勉強しながら、今後活かしていきたい。
- 受講者M: やってみて、まだまだ勉強しないといけないことが多いと感じた。どうもありがとうございました。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者N: (自社に)戻ってから、オープンデータを集めたり、SNSからデータ収集したり、BIツールを使いながら、自分でスキルアップしていきたいと思う。
- 受講者O: 大変勉強になった。仕事を進める上で、今回学んだことを活かせるように、もう少し勉強しながら忘れないように、頑張りたいと思う。
- 受講者P: 結構内容が難しく、今日の演習(ハンズオン)なんかは手も足も出なかったが、周りの方々に助けてもらって二日間終えることができた。二日間ありがとうございました。
- 受講者Q: 二日目のハンズオンから急にハードルが高くなった感じがして、少し泣きそうになったが何とか乗り切ることができた。機会があれば、こういうソフト(BIツール)に触れて自分のものにしていけたらと思う。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者R: メンバーの方に恵まれ、支えられ、挑んだ二日間だった。この感覚を忘れないうちに社内に戻って、もう一回復習しながら、やっていきたいと思う。
- 受講者S: 仕事は人材育成する方の立場なので、今回は内容もさることながら、進め方についてもいろいろ参考になった。これから活かしていきたい。
- 受講者T: 職場に戻った後に、これとこれをかけ合わすとどんな結果になるんだろうとか、いろんなアイデアが湧いてきて、とてもわくわくした。データはとっつきにくいところがあるが、もっと数字とか、こういったシステムに強くなっていきたい。

IV. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(九州会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
開催形態	研修コース
日程	2015年1月28日～29日 9:30～17:30
会場	熊本ソフトウェア 教室B
会場所在地	熊本県上益城郡
申込者数	21名
受講者数	14名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	2名
講師	日本サード・パーティ株式会社 古川宏幸
協力	総務省 九州総合通信局 熊本ソフトウェア株式会社

IV. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(九州会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=13

地域	福岡県福岡市 [4]		熊本県熊本市 [3]		熊本県荒尾市 [1]	熊本県天草市 [2]	熊本県上天草市 [1]	熊本県上益城郡 [2]		
産業分野・業種	サービス [2]		サービス(ICT関連) [6]			医療 [1]	官公庁・自治体 [4]			
所属部門	経営企画 [1]	マーケティング [1]	情報システム [7]				製造・生産管理 [1]	教育 [1]	人事・人材育成 [1]	その他 [1]
組織規模	20～99人 [2]		100～499人 [6]			500～999人 [2]		1000人以上 [3]		
地位・役職	一般社員 [4]			係長・主任 [8]				部長 [1]		
勤務先でのビッグデータ活用状況	全体的に取り組んでいる [1]		取り組みを検討している [11]					取り組みの予定はない [1]		
分析ツールの使用経験	1年以上 [2]		1年未満 [1]		未経験 [10]					

2-2. 受講者の属性(学生) N=1

地域	熊本県熊本市 [1]
所属	大学院 [1]
専攻	理学部 [1]
分析ツールの使用経験	未経験 [1]
ビッグデータに関連した講義やゼミの有無	ない [1]

ビッグデータに関連した講義やゼミの内容

- とくになし

2-3. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=2

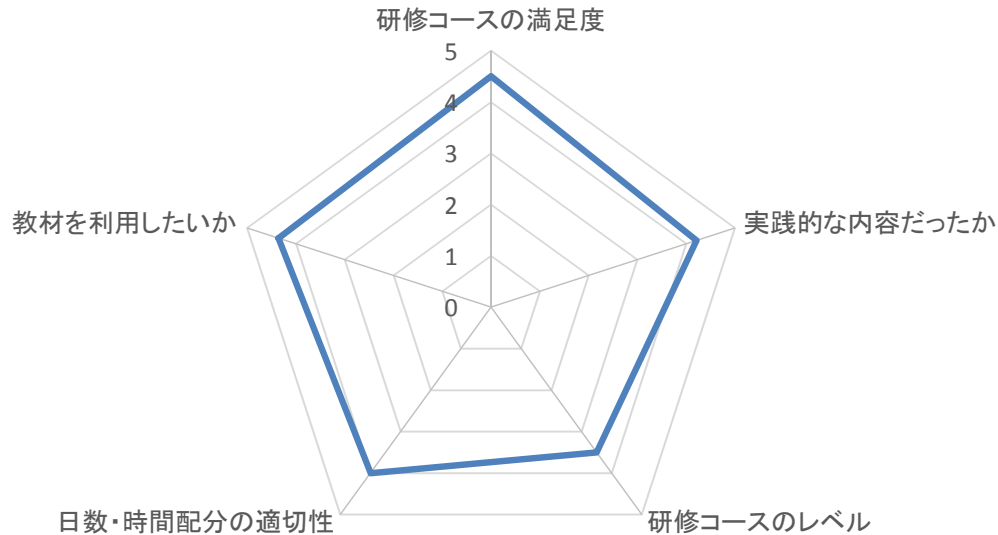
地域	熊本県上益城郡 [2]	
産業分野・業種	サービス(ICT関連) [2]	
所属部門	教育 [1]	人事・人材育成 [1]
勤務先での立場	研修企業に所属する講師 [1]	フリーランスで活動している講師 [1]
インストラクター経験	3年以上 [2]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

- プログラミング技術者の育成 ネットワーク技術者の育成 他
- 基本情報技術者試験レベルの技術者育成

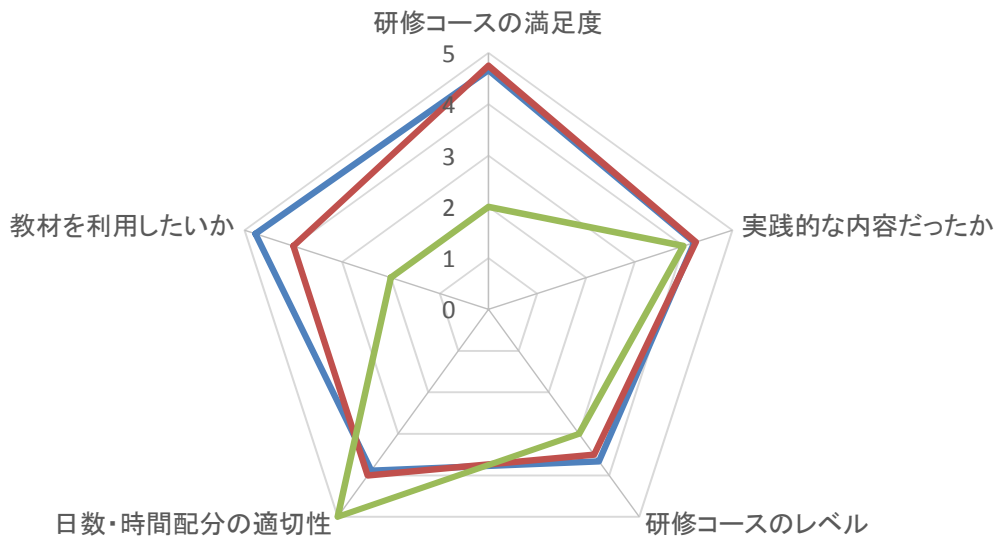
IV. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(九州会場)」～開催記録～

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.5	4.2	3.5	4.0	4.4

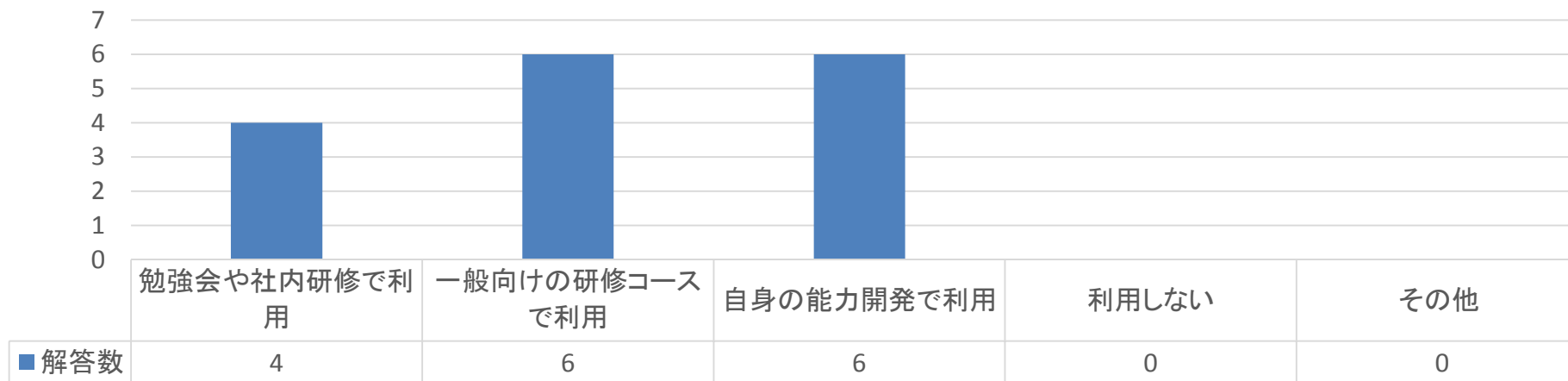
3-2. 研修コースの評価(立場別)



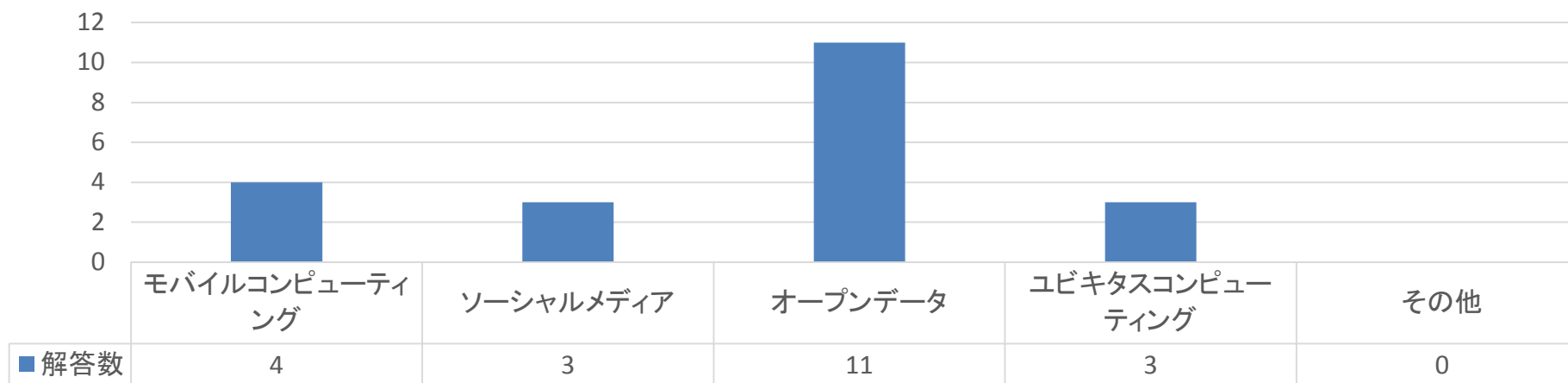
立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.7	4.2	3.7	3.9	4.8
官公庁・自治体	4.8	4.3	3.5	4.0	4.0
学生	2.0	4.0	3.0	5.0	2.0

— 企業 — 官公庁・自治体 — 学生

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- アセスメント(事前、事後)にて表現されている言葉について、すべてが表現されていなかったように思えました。(聞きもれていた可能性もありますが、)
- ビックデータという概念は、ブラックボックス状態になっているので、それを実際生かすとなると、個々の環境に応じた適応例があるはず。コースでは、原理原則を教えてほしいです
- もう少し具体的なデータ分析の手法を取り入れてほしい
- 参考事例等、グループ活動の資料が少し欲しかった

演習の内容

- グループ演習で、実際の数値を使ってデータ分析する時間があってもいいかと思いました

日数・時間配分

- 実習の時間についてはもう少し余裕がほしい
- セキュリティは本研修コースにはボリュームがありすぎると感じました

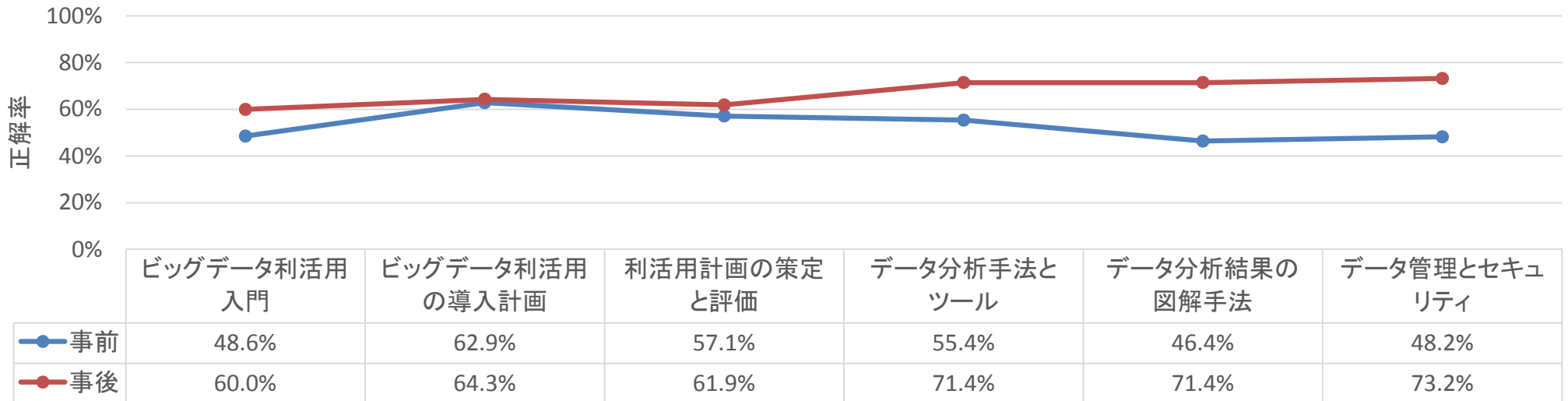
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
15.7	19.7

(30点満点)

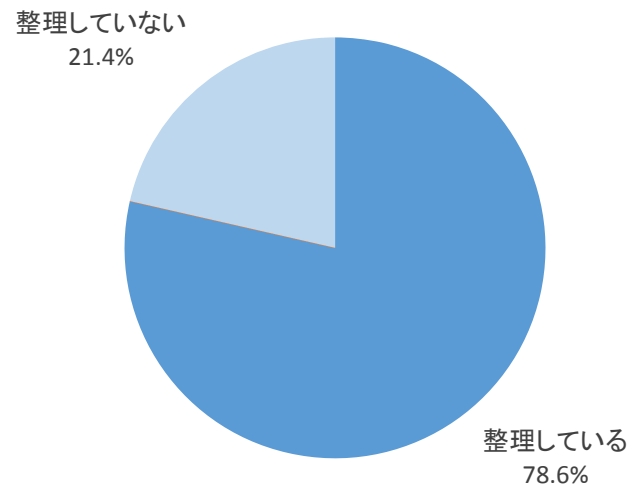
4.0点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

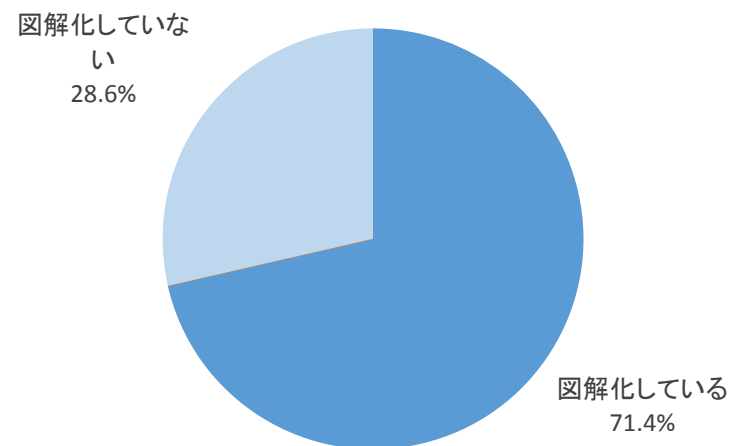


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

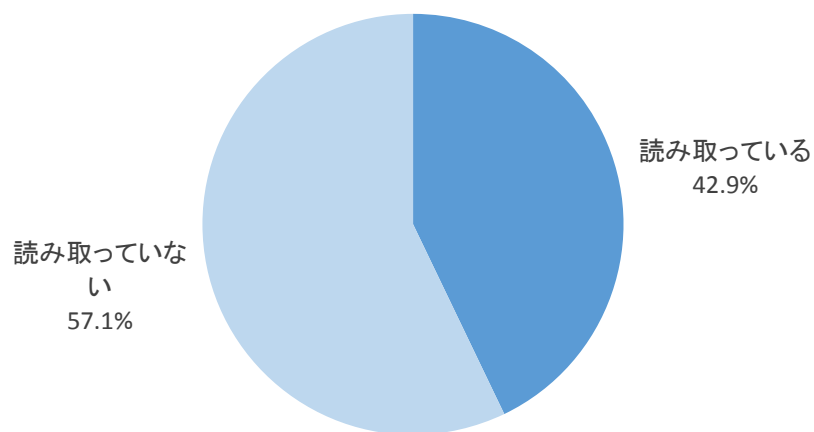
■ データを正しく整理しているか



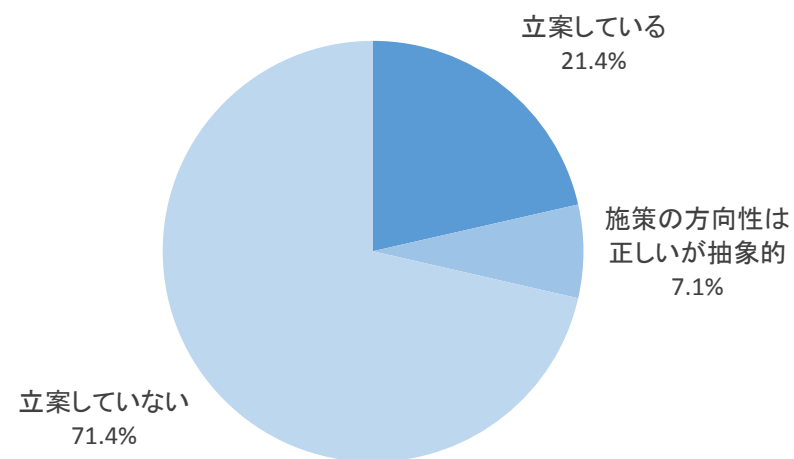
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

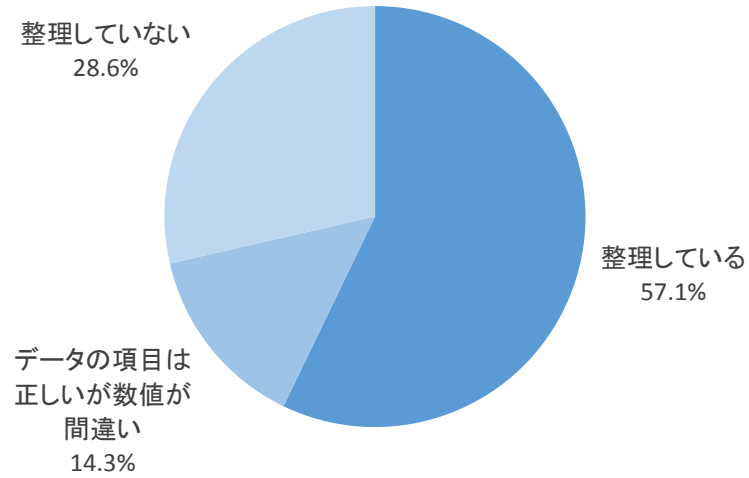


■ 考察から適切な施策を立案しているか

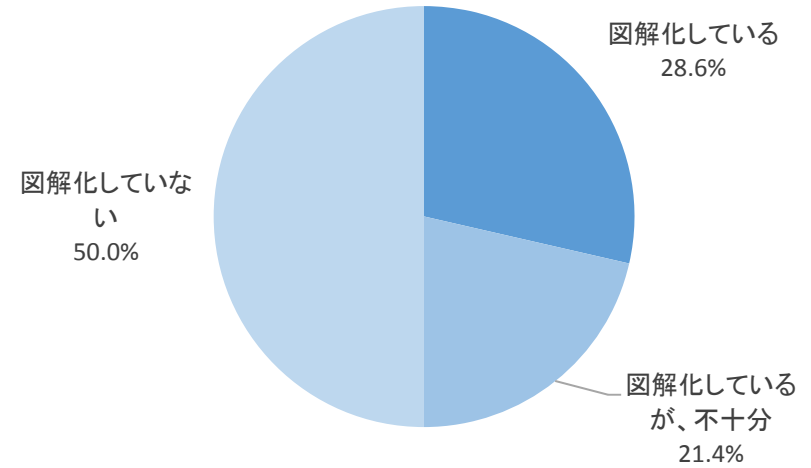


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

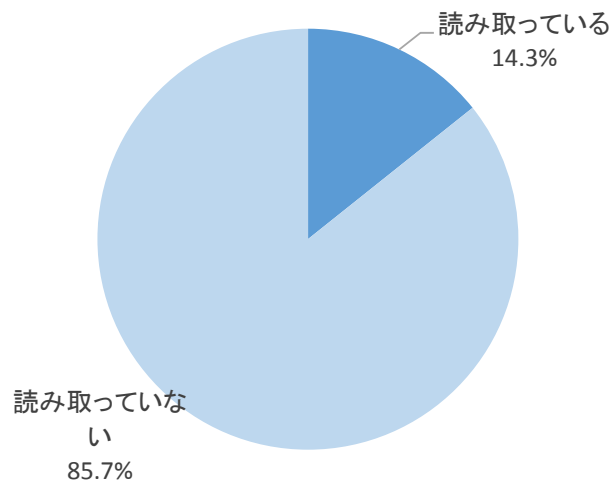
■ データを正しく整理しているか



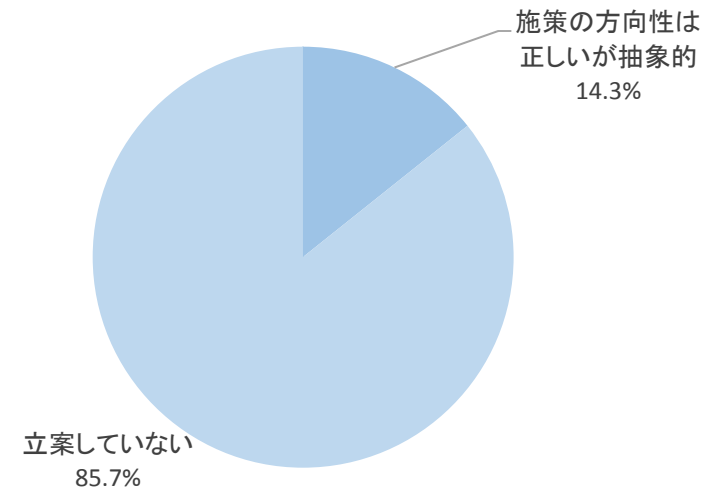
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: ビッグデータを活用するというよりは、教えるという観点で講座を受けていた。ここで学んだことや皆さんで出していた意見・事例は、今後色々な形で広く伝えていきたいと思う。
- 受講者B: データの品質や相関、具体的な企画を学ばせていただいたので、会社に持ち帰って、自分の仕事や部に広めていきたいと思う。
- 受講者C: もう少しミニ演習の時間があると良かったと思った。二日間ありがとうございました。
- 受講者D: 今年から、事業でICカードを導入するので、分析をどうするかと検討していた。今回、要因分析から結果を出して、上司を説得するところまでを勉強できたので、持ち帰って上司を説得しようと思う。
- 受講者E: 会社の業務では直接分析するというような職ではないが、大変使い勝手のよさそうなソフトを知ったので、これらを使って何か出来ないか、いろいろ試していこうと思う。
- 受講者F: 病院に勤務しているのでデータをどう活かしていくか考えていきたい。
- 受講者G: 非常にためになった。職場がカスタマーサポートということで、クレームの統計を取るというところを想定しながら受けていた。
- 受講者H: (ハンズオンについて)昔、同じような作業をExcelベースでやっていたが、企画する手順などを再認識できてよかった。
- 受講者I: 企画のところが参考になった。あと、データ分析のところは演習を含めて少し時間を延ばしてほしい。会社でオープンデータの活用を考えていたのでその辺をやっていきたい。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者J: 今、自治体も競争の時代と言われていて、自治体の経営力というのが出るようになってきている。BIツールは、今後の業務のために使いたいと思っている。ただ、課題は(組織で)どう広げていくのかだと思うので、試行錯誤して頑張っていきたい。
- 受講者K: 以前、国民健康保険の担当をしており、医療費や税など色々な分析をしていたが、その時にこれを知っていれば、もっと違う視点で分析できたのかなと残念に思っている。是非、後任のものに紹介しながら役立てていきたい。
- 受講者L: 行政の立場として、今後ビッグデータの活用が必要になってくるので、非常に勉強になった。明日から使えるものとしては、市でネットショップを運営しているので、商品がどうすれば売れるのか、というのを試してみたい。
- 受講者M: オープンデータの整理を進めようとしているが、どうしても国との整合性の部分でまだまだ進まない。今回、企画立案から学んだので活かしていきたいと思う。

9-3. 研修コースの感想(学生)

- 受講者N: 今回、ビッグデータって何なんだろうというところから始まったが、事例を見てイメージができた。ビッグデータといってもブラックボックスなので、それをどう環境に合わせて活用していくかが、今後重要になってくると感じた。

1. 開催概要

地域	東海(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)
開催形態	研修コース
日程	2015年1月29日～30日 9:30～17:30
会場	ソフトピアジャパンセンター センタービル 11階 研修室
会場所在地	岐阜県大垣市
申込者数	27名
受講者数	24名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	7名
講師	日本サード・パーティ株式会社 森本良照
協力	総務省 東海総合通信局 公益財団法人 ソフトピアジャパン

V. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(東海会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=24

地域	愛知県名古屋市 [6]		愛知県刈谷市 [1]	愛知県稲沢市 [1]	岐阜県大垣市 [5]		岐阜県岐阜市 [2]	岐阜県各務原市 [2]	三重県津市 [2]	三重県桑名市 [1]	滋賀県米原市 [1]	静岡県静岡市 [1]	その他 [1]
産業分野・業種	製造 [2]	製造(ICT関連) [2]	運輸 [1]	通信 [1]	サービス [2]	サービス(ICT関連) [9]			コンサルティング [1]	学校・教育機関 [2]	官公庁・自治体 [3]	その他 [1]	
所属部門	経営企画 [4]		営業・販売 [3]		コンサルティング [2]	情報システム [10]				研究開発 [1]	人事・人材育成 [1]	その他 [3]	
組織規模	19人以下 [8]				20～99人 [3]	100～499人 [7]			1000人以上 [5]		その他 [1]		
地位・役職	一般社員 [6]			係長・主任 [5]		課長 [3]	部長 [1]	経営者・役員 [8]				その他 [1]	
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の部門で取り組んでいる [2]	取り組みを検討している [18]								取り組みの予定はない [3]			
分析ツールの使用経験	1年以上 [4]		1年未満 [2]		未経験 [18]								

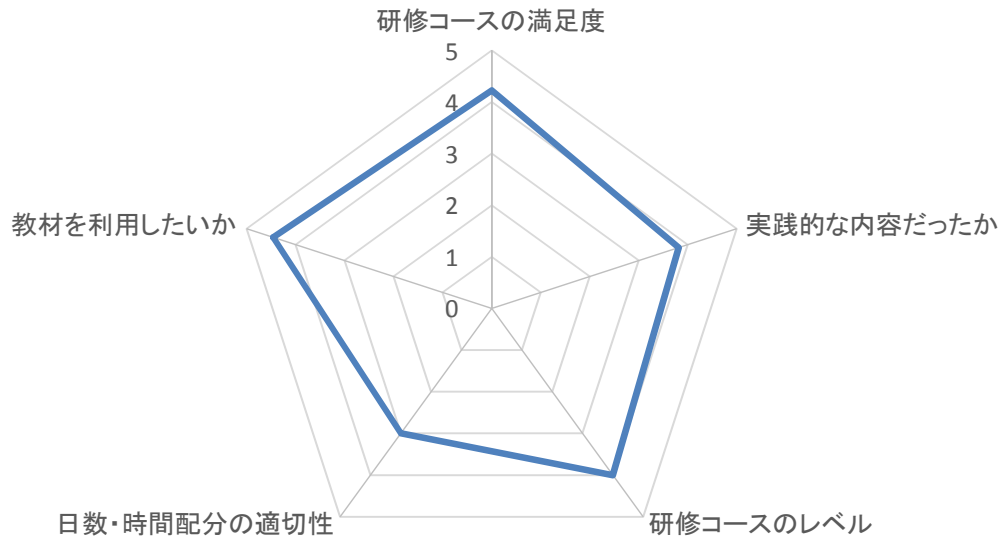
2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=7

地域	愛知県名古屋市 [2]		愛知県稲沢市 [1]	岐阜県大垣市 [4]		
産業分野・業種	製造(ICT関連) [1]	コンサルティング [1]	サービス [1]	サービス(ICT関連) [3]		学校・教育機関 [1]
所属部門	経営企画 [3]			営業・販売 [1]	コンサルティング [1]	情報システム [2]
インストラクター経験	3年以上 [5]				3年未満 [2]	
勤務先での立場	研修企業に所属する講師 [4]			フリーランスで活動 している講師 [1]	その他 [2]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

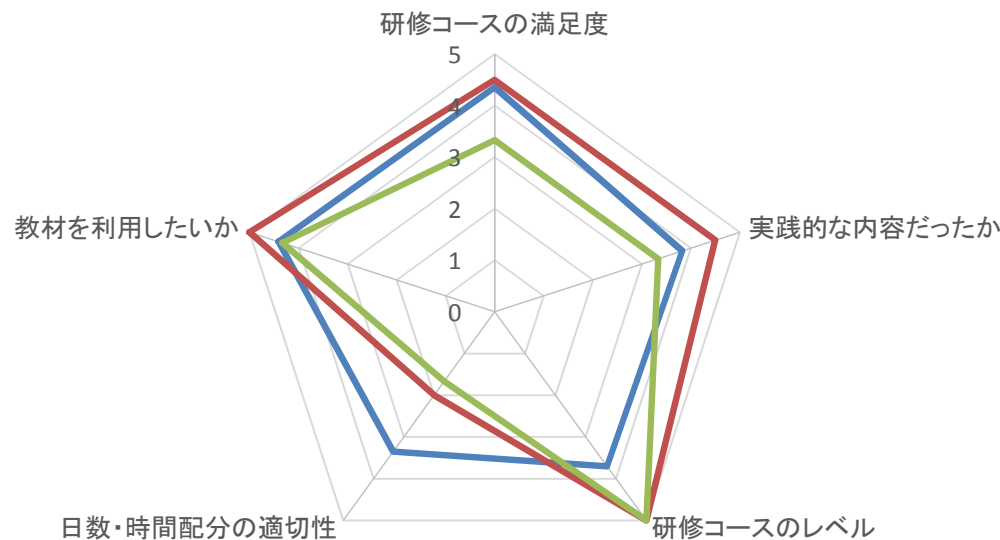
- データ分析者の育成
- プロジェクトマネジメント ユーザー企業のIT化支援 ヒューマン・ビジネススキル研修
- 自治体職員向け情報セキュリティ等 SE、プログラマ向けシステム構築等
- 大学生のキャリア教育

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



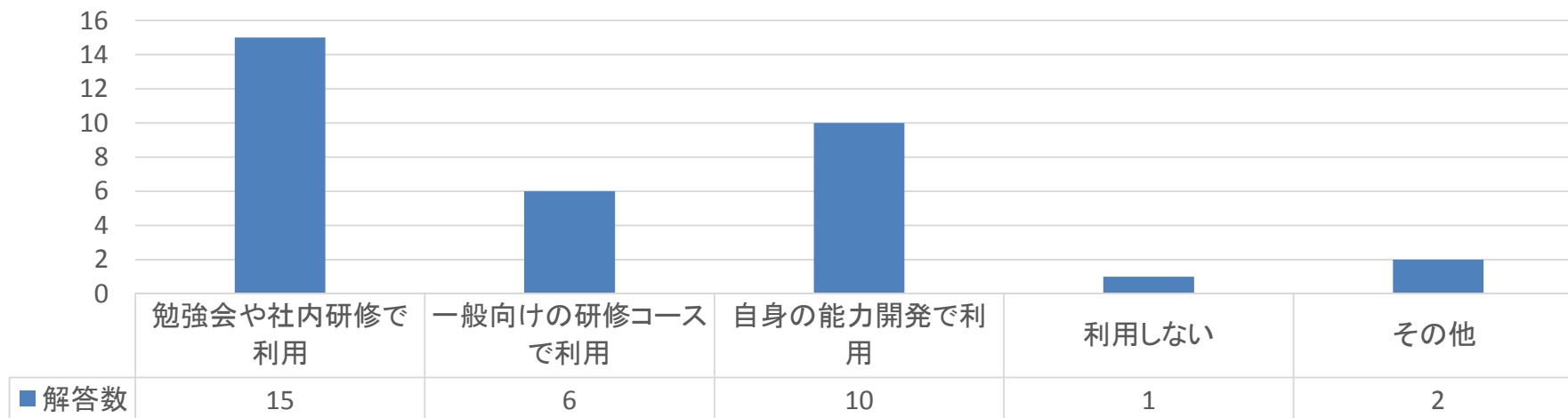
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.2	3.8	4.0	3.0	4.5

3-2. 研修コースの評価(立場別)

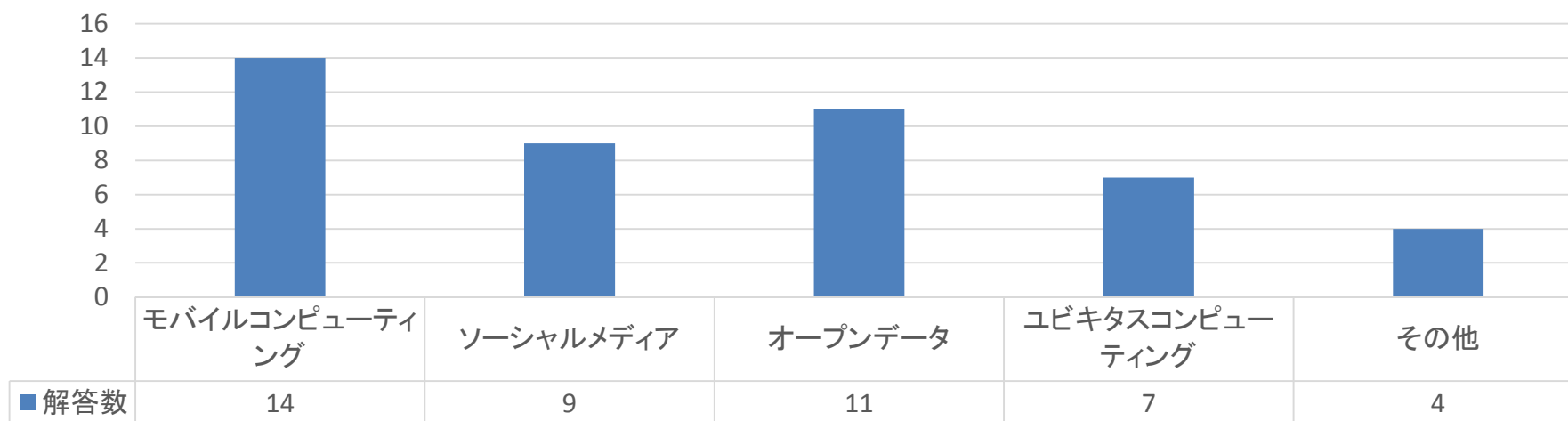


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.4	3.8	3.7	3.4	4.4
学校・教育機関	4.5	4.5	5.0	2.0	5.0
官公庁・自治体	3.3	3.3	5.0	1.7	4.3

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 成功事例を各章ごとに紹介して欲しい。そうすれば具体的にどんな活用方法があり、役に立つのかが理解し易くなると思われる
- 組織内でデータの活用等の相談に乗る立場となるので、事例検討を増やしていただくとうれしいです
- 分析手法についての概要説明があるとよい。機能と適した適用対象例など。活用事例などの紹介により、この課題にはこの方法が適していて、こんな効果が期待できる、というようなことがイメージできるとよい

演習の内容

- 演習に関連する事例集・解答例(複数パターン)
- 演習課題やグループディスカッションの内容をもう少し段階を経て行うような内容にしてほしい。(ケーススタディの課題が他の課題と比較して難易度が非常に高いように感じたため)
- 事例演習は同じシチュエーション(連続性あるストーリー)を次第に掘り下げるパターンも効率的と感じました。背景を認識するだけで時間がかかってしまう

日数・時間配分

- 2日間のうち実習を2日ともおこなっていただけるとうれしいです
- 時間が短いので長くして演習を増やしていただければいいですね

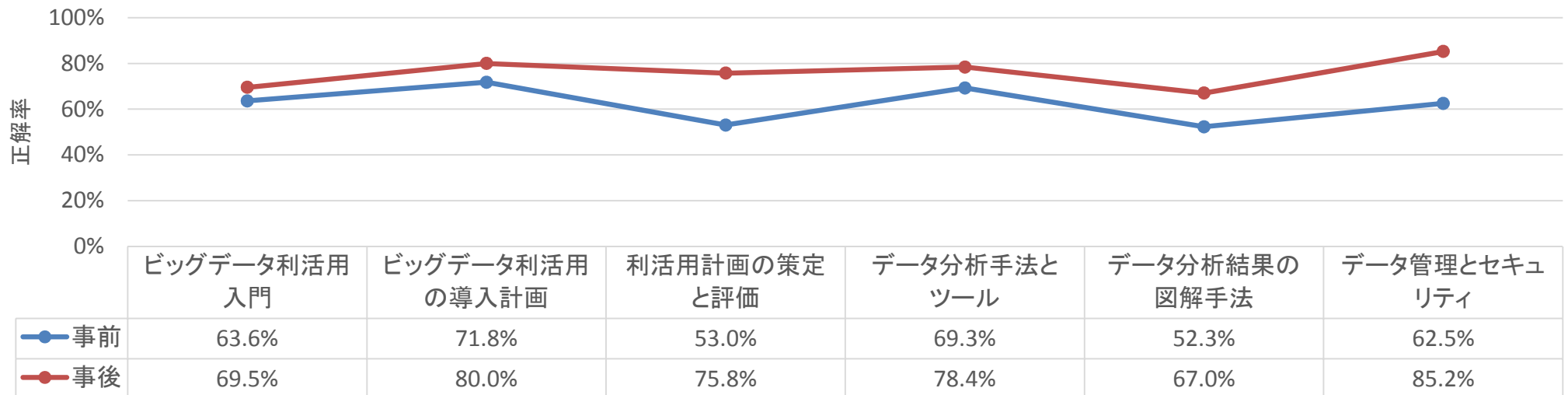
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
18.9	22.5

(30点満点)

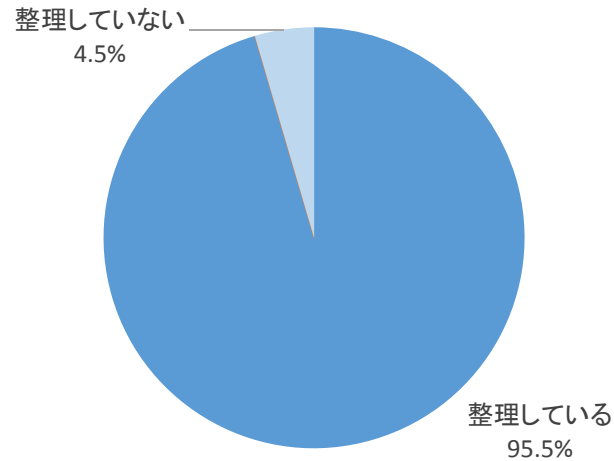
3.6点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

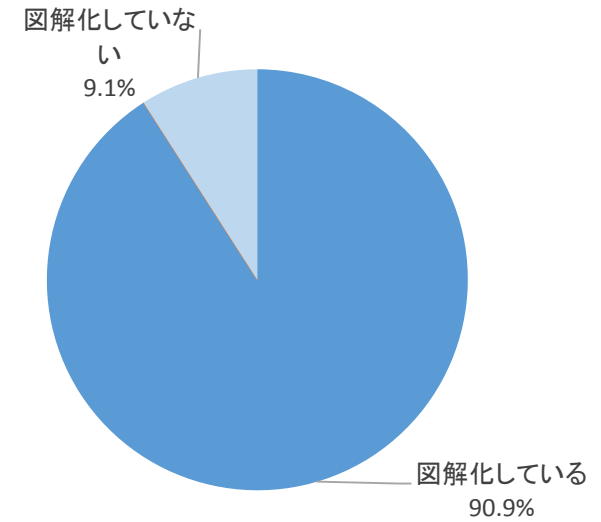


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

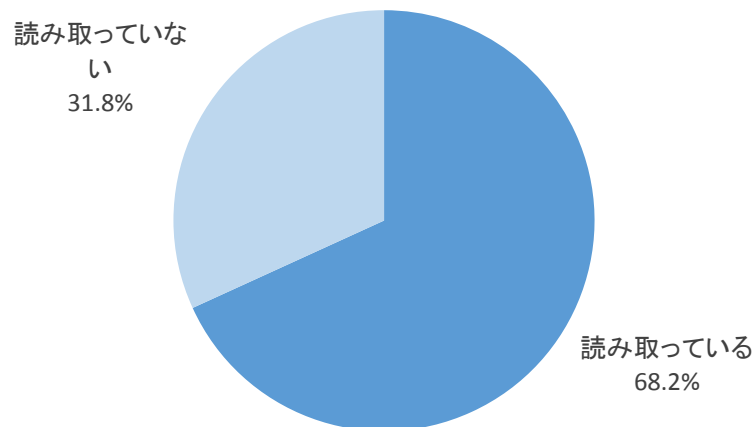
■ データを正しく整理しているか



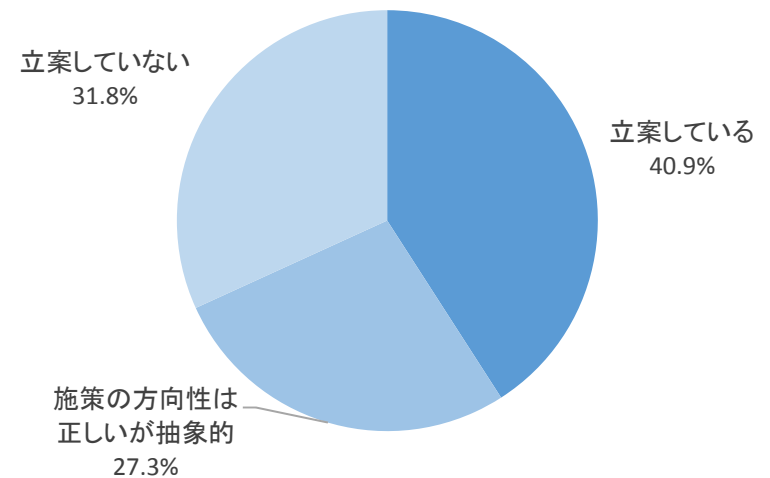
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業) 1/2

- 受講者A: 今回久しぶりに相関係数などを教えてもらったが、大学時代、こんなことやったなと思い出した。うまくビジネスに取り入れていければと思う。
- 受講者B: 概論という形で学ぶことができた。実際にやろうとするといろいろ詰まるんだらうと思う。最後のツールを使う実践のところはなかなか楽しいなと思った。
- 受講者C: BIツールの方は、もう少し何か違う切り口が合ったのではという気がしました。どうもありがとうございました。
- 受講者D: 書籍などで、自分でより深めていきたいと思う。また、使ってみたいツールをご紹介いただいたので社内で展開していきたい。
- 受講者E: 色々な気づきがあって、有意義な二日間だったと思う。今後はこういう手法を使って業務に役立てていきたいと思う。
- 受講者F: 至れり尽くせりの研修で、とても勉強になった。欲を言えば、もう少し演習の時間を増やしてほしい。また、実際にこれで成功できるという成功事例の演習ができればよかったと思う。
- 受講者G: これまで経験的な部分で動いたり、勘に頼ったりが非常に多くあった。研修を受けて、データは周りにいっぱいあるので、上手に分析できると、もう少し決断をしっかりとできるのかなと思った。
- 受講者H: 今後に役立てていきたい。ただ、この量を実際にやれば、三、四日は必要かなと感じている。スケジュールをうまく見直して、まずは社内で展開していきたい。
- 受講者I: 一日でビッグデータの企画書作成の全体的な流れを分かったことはすごく良かったと思う。ただ、ハンズオンの部分が、もう半日なり、一日なりあると、さらに良かった。
- 受講者J: 入り口のところを非常に分かりやすく教えていただいた。演習では、非常に便利なツールがあることを知ったので、社内に展開していきたい。

9-1. 研修コースの感想(企業) 2/2

- 受講者L: グループでディスカッションできたのは非常に良かった。やっぱり一人で考えるより、みんなの意見を聞くのはいいと思う。また、しっかり課題を明確にすること、これは社内でも展開していきたい。
- 受講者M: 会社から、ビッグデータを使って何かしたいという課題を与えられて途方に暮れていた。今回の演習で、概要レベルだが、いろいろ知識が得られてヒントになった。ありがとうございました。
- 受講者N: 分析は、仮説が大切だと説明があったが、もう少しフラットな気持ちで、出た結果に対して柔軟に判断できるような知識を備えたいと思った。ありがとうございました。
- 受講者O: 今回のテキストを利用すれば、社内でビッグデータの説明が分かりやすくなると思う。また、普段データの前処理はやることはあるが、その後のところ(BIツールでの分析)は、あまりやったことがなかったので面白かった。
- 受講者P: ビッグデータで重要なのはテクニカルな部分かなと思っていたが、結局、課題が何か、目的が何か、何に重きを置くかということだと分かった。自分の業務を改めて見直していこうと思う。
- 受講者Q: 研究会で予備知識はあったが、実際にデータ分析して活用するというのが、自分には全然足りていないことを確認できて良かった。大学生とも関わりがあるので、若い人に伝えて、どんどん育っていくような活動ができればいいと思った。また、分析ツールは使うことができても読み取る力がなければ結局駄目だと感じた。
- 受講者R: 非常に盛りだくさんの内容だった。分析のところは、具体的な活用場面があればいいと思った。また、出てきた数字から企画書に起こすところが、自分に足りないことに気付いて良かった。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者S: 今回は分析力を高めたいと思い参加した。正直なところ、分析の内容としては物足りなかったが、ビジネス力の部分が自分に全くないと気づくことができた。今後、仕事を進めていく上で参考にさせていただく。ありがとうございました。
- 受講者T: データを使って企画する時はどうすればいいか分かって良かった。ことテキストを見ると、非常に分かりやすくまとめられているので、事前に送ってもらって内容を分かった前提であれば、演習の時間が取れるので効率的だったかなと感じた。社内に帰って広めたいと思う。
- 受講者U: もう少し実践的なところ(ハンズオンの時間)があると、特に面白かったと思う。どういう切り口で分析するのか、ツールをどう使うかは、いろいろノウハウが必要で難しいと感じた。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者V: 網羅的な知識から実践的なツールの使い方まで、非常に満足できる講座だった。
- 受講者W: ハンズオンがすごく楽しかった。もっとやりたかった。RやWEKAなど、先ずは無償のものからやっっていこうと思う。

VI. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(四国会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
開催形態	研修コース
日程	2015年2月5日～6日 9:30～17:30
会場	情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ) クラスルームB
会場所在地	香川県高松市
申込者数	24名
受講者数	18名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	6名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 四国総合通信局
共催	情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)
後援	香川県

VI. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(四国会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=18

地域	香川県高松市 [5]			香川県丸亀市 [1]	香川県坂出市 [1]	香川県東かがわ市 [1]	徳島県徳島市 [4]		愛媛県松山市 [1]	愛媛県新居浜市 [1]	岡山県岡山市 [1]	岡山県倉敷市 [1]	福岡県飯塚市 [1]	その他 [1]
産業分野・業種	建設 [1]	製造 (ICT関連) [3]	サービス [2]	サービス (ICT関連) [4]		医療 [2]	学校・教育機関 [1]	官公庁・自治体 [4]			その他 [1]			
所属部門	経営企画 [4]		営業・販売 [3]	コンサルティング [2]	情報システム [5]			研究開発 [2]	製造・生産管理 [1]	その他 [1]				
組織規模	19人以下 [2]	20～99人 [5]		100～499人 [3]	500～999人 [1]	1000人以上 [6]			その他 [1]					
地位・役職	一般社員 [5]			係長・主任 [7]			課長 [1]	部長 [3]	経営者・役員 [1]	その他 [1]				
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の事務所または部門で取り組んでいる [5]			取り組みを検討している [9]				取り組みの予定はない [3]	その他 [1]					
分析ツールの使用経験	1年以上 [2]	1年未満 [3]		未経験 [13]										

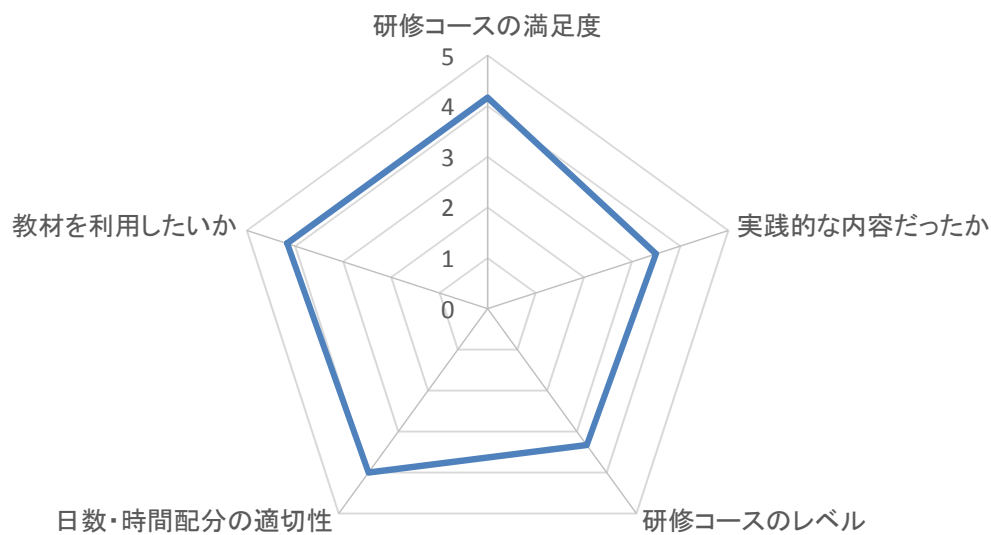
2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=6

地域	香川県高松市 [1]	徳島県徳島市 [1]	愛媛県松山市 [1]	岡山県岡山市 [1]	岡山県倉敷市 [1]	福岡県飯塚市 [1]
産業分野・業種	建設 [1]	製造(ICT関連) [1]	サービス [1]	医療 [1]	学校・教育機関 [1]	官公庁・自治体 [1]
所属部門	経営企画 [2]		コンサルティング [1]	情報システム [1]	研究開発 [2]	
インストラクター経験	3年以上 [1]	3年未満 [1]	未経験 [4]			
勤務先での立場	ユーザ企業の人材育成担当者 [2]		大学、専門学校等の教員 [2]			その他 [2]

現在、取り組んでいる人材育成の分野

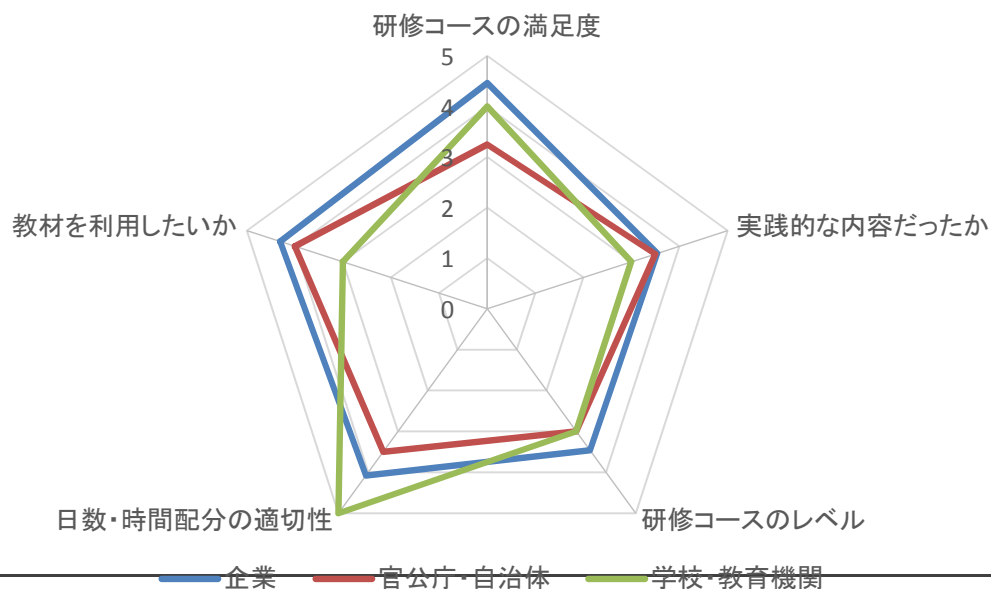
- コンテンツ制作技術及び、製造業に関する技術の情報共有・推進
- データ解析
- ビッグデータ分析要員
- 経理・総務御担当者様のソフトオペレーション支援

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



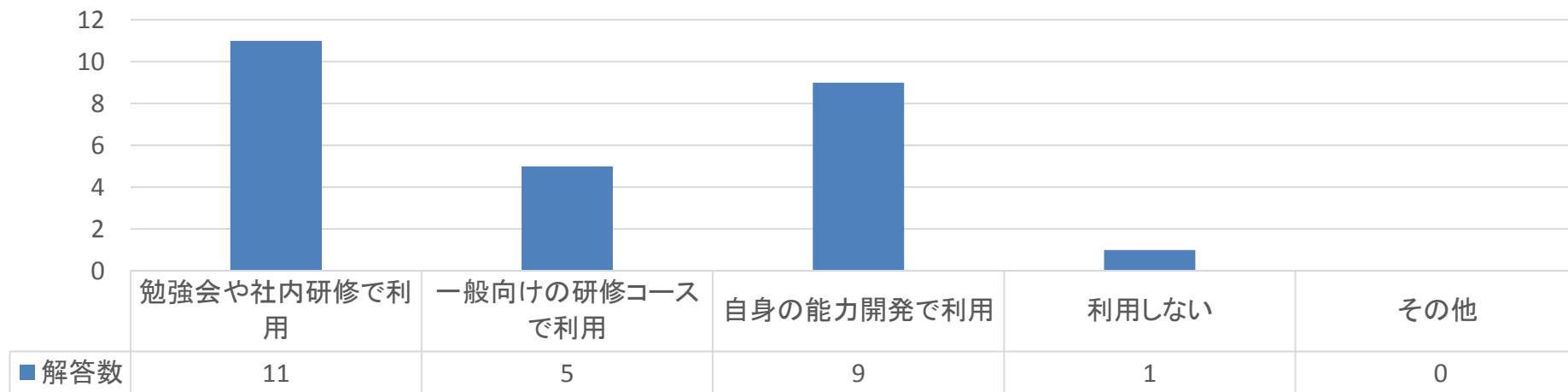
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.2	3.5	3.3	4.0	4.2

3-2. 研修コースの評価(立場別)

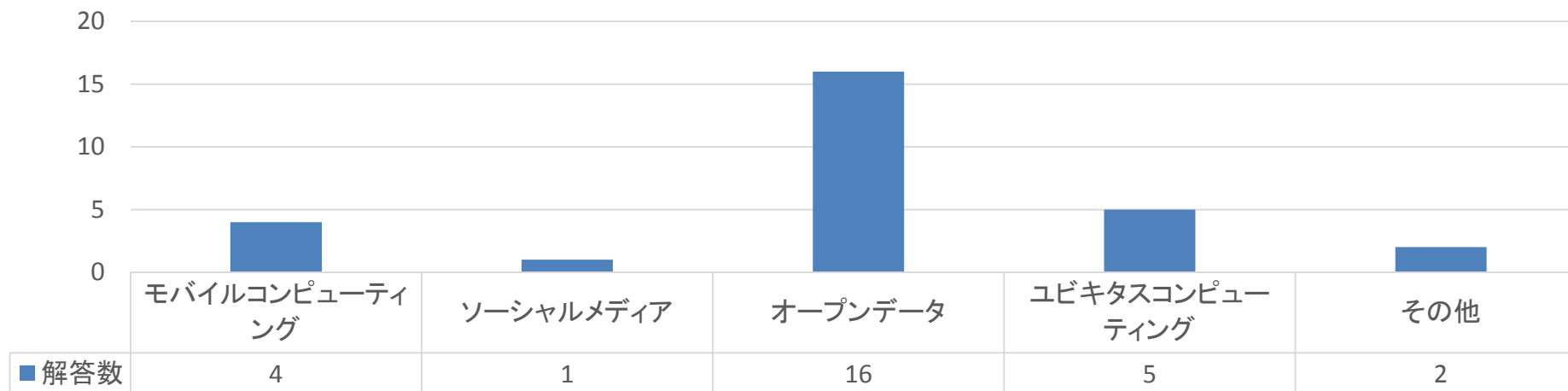


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.5	3.5	3.5	4.1	4.3
官公庁・自治体	3.3	3.5	3.0	3.5	4.0
学校・教育機関	4.0	3.0	3.0	5.0	3.0

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- お客様や社内にビッグデータについて説明する際にこう説明するといいいという例があると、周りに伝えやすい
- データ分析技術よりもストラテジスト系の内容であった。充実してはいたが、私自身はデータ分析技術やそのためのシステム設計を期待していたため目的達成率はやや低い。書籍で理解できる範囲ではなく、普段触れないシステムが扱えたり、やや尖った内容の方が地方の自立には有意な面もあるのではないかと

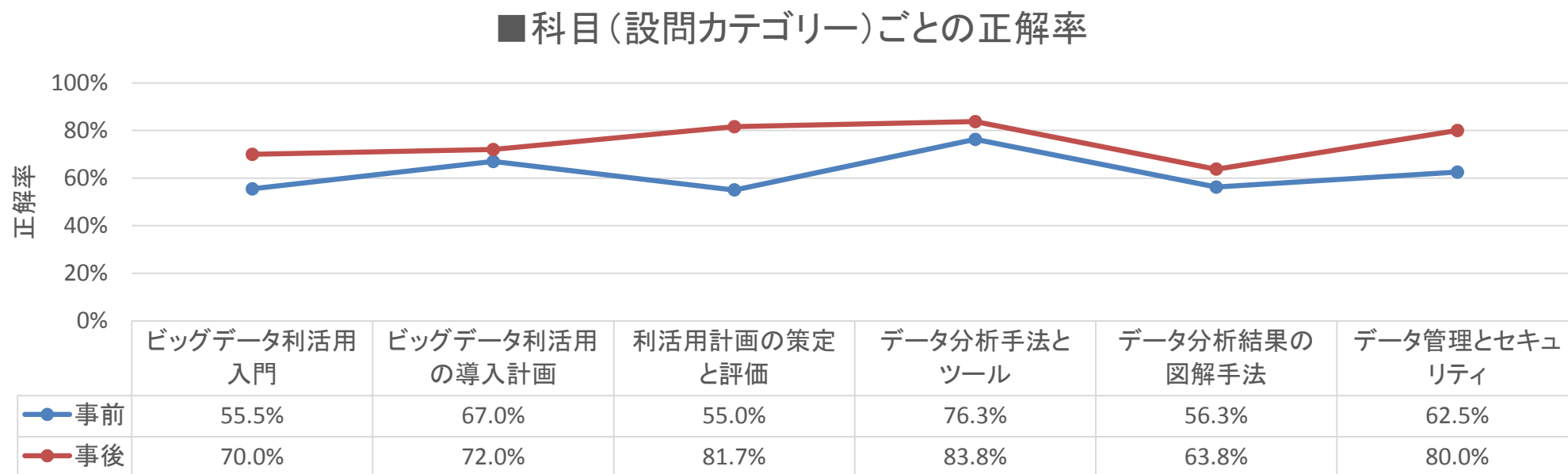
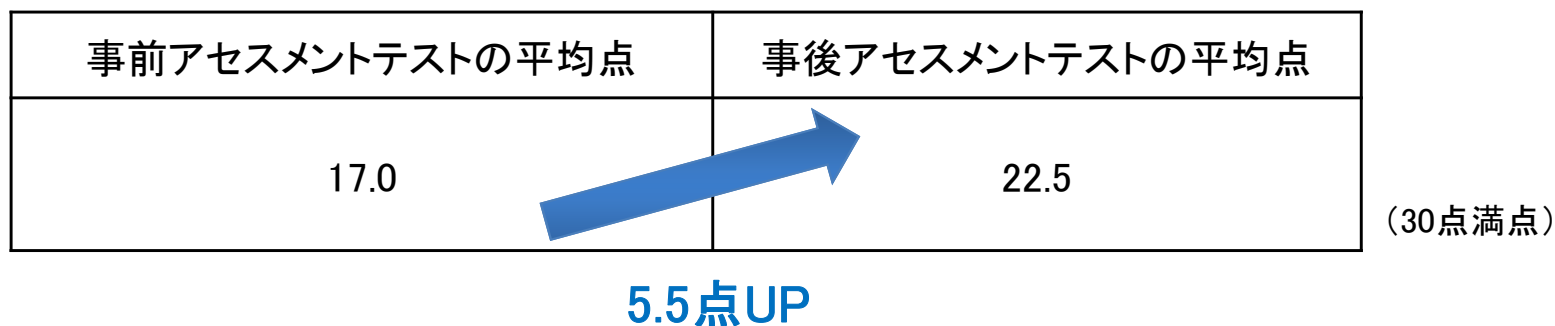
演習の内容

- 今回の内容に加え、さらに数種類の業種をモデルにしたデータ分析の企画・収集・解析の演習があるとやはりよいと思います。(市販本による自習が可能なレベルの研修であっても、なかなか取り組めない個人あるいは企業が多いため、機会・きっかけを与えるという意味でも有用かと思いました。)
- 初日から二日目のような形式で作業をしたほうがよい。また、難しいとは思いますがビッグデータの解析事案などと具体的事例を通して知りたい(渋滞の事例のものを深掘するなど)
- BIツールの使用についてももう少しゆっくりレクチャーしてほしい
- 総合演習ではもう少し検討方向をガイドするか、学習内容にそぐわない結果(検討プロセス)になったチームを指導するような時間がとれるとよいと思う

日数・時間配分

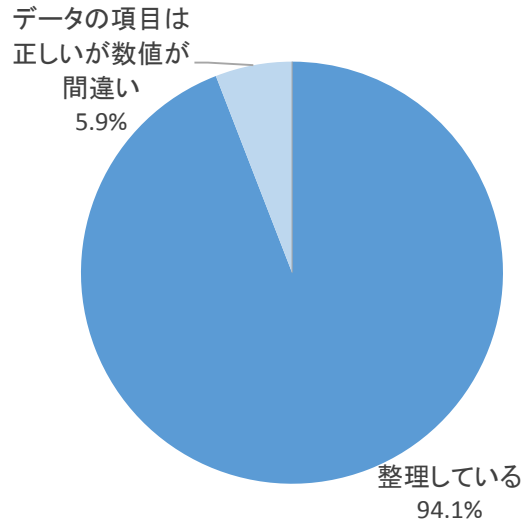
- 全体的に時間が足りなかったと思います。3日間だといいかも
- テキストボリュームに対し時間配分が少なすぎる
- 研修日数と分配時間をもっと増やしたらいいと思います

7. アセスメントテストの結果

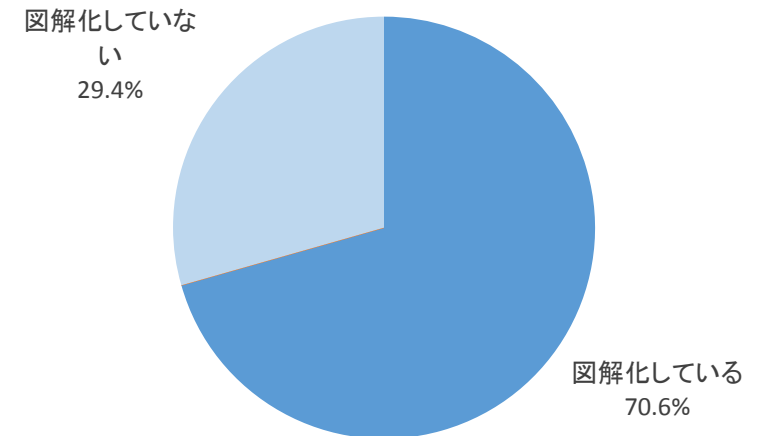


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

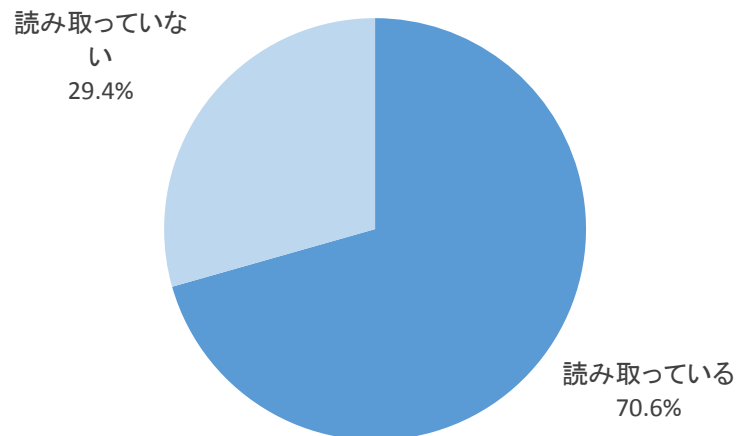
■ データを正しく整理しているか



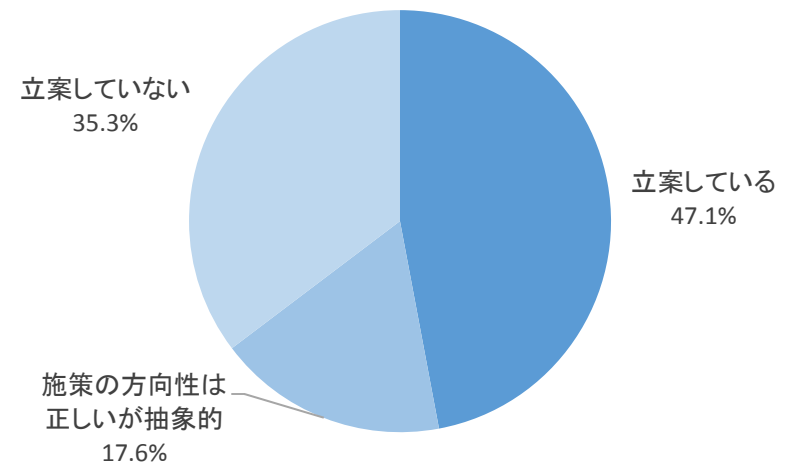
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

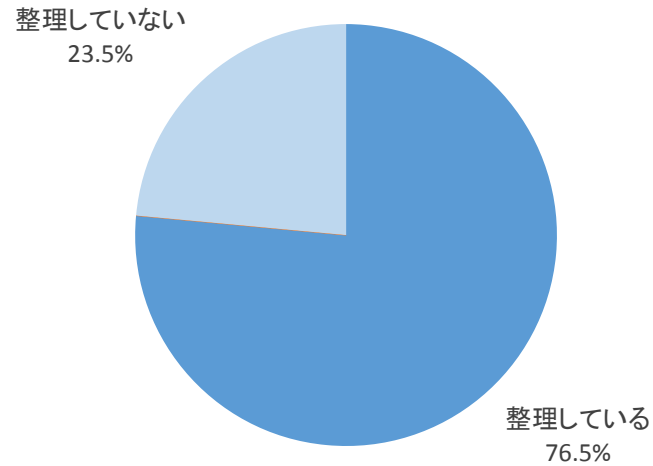


■ 考察から適切な施策を立案しているか

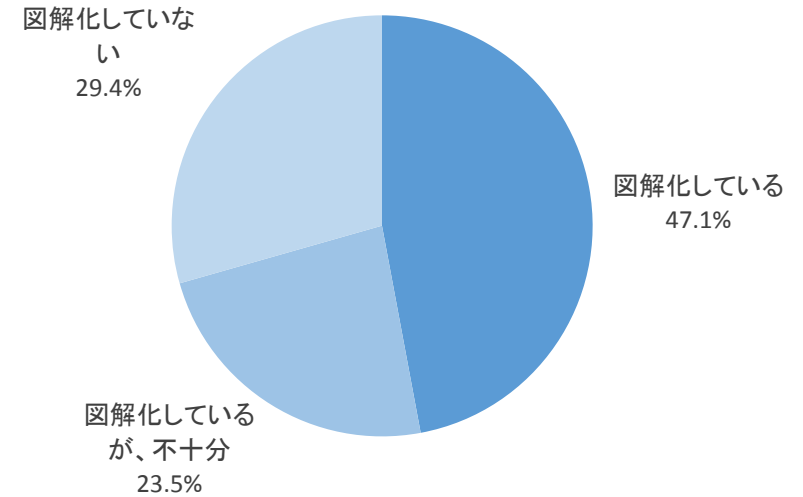


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

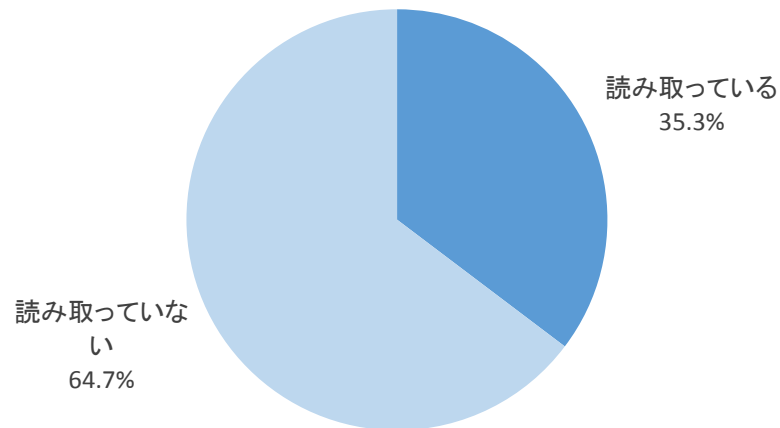
■ データを正しく整理しているか



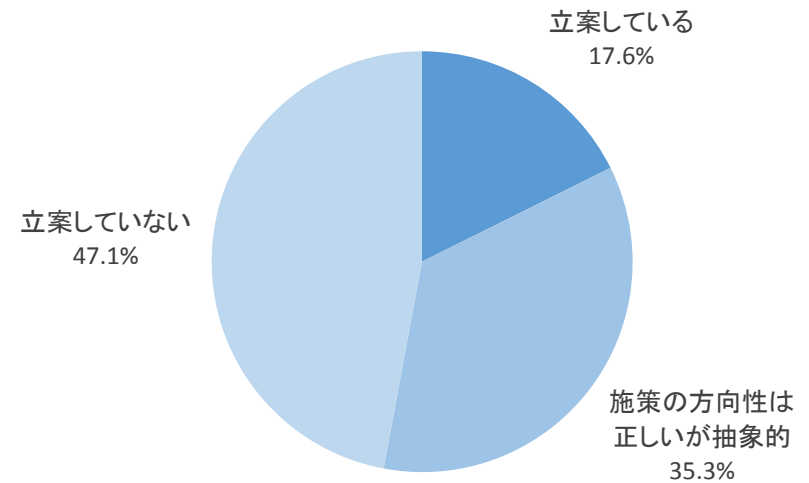
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: ディスカッションやワークがあったり、とても様々な職種の方がいたので楽しかった。二日間ありがとうございました。
- 受講者B: 皆さんの発想や着眼点にすごく気づいた。今後に応用できるようなところをたくさん吸収できたと思う。どうもありがとうございました。
- 受講者C: 分析力とICT力、企画力の三つが総合的に問われる分野なんだということを伝えていって、基盤を整理して、足固めにしていきたいと思う。今日はありがとうございました。
- 受講者D: 今回の皆さんの見方であったり、事例であったり、今後の役に立つと思う。ありがとうございました。
- 受講者E: お客様を含む周りの人にどういう風に説明していくかゼロから学べたし、自分自身でツールを使ってデータを分析することができて非常に楽しかった。ありがとうございました。
- 受講者F: この後、社長に対して説明するが、どう噛み砕いて説明しようか考えている。また、ただ単に思いつきなのか、本当にデータに基づいた判断なのかは、もっとしっかり自分で経験していかないとけないと思う。
- 受講者G: 病院なのでデータはたくさんあるが、なかなか使いこなしていなかった。自分でツールを使っているいろいろやってみたいと思う。
- 受講者H: データの加工で行き詰ることが多かった。これまでは、加工したものしか見てなくて、自分で加工することが無かったが、先ずそこから始めて、クリアしていきたいと思っている。
- 受講者I: 先ずデータ分析に慣れてから、それから自分がどういったデータを必要としているのかを色々考えていきたいと思う。ありがとうございました。
- 受講者J: 正直なところ、どのデータを扱えば、うまく自社に活用できるか、ということが未だ見えてないが、今回参加した中で、セミナーの進め方というところが非常に勉強になった。今後、自社でやっているセミナー企画運営で活用させていただく。
- 受講者K: 自社の課題と仮説を立てることの大事さが、一番印象に残った。会社では課題だらけだが、課題を絞ってから、ビッグデータを活用していきたい。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者L: 私自身は、行政の方でデータを出す方なので、どのようにすれば皆さんに使ってもらえるかヒントが得られたと思う。どうもありがとうございました。
- 受講者M: データ分析するにあたって、企画するところが非常に大切だと感じた。何を課題として、どのような結果を求めたいかを先に詰めて、組織の中で余裕をもってしっかり進めていかなければいけない。ただ単にデータ分析できたらいいわけではなくて、取っ掛かりの課題設定が非常に重要だと感じた。
- 受講者N: 二日間とても楽しかった、特に最後のハンズオン。(分析について)イメージが分からなかったが、だいぶイメージできたかなと思っている。
- 受講者O: 研修自体は面白かった。(自社に)帰ってビッグデータを扱うとなると、データの量が多くなっていたりで、色々なトラブルが発生するんだろうと思う。とりあえず、ツールを入れるところからスタートしようと思う。二日間どうもありがとうございました。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者P: (今回の研修の成果を)学校で教える、また、研究の方で活かしていきたい。例えば、安全の研究をしているので、安全に対して何か寄与できる情報を抽出しようと思う。こういったデータはなかなか集まらなくて、データ解析者は困っているので、もし何か興味があれば、お声掛けしていただければ、一緒に何かできると思う。宜しく願います。

Ⅶ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(近畿会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	近畿(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県)
開催形態	研修コース
日程	2015年2月12日～13日 10:00～18:00
会場	大阪産業創造館 5階人材育成センター パソコン実習室
会場所在地	大阪府中央区
申込者数	24名
受講者数	21名(社会人16名、学生5名)
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	3名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 近畿総合通信局

VII. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(近畿会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=16

地域	大阪府大阪市 [5]					京都府相楽郡 [1]	兵庫県神戸市 [1]	奈良県奈良市 [1]	奈良県大和郡山市 [1]	滋賀県米原市 [1]	滋賀県大津市 [1]	鳥取県鳥取市 [1]	岡山県岡山市 [1]	静岡県浜松市 [1]	福岡県福岡市 [2]
産業分野・業種	建設 [1]	製造 [1]	製造(ICT関連) [2]	通信 [1]	サービス [1]	サービス(ICT関連) [1]	学校・教育機関 [2]	官公庁・自治体 [7]							
所属部門	経営企画 [3]		営業・販売 [2]		マーケティング [2]		情報システム [4]			研究開発 [3]		総務・財務・経理 [2]			
組織規模	19人以下 [1]	20～99人 [2]		100～499人 [4]			500～999人 [2]		1000人以上 [7]						
地位・役職	一般社員 [7]						係長・主任 [4]			課長 [3]		経営者・役員 [2]			
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の事務所または部門で取り組んでいる [6]						取り組みを検討している [10]								
分析ツールの使用経験	1年以上 [2]		1年未満 [4]				未経験 [10]								

2-2. 受講者の属性(学生) N=5

地域	大阪府東大阪市 [5]	
所属	大学 [5]	
専攻	経営・商学部 [3]	工学部(ICT関連) [2]
分析ツールの使用経験	未経験 [5]	
ビッグデータに関連した講義やゼミの有無	ある [4]	ない [1]

ビッグデータに関連した講義やゼミの内容

- ITビジネスプランニング
- ビッグデータがどのように社会に用いられているかについての講義

Ⅶ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(近畿会場)」～開催記録～

2-3. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=3

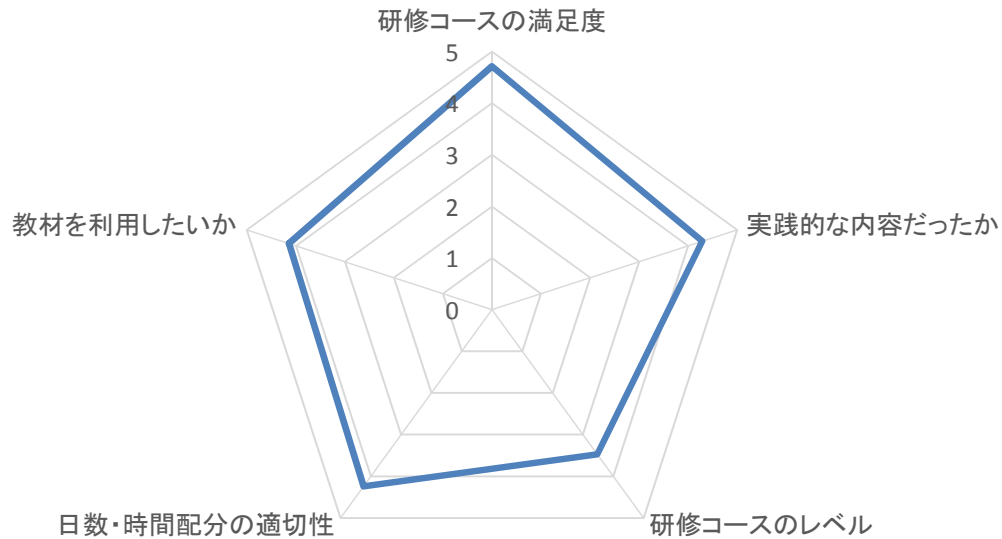
地域	奈良県奈良市 [1]	鳥取県鳥取市 [1]	静岡県浜松市 [1]
産業分野・業種	サービス [1]	学校・教育機関 [1]	官公庁・自治体 [1]
所属部門	経営企画 [1]	情報システム [1]	研究開発 [1]
インストラクター経験	3年以上 [3]		
勤務先での立場	大学、専門学校等の教員 [1]	研修企業に所属する講師 [1]	その他 [1]

現在、取り組んでいる人材育成の分野

- ITコーディネータ養成、中小企業におけるICTの利活用(経営者向き)研修
- IT全般の普及推進
- 経営情報分野の育成

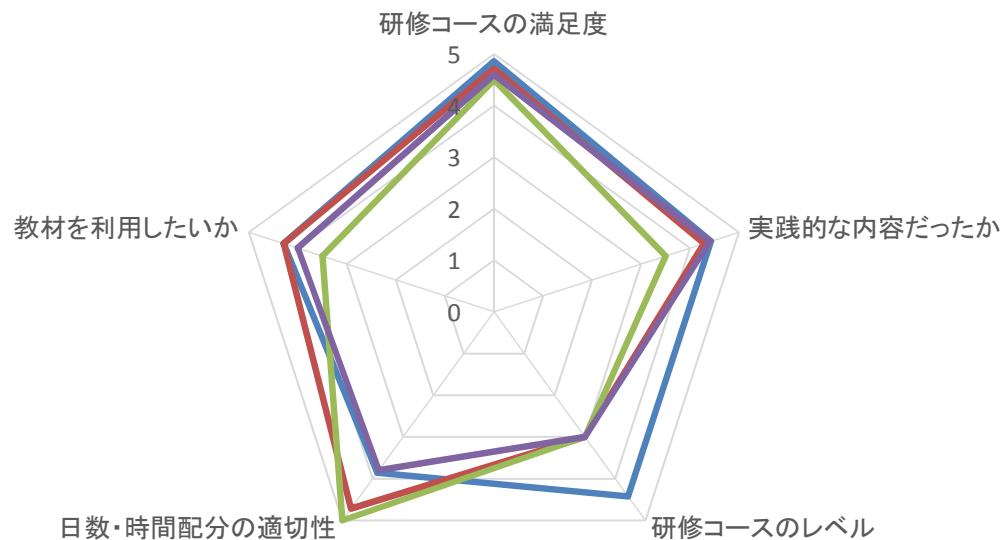
Ⅶ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(近畿会場)」～開催記録～

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.7	4.3	3.5	4.2	4.1

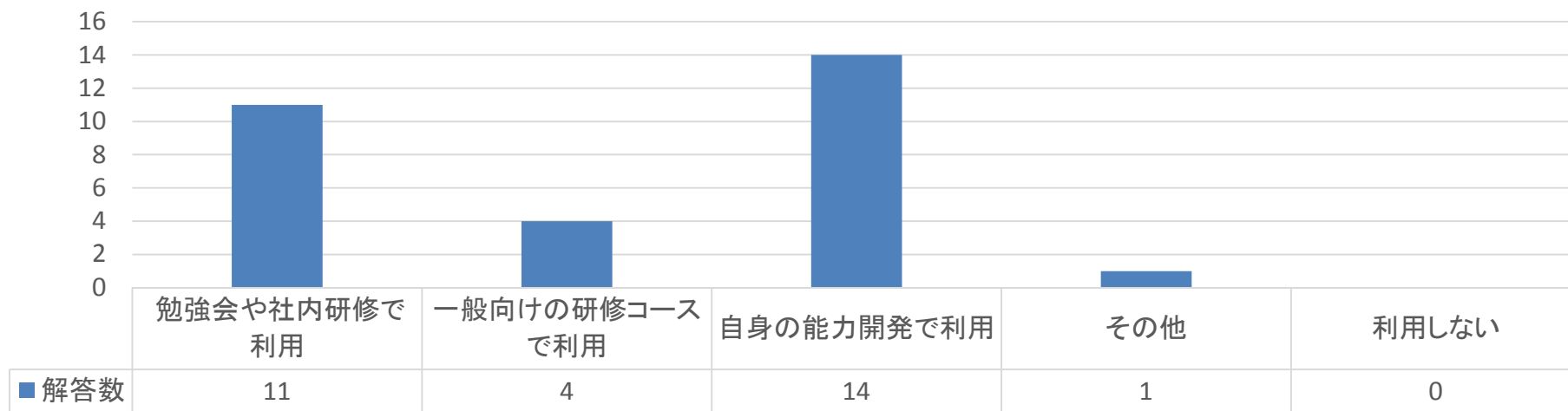
3-2. 研修コースの評価(立場別)



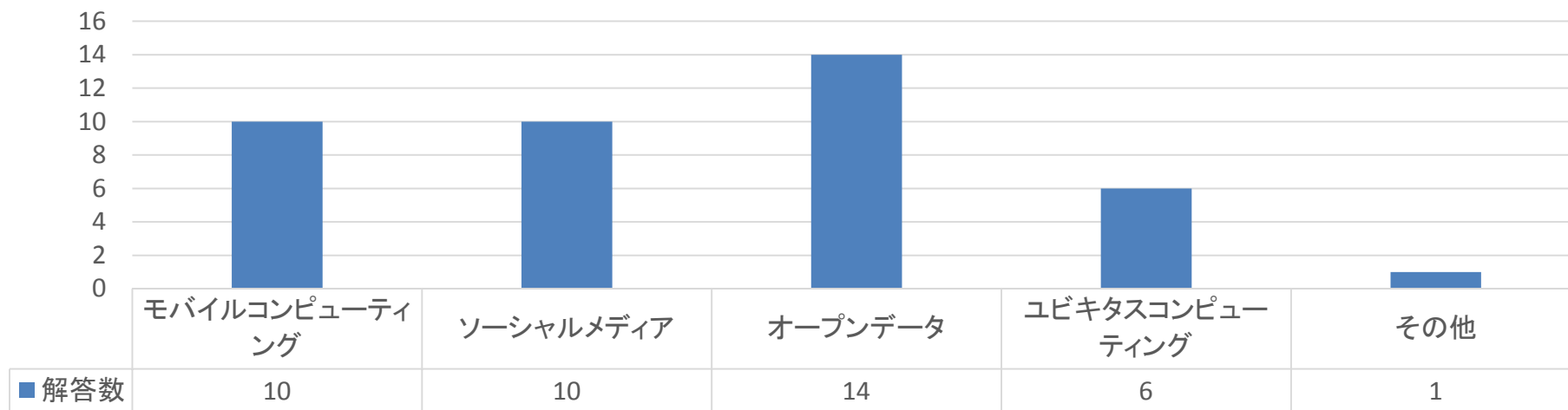
立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.9	4.4	4.4	3.9	4.3
官公庁・自治体	4.7	4.3	3.0	4.7	4.3
学校・教育機関	4.5	3.5	3.0	5.0	3.5
学生	4.6	4.4	3.0	3.8	4.0

— 企業 — 官公庁・自治体 — 学校・教育機関 — 学生

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- ビッグデータの活用事例について、よりたくさんの事例とその分析方法について知りたい

演習の内容

- BIツールのワークショップは、エクセルでの前処理に時間がかかりすぎて、分析にあまり時間が取れなかった。前処理の時間が短くなるようにした方が良いと思います

日数・時間配分

- 1日目の内容をもう少し時間をかけて勉強したい
- 時間的に窮屈感がある
- 実践的部分がもう少し多くとられていてもよかったですと感じました

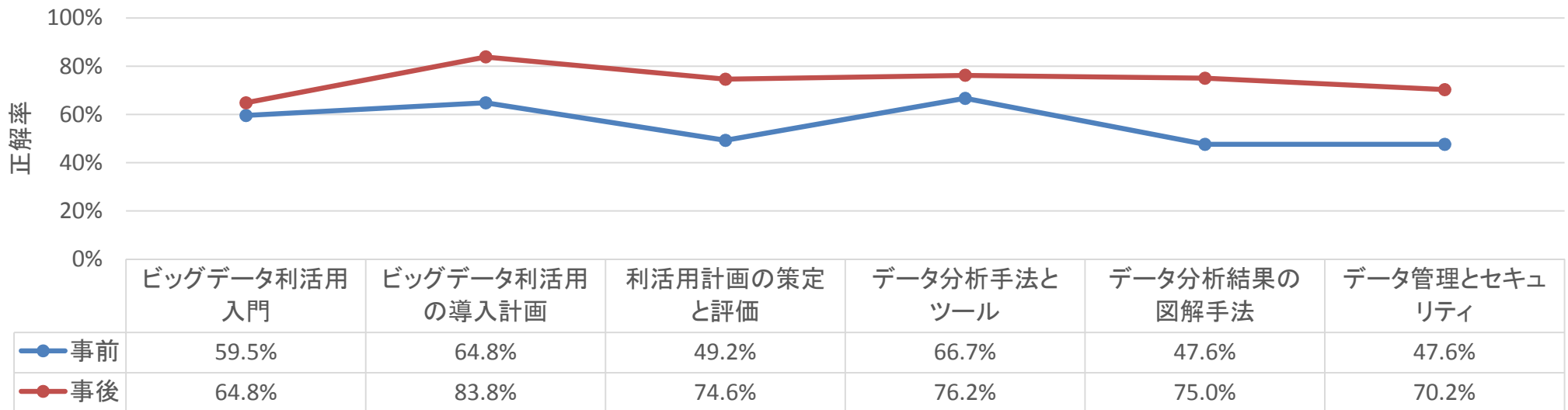
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
17.1	21.8

(30点満点)

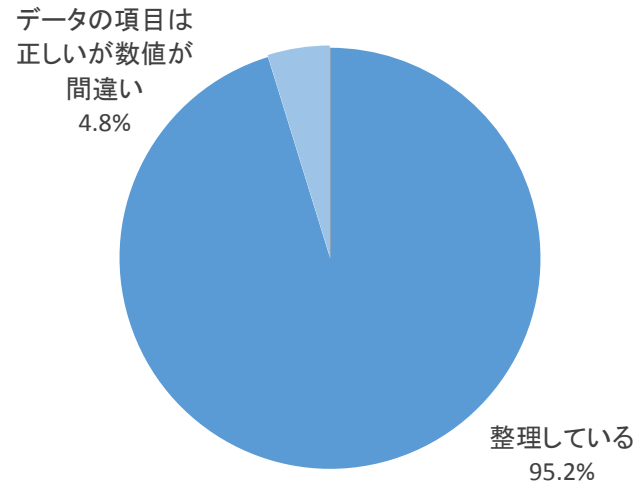
4.7点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

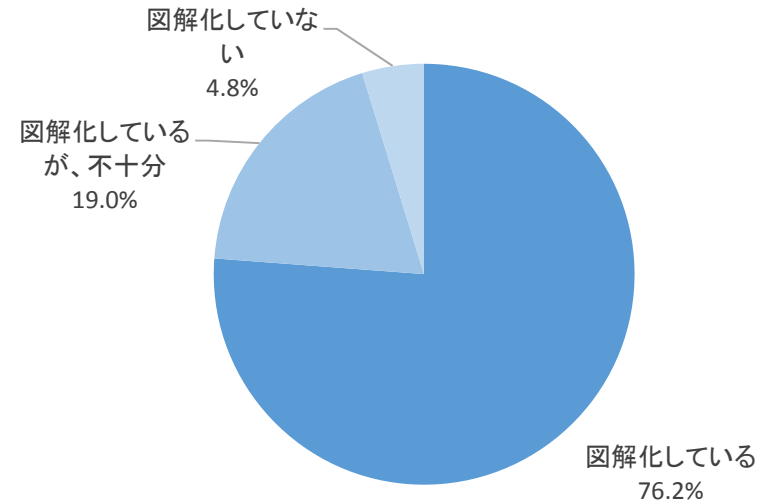


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

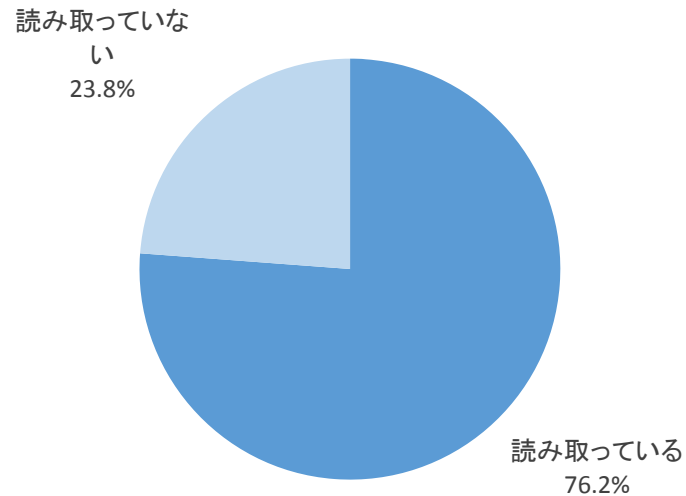
■ データを正しく整理しているか



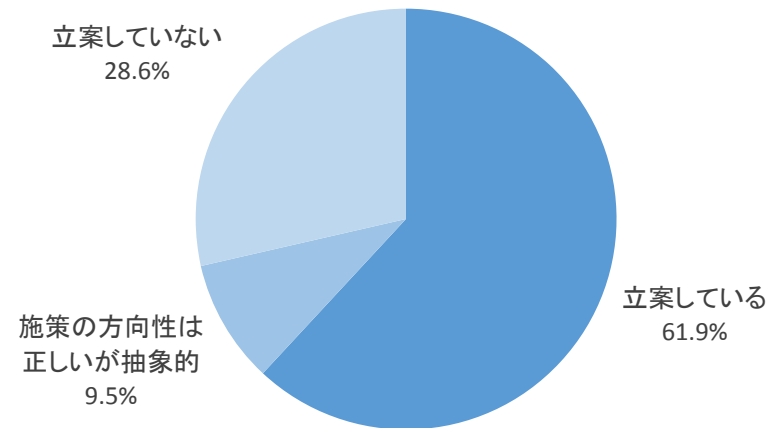
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

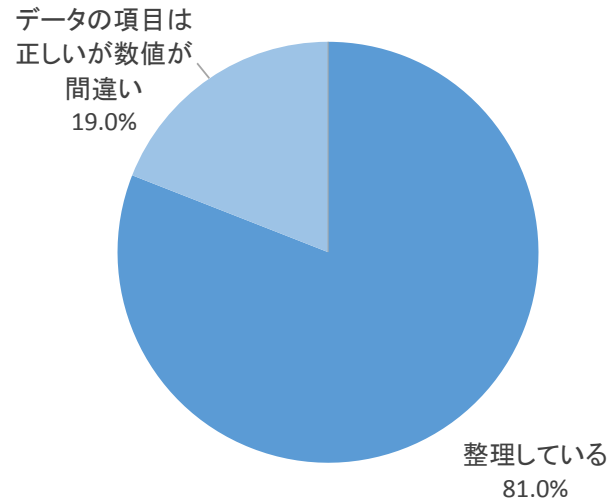


■ 考察から適切な施策を立案しているか

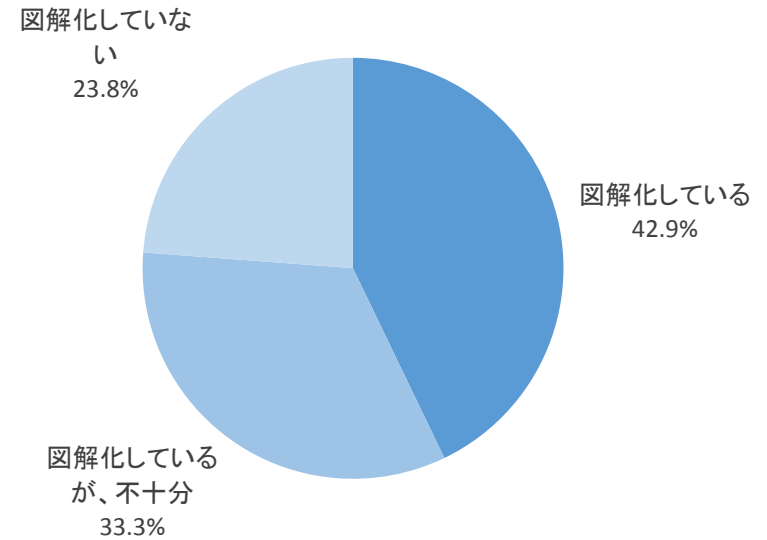


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

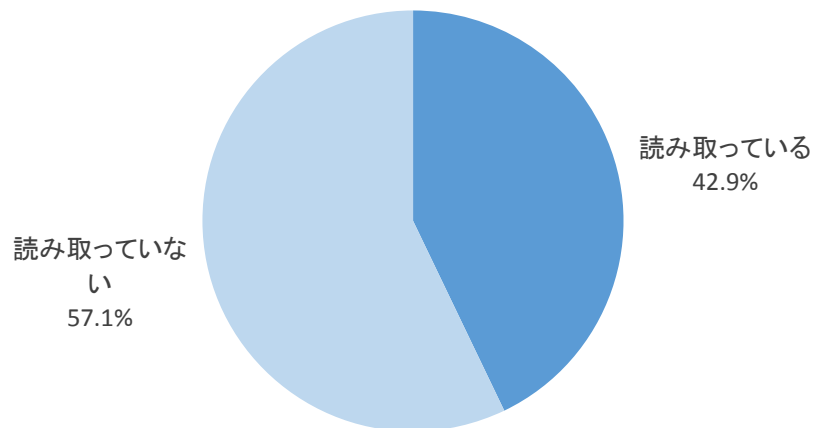
■ データを正しく整理しているか



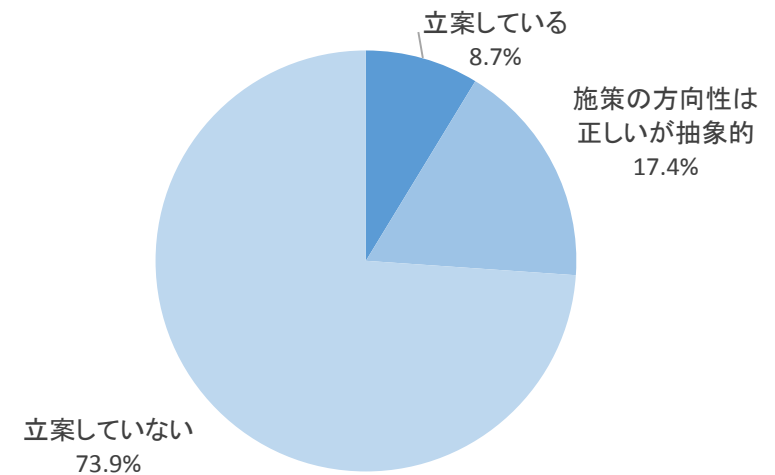
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: データの利活用ということで、データを分析するだけでなく、セキュリティのことを考えたり結構幅広いことが分かった。帰って復習したいと思う。
- 受講者B: 自社で使うというよりも、お客さんにビッグデータの価値を伝える立場なので、会社に持ち帰り、これからの業務に役立てていきたい。
- 受講者C: 受講前、ビッグデータは硬い感じなのかと思っていたが意外と楽しかった。ありがとうございました。
- 受講者D: しっかりと復習したいと思う。ありがとうございました。
- 受講者E: BIツールを使うのは初めてで、自分はExcelも全然使えてないんだと改めて分かった。今回学んだことを忘れないようにしていきたいと思う。
- 受講者F: ツールの使い方もよく分からないまま、全く違う立場の方と一緒に何かをやっていくというのは、すごくいい経験になったと思う。また、普段まったくしゃべらない人と交流したりするのも、ビッグデータのひとつなのかなと思った。今回出てきた部分を、役に立てるようにしていきたい。
- 受講者G: 全体像をよく理解できた。また、かなり立場の違う方々と一緒にワークをやって非常に楽しかった。ありがとうございました。
- 受講者H: ビッグデータは、最近社内によく言われていたので、イチから勉強できてよかった。特に、ツールやデータの使い方はよくあるが、活用計画のところを勉強できたので、持ち帰って皆に伝えたいと思う。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者I: 二日間みっちりだったので、忘れないように、帰って復習したいと思う。ありがとうございました。
- 受講者J: ビッグデータについて全然分からないところから、かなり学べたと思う。ここをスタート地点に、戻ってからも少しずつ勉強を進めたいと思う。
- 受講者K: 座学というのは長く感じることが多いが、この二日間はあっという間に終わった。テキストも大分ボリュームがあって、すべてに目を通すことができなかったので、帰ってからじっくり勉強できたらいいと思う。
- 受講者L: 子供や府民の方に、統計について分かりやすく伝えたいと思い、今回参加させていただいた。今後活動をしていく上で、こういう風にデータを使ったら、こういう結果が得られるんだよ、というのをもっと伝えていきたいと思う。
- 受講者M: 二日間お疲れ様でした。帰ったら、Rが0.7以上のものを探してしまうのではないかと思う。皆さんも探してみてください。ありがとうございました。
- 受講者N: 共通のテーマで、世代間を越えて楽しく取り組めたので、忘れないうちに帰って復習しようと思う。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者O: 久しぶりにこれだけまともに授業を受けということで、楽しかった。皆さんどうもありがとうございました。
- 受講者P: お疲れ様でした。またご縁あったら宜しく願います。

9-4. 研修コースの感想(学生)

- 受講者Q: ビッグデータについて深く学ぶことができた。また、社会で働いてる人と話す機会があまりないので有意義な二日間になったと思う。どうもありがとうございました。
- 受講者R: 学校以外の社会の場でこういうことができて楽しかった。ありがとうございました。
- 受講者S: 民間の方から公務員の方まで、年齢も違うところで勉強できたのがとてもいい経験になった。私事ではありますが、ビッグデータを活用して何か面白いコラムや新聞を書きたいと思った。
- 受講者T: テキストの厚さを見てやっていけないと思ったが、社会人の方々がたくさんいて、いろいろ教えていただきながら学ぶことができて、本当に良かった。
- 受講者U: なかなか難しくて着いていくのも大変だったが、帰ってしっかり復習して身に付けるようにしたい。

VIII. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(北海道会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	北海道
開催形態	特別講座
日程	2015年2月19日～20日 10:00～18:00
会場	札幌市産業振興センター セミナールーム3
会場所在地	北海道札幌市
申込者数	37名
受講者数	22名(社会人13名、学生9名)
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	6名
講師	日本サード・パーティ株式会社 森本良照
協力	総務省 北海道総合通信局

VIII. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(北海道会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=13

地域	北海道札幌市 [11]				北海道 室蘭市 [1]	東京都 中央区 [1]	
産業分野・業種	農業 [1]	サービス [1]	サービス(ICT関連) [3]	コンサルティング [3]	学校・教育機関 [3]	官公庁・自治体 [2]	
所属部門	経営企 画 [1]	営業・販売 [2]	マーケ ティング [1]	コンサルティング [3]	情報シス テム [1]	研究開発 [3]	その他 [2]
組織規模	19人以下 [4]		20～99人 [3]	100～499人 [3]	1000人以上 [3]		
地位・役職	一般社員 [3]	係長・主任 [2]	課長 [3]	部長 [1]	経営者・役員 [4]		
勤務先でのビッグ データ利活用状況	全体的に取り組ん でいる [2]	一部で取 り組んで いる [1]	取り組みを検討している [9]			取り組み の予定 はない [1]	
分析ツールの使用 経験	1年以上 [4]		1年未満 [1]	未経験 [8]			

2-2. 受講者の属性(学生) N=9

地域	北海道札幌市 [6]		北海道江別市 [1]	北海道函館市 [2]
所属	大学院 [3]	大学 [5]		専門学校 [1]
専攻	工学部(ICT関連) [3]		経営・商学部 [6]	
分析ツールの使用経験	1年以上 [1]	未経験 [8]		
ビッグデータに関連した講義やゼミの有無	ある [1]	ない [1]	わからない [7]	

ビッグデータに関連した講義やゼミの内容

- とくになし

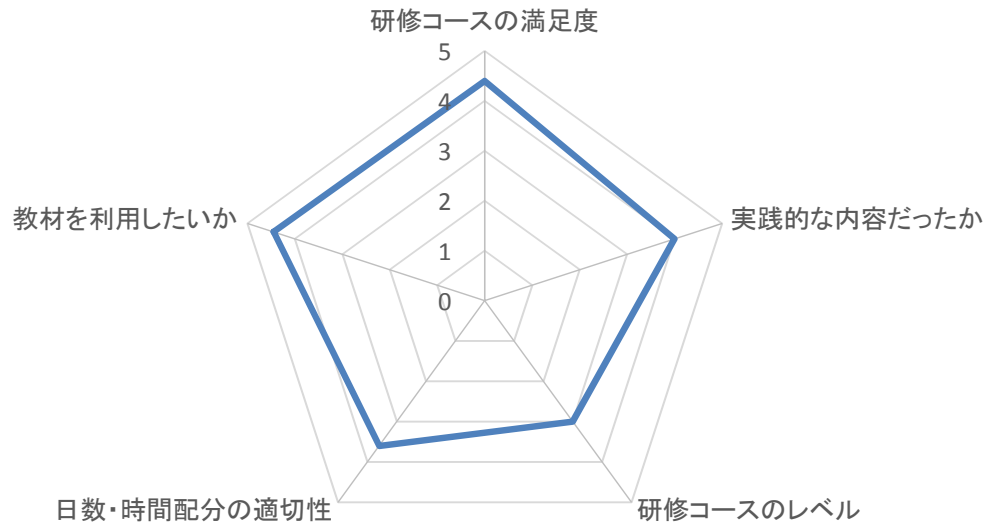
2-3. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=6

地域	北海道札幌市 [5]		東京都中央区 [1]
産業分野・業種	コンサルティング [3]	サービス(ICT関連) [2]	学校・教育機関 [1]
所属部門	営業・販売 [2]	コンサルティング [3]	教員 [1]
勤務先での立場	研修企業に所属する 講師 [1]	フリーランスで活動している講師 [3]	ユーザ企業の人材育成担当者 [2]
インストラクター経験	3年以上 [5]		未経験 [1]

現在、取り組んでいる人材育成の分野

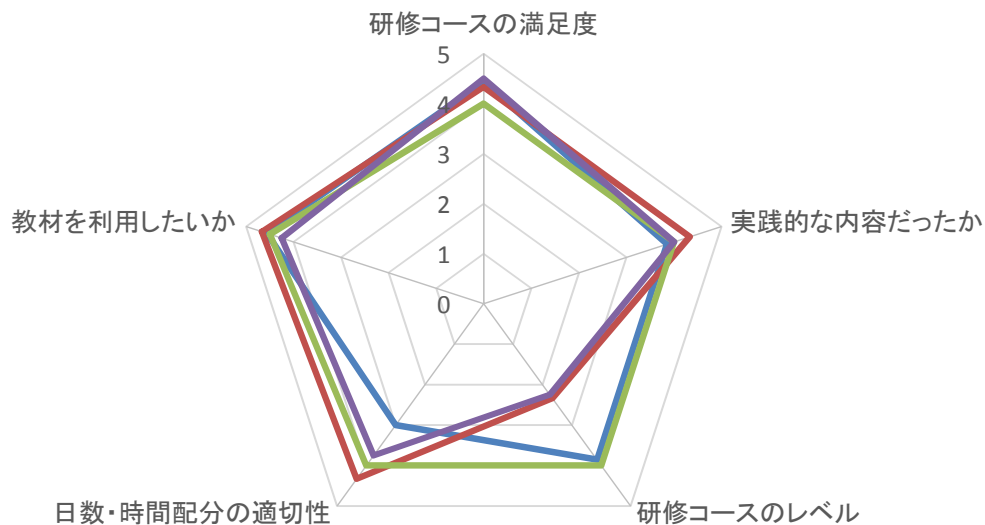
- プロジェクトマネージャ、ユーザビリティエンジニア
- 一般企業の経営者層
- 企業の広告担当者や自営の方等
- 中小企業のIT人材

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



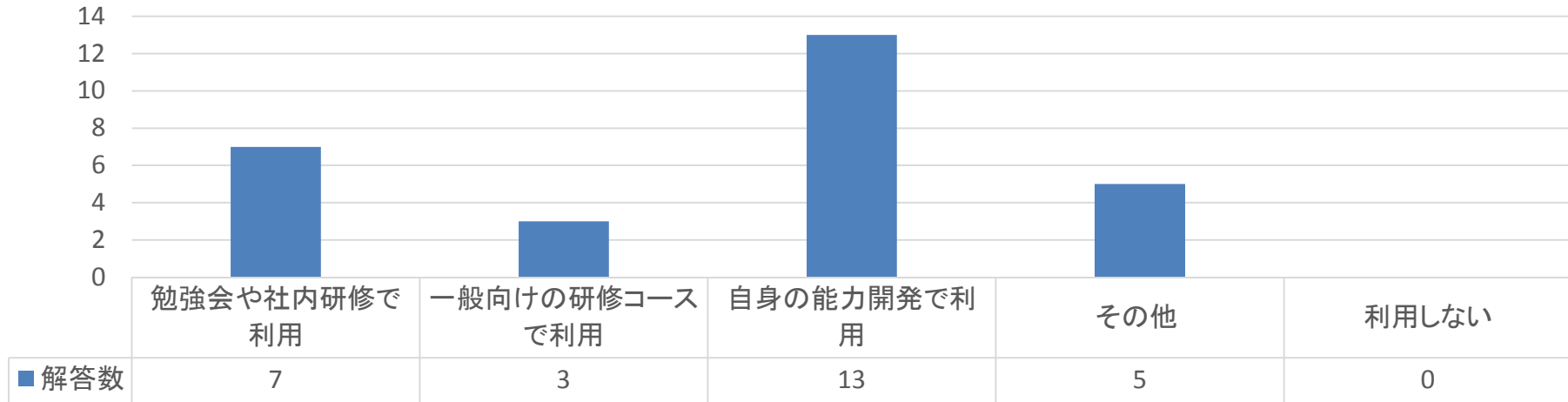
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.4	4.0	3.0	3.6	4.5

3-2. 研修コースの評価(立場別)

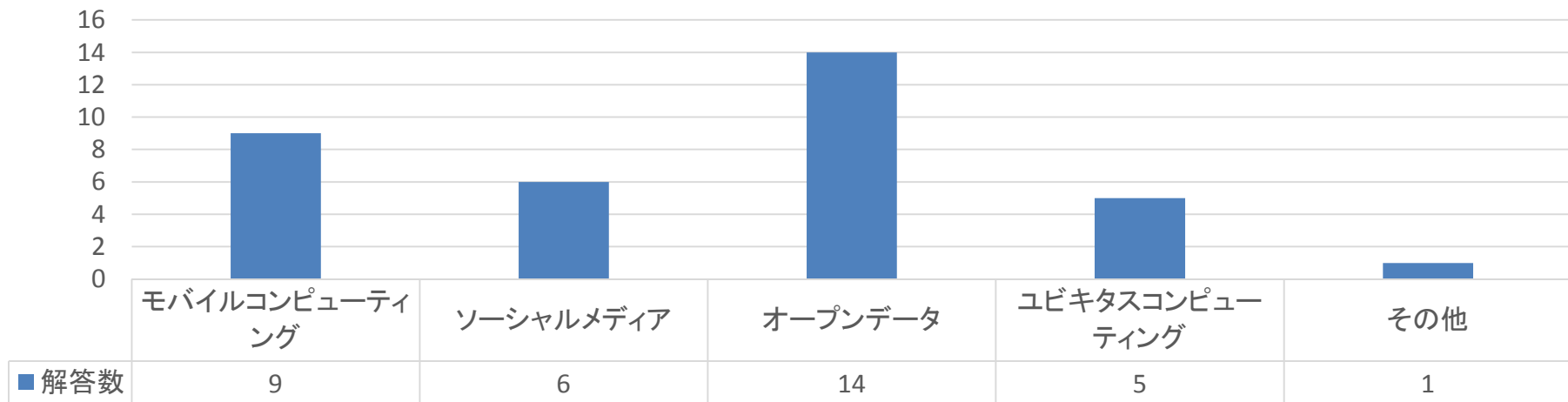


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.4	3.9	3.9	3.0	4.6
学校・教育機関	4.3	4.3	2.3	4.3	4.7
官公庁・自治体	4.0	4.0	4.0	4.0	4.5
学生	4.5	4.0	2.3	3.8	4.3

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 教材にキーワード集(あるいは索引)が含まれると復習がしやすい
- テキストに記載されている情報が古いので、最新情報への更新をお願いしたい
- 概念が多いので、もっと具体的にどうすれば良いのか学べると良い。(例えば、KPIはどのように設定したら良いのか、など。)
- 課題の抽出に「swot分析」を導入してはどうか。ビッグデータの事例をもう少し増やしてはどうか
- すべての章で導入部分がいないのでは。プリントアウトした時紙がもったいないので

演習の内容

- 非定型データを取扱う演習を含めていただければよかったと思う。また、HadoopやRなどの演習があると良かったと思う

日数・時間配分

- テキストの内容が多く、もっと演習時間(ケース及び分析)が多いほうが良かった気がします。→ケース及び分析の進め方、シナリオも必要だと感じた
- 日数を増やして、もう少し深いところまでやった方が良い
- 講義の時間を短縮し、演習時間を増やしてはどうか

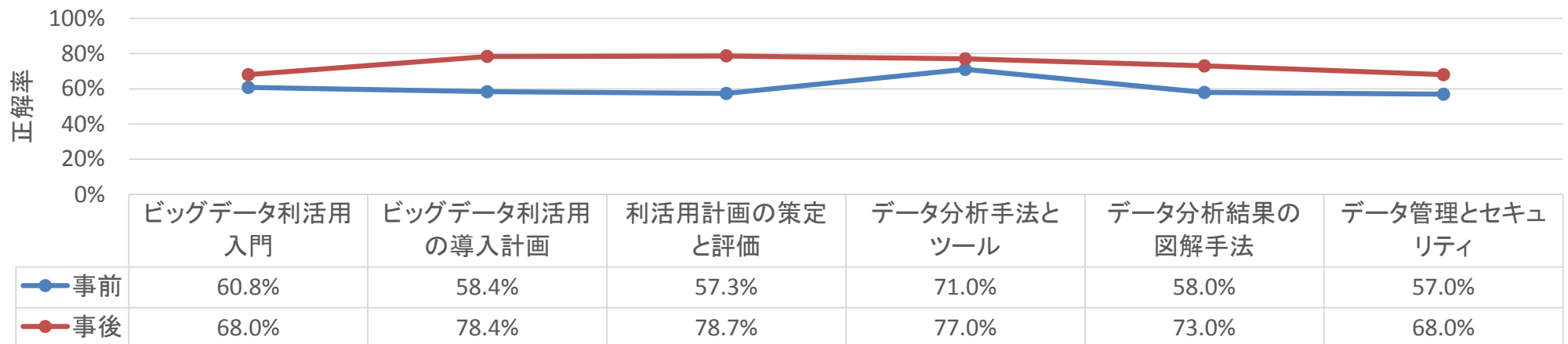
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
18.4	22.2

(30点満点)

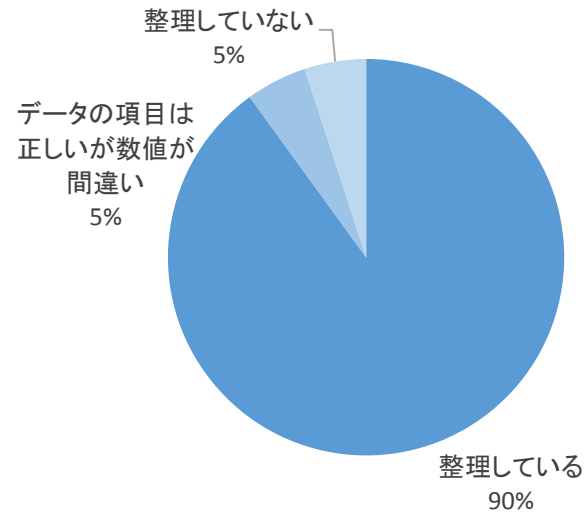
3.8点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

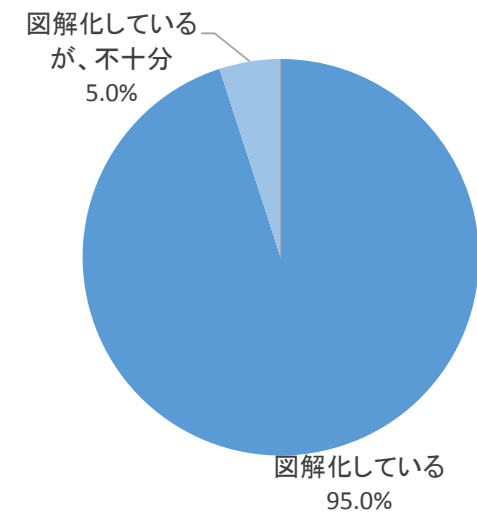


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

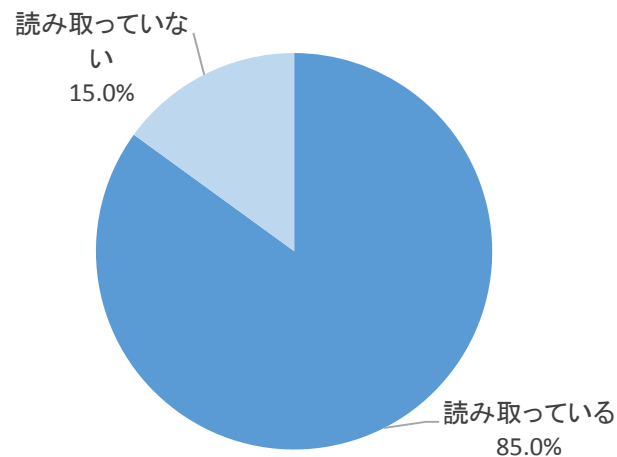
■ データを正しく整理しているか



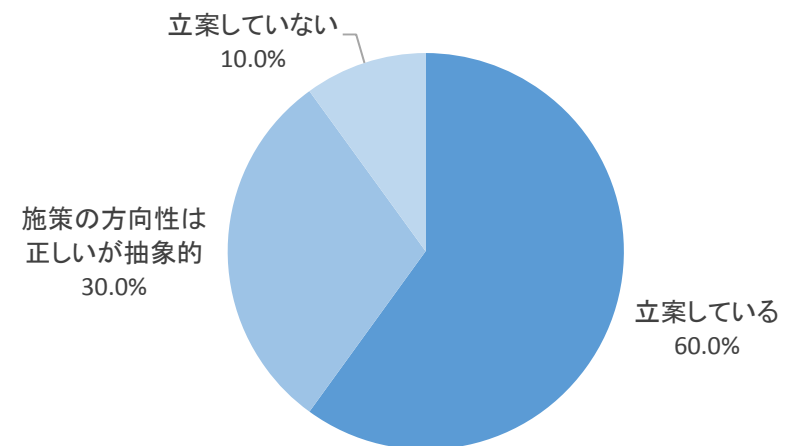
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

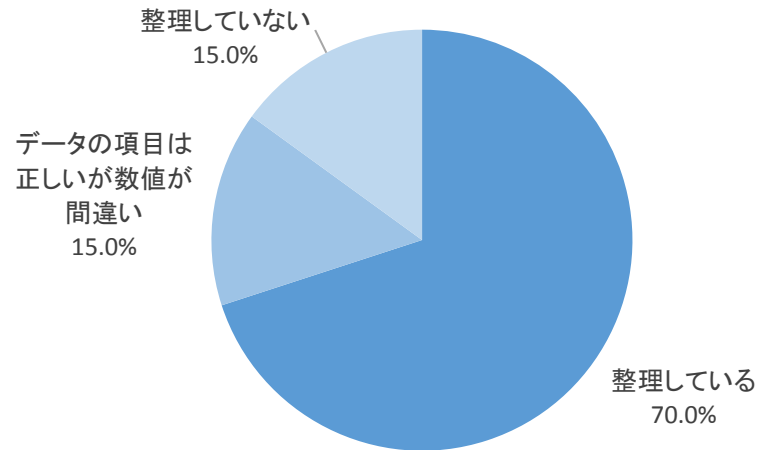


■ 考察から適切な施策を立案しているか

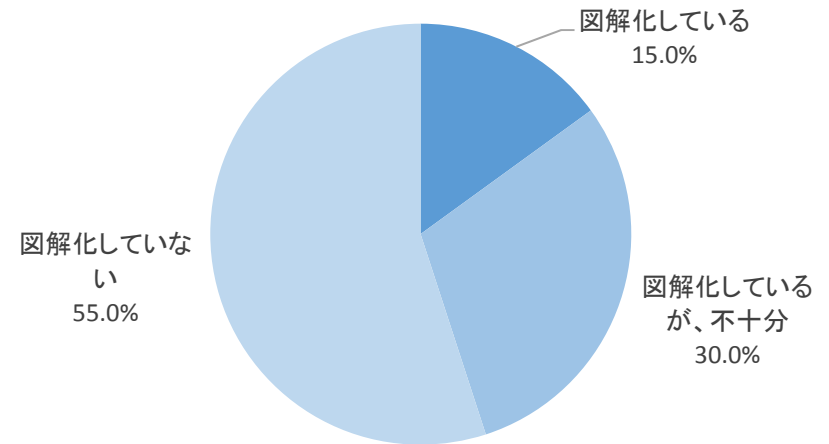


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

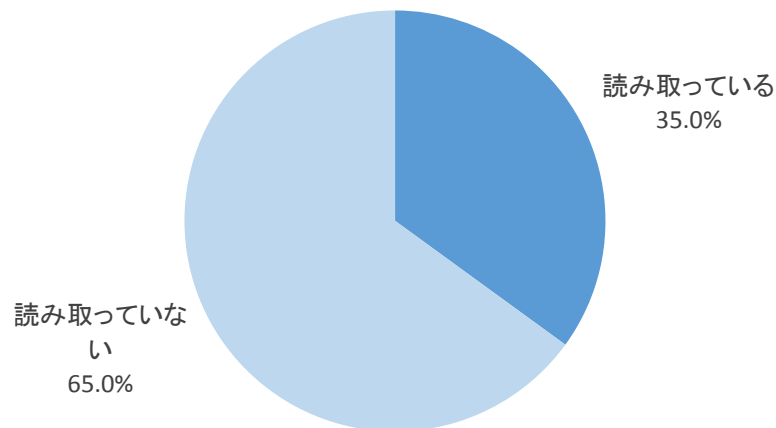
■ データを正しく整理しているか



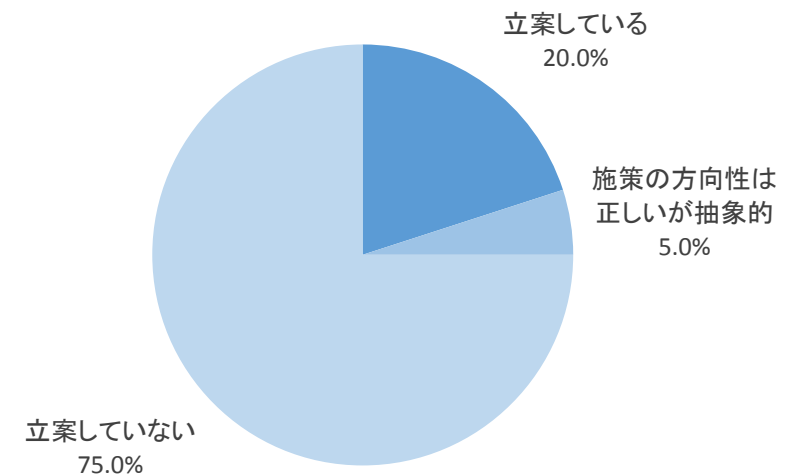
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: 教わったことを出来るようにするだけでなく、どうやって活かしていくかを考えなければいけない。そういったことも含めて気づきがあった。
- 受講者B: データ分析といっても、やはり非常に守備範囲が広いと感じた。単にツールを使いこなすとかリテラシーの問題だけではなく、それを支えるビジネスに対する洞察力が重要だと分かった。そのための人材育成も非常に時間がかかると思うので、地道な努力をしていきたい。
- 受講者C: 普段、気象データを扱って、ビジネスとは遠い自然現象を分析しているが、データとデータを組み合わせて、新しい知見を得るというのは自然科学とも共通している。また、自分で考えてグループで話し合っ発表しあうというシステムが、全員の様子が分かって楽しい。
- 受講者D: 演習の時間がもう少しあったほうが良かったと思った。貴重な体験ありがとうございました。
- 受講者E: マーケティングなどの提案に非常に使えるのではないかと思ったので、活かしていければいいと思う。
- 受講者F: 学生の方や若い方がいて非常に刺激になった。ビッグデータ解析は奥が深く、自分に足りない部分がこの2日間で分かったし、ビジネスに結び付けようとした時、いろんな切り口や引き出しが自分に足りないことを気づくことが出来た。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者G: どこの市役所も分析まではやってない。こういうことが出来る人材をどんどん育てていかなければいけないと感じた。役所はオープンデータを公開する立場にあるので、出来るだけ皆さんに使っていただけるようにすることが大事だと改めて感じた。
- 受講者H: 業務で実験データを解析しているが、(ビッグデータに関して)最近ディスカッションする機会が増えている。今回いろいろ教えていただいたことを、今後活かしていければと思う。

9-3. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者I: 大学で心理学を教えているが、今後自分の研究にも取り入れたいと思い受講した。まったく違う業種の方々と接点をもてたということ、自分とは違う研究領域の話聞いたことが非常に刺激になった。業種は違っても、自分の仕事に活かせると感じている。
- 受講者J: 札幌市内のITエンジニアを対象にして、イノベーション研修をやるので、その中でこの研修をやっていきたいと思う。
- 受講者K: 普段から分析ツールを使っているが、今回はExcelの使い方が全く分からず本当に大変だった。初心に戻っていこうと思う。

9-4. 研修コースの感想(学生)

- 受講者L: グループワークを通して、社会人の方たちと関わることができて良かった。ビジネスを知っている方は観点が違うなと思った。
- 受講者M: 回帰分析という手法は、研究でもベーシックに使われるものだが、何を見たいか、どういった体制、ビジネスモデルでやるかといった部分が重要だと感じた。これから社会人として、何のために、誰のためにやるのか、何につながるのか、ということ常を頭に置いて仕事をやっていこうと思う。
- 受講者N: これまで統計データなどを見ると、1番大きい数字だけ見て満足していたが、今回、それを分析していかないという考え方が出来たので、とても充実した2日間になった。これからもどんどんこういった知識をつけていって、社会に出て自分の武器にするように努力していきたい。
- 受講者O: 研究者という立場でデータベースとビッグデータを扱っているが、組織という観点で見る姿勢ががなかったのが非常に良かった。大学の先生や社会人の方に関わられて、自分がまだ知らない世界があることが分かった。
- 受講者P: よくニュースでビッグデータを聞くが、就職活動前に身をもって知ることができて良かった。企業で働いてる人の企画の仕方や、考え方などを学べたことが良いきっかけになってくると感じる。
- 受講者Q: 今、大学生2年生だが、今回のような機会は初めてで、何をやればいいのかわからなかったが、ビッグデータやビジネス関係のことを学べて刺激になった。どんな仕事に就職するか分からないけど、今回のことを活かせるようにしたい。
- 受講者R: ビッグデータについて学べたことと、企業に所属している方の観点を聞いて良かった。
- 受講者S: 学生のうちにこのような勉強会に参加できたことはとても貴重な体験だったと思う。2日間ありがとうございました。

IX. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(北陸会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	北陸(石川県、富山県、福井県)
開催形態	特別講座
日程	2015年2月26日～27日 9:30～17:30
会場	金沢工業大学 扇が丘キャンパス 21号館 503室
会場所在地	石川県金沢市
申込者数	32名
受講者数	27名(社会人15名、学生12名)
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	2名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 北陸総合通信局 金沢工業大学 産学連携推進部 連携推進室

Ⅸ. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(北陸会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=15

地域	石川県金沢市 [5]		石川県野々市市 [2]	石川県 加賀市 [1]	富山県 富山市 [1]	富山県 南砺市 [1]	福井県福井市 [2]	福井県坂井市 [3]	
産業分野・業種	製造 [1]	製造(ICT関連) [2]		通信 [4]		サービス(ICT関連) [2]		官公庁・自治体 [6]	
所属部門	営業・販売 [4]		情報システム [5]			研究開発 [3]		総務・財務・経理 [2]	その他 [1]
組織規模	19人以下 [1]	20～99人 [5]			100～499人 [6]			500～999人 [1]	1000人以上 [2]
地位・役職	一般社員 [10]					係長・主任 [4]		課長 [1]	
勤務先でのビッグ データ利活用状況	一部の事務所ま たは部門で取り 組んでいる [2]		取り組みを検討している [11]					取り組みの予定 はない [2]	
分析ツールの使用 経験	1年以上 [1]		未経験 [14]						

2-2. 受講者の属性(学生) N=12

地域	石川県金沢市 [5]	石川県 野々市市 [1]	石川県能美市 [2]	富山県富山市 [3]	富山県射 水市 [1]
所属	大学院 [3]	大学 [9]			
専攻	工学部(ICT関連) [10]			工学部(ICT関連では ない) [2]	
分析ツールの使用経験	1年未満 [4]	未経験 [8]			
ビッグデータに関連した 講義やゼミの有無	ある [7]	ない [3]	わからない [2]		

ビッグデータに関連した講義やゼミの内容

- Hadoopを用いたTwitterデータの解析など
- ビッグデータ時代に通用するアルゴリズムの開発
- 自然言語処理 データ分析
- 統計処理やビッグデータ、データマイニングについて

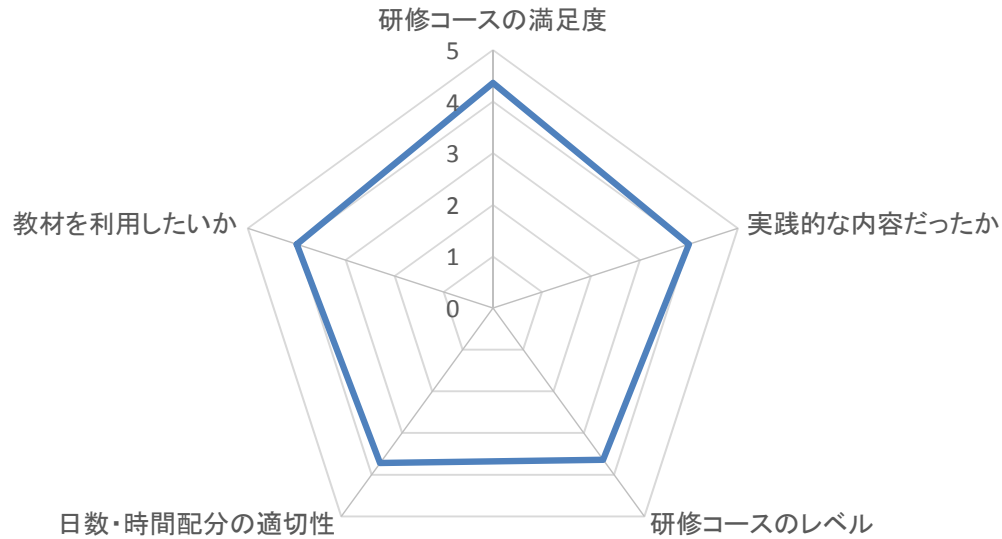
2-3. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=2

地域	福井県福井市 [1]	福井県坂井市 [1]
産業分野・業種	製造(ICT関連) [1]	サービス(ICT関連) [1]
所属部門	営業・販売 [2]	
勤務先での立場	その他 [2]	
インストラクター経験	未経験 [2]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

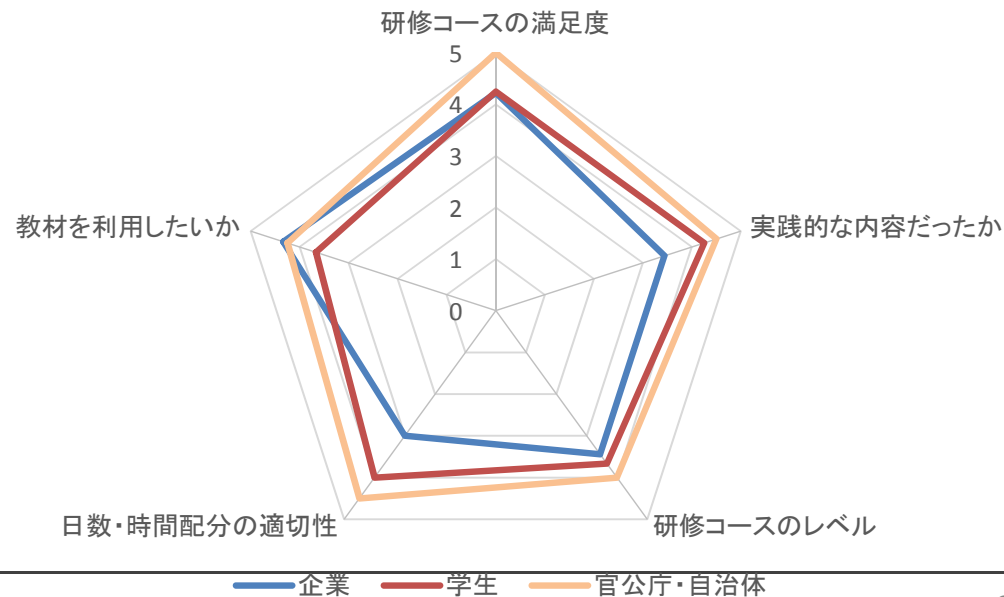
- とくになし

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



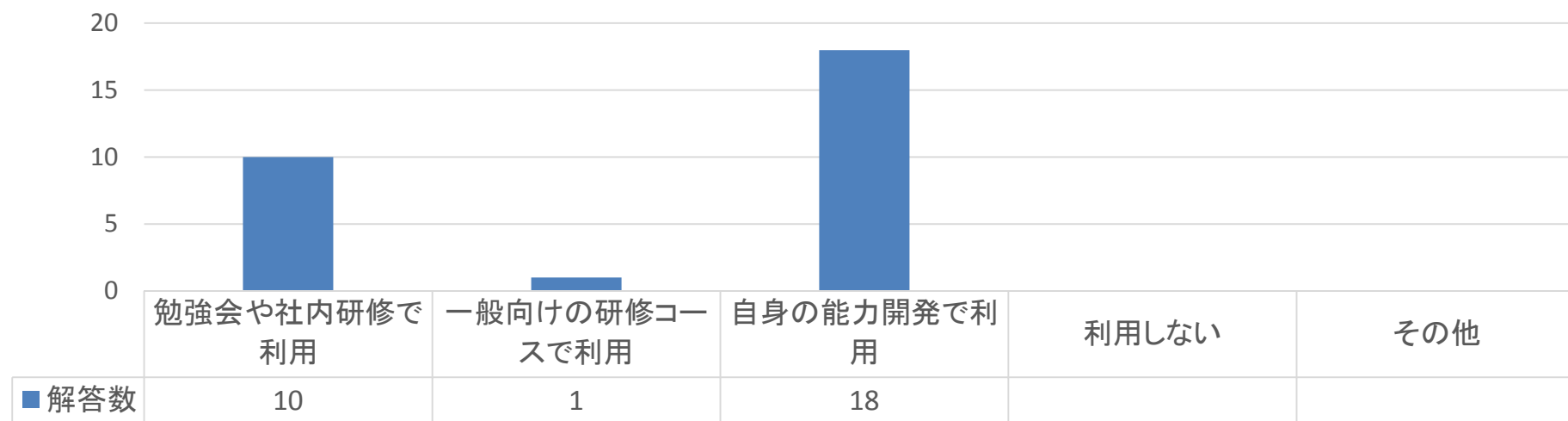
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.4	4.0	3.6	3.7	4.0

3-2. 研修コースの評価(立場別)

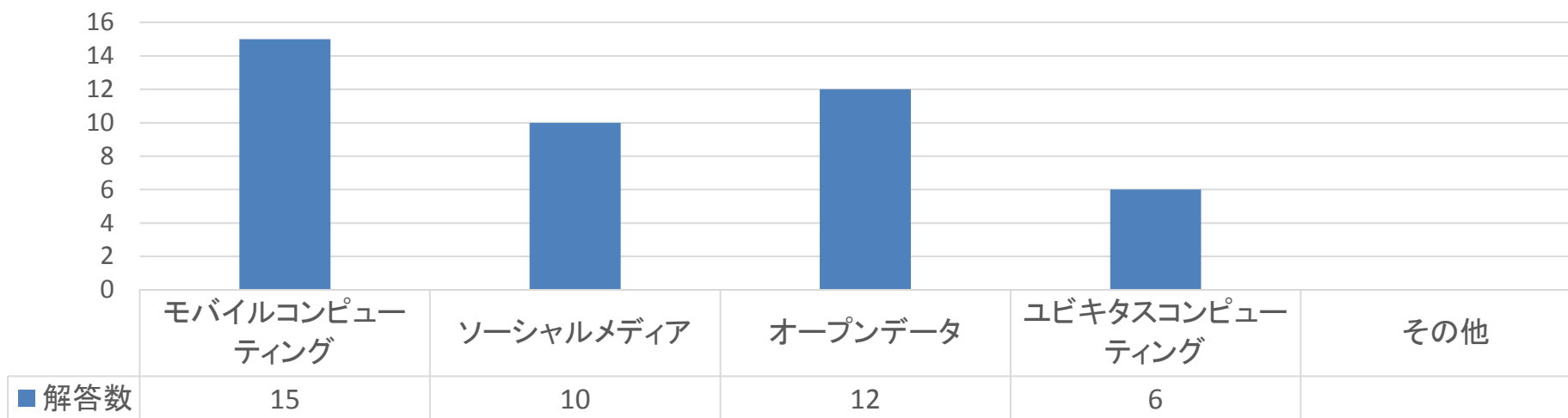


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.2	3.4	3.4	3.0	4.3
学生	4.3	4.3	3.7	4.0	3.7
官公庁・自治体	5.0	4.5	4.0	4.5	4.3

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- もう少し高度な内容を取り扱ってほしい。非構造データの分析も演習に取り入れるべき
- より大規模なデータに対する効率の良い処理方法(Hadoopなどの並列分散処理)について学びたい

演習の内容

- 実践できるノウハウをもっと身に付けたいので、演習の時間が多くあるとより良いと思いました。業界別のケーススタディ(民間、官公庁など)が出来るとより実践しやすくなると感じます
- 第2日目の課題については、解答サンプルのデータがあれば、手戻り等が少なくなると思う。今回は実証実験ですので、なかったのだと思いますが、本開講時にはご検討ください

日数・時間配分

- 3日コースの内容だと思います
- 演習の時間をもう少し長く取って欲しかったです

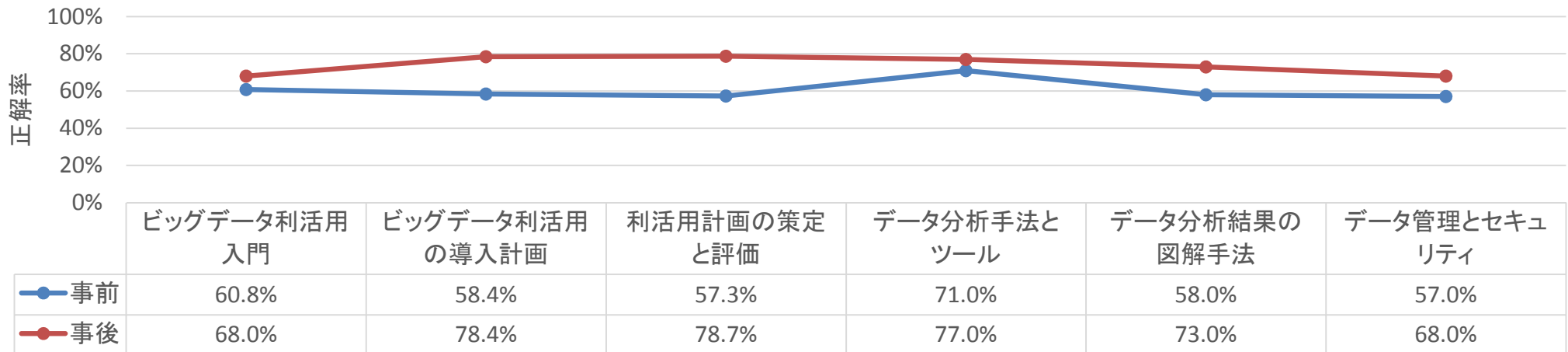
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
18.2	21.8

(30点満点)

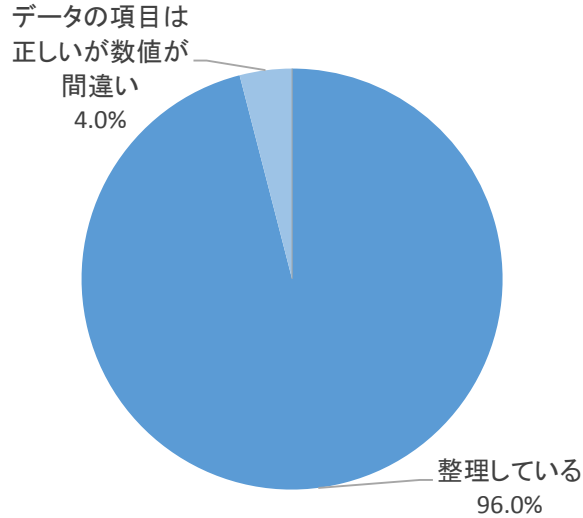
3.6点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

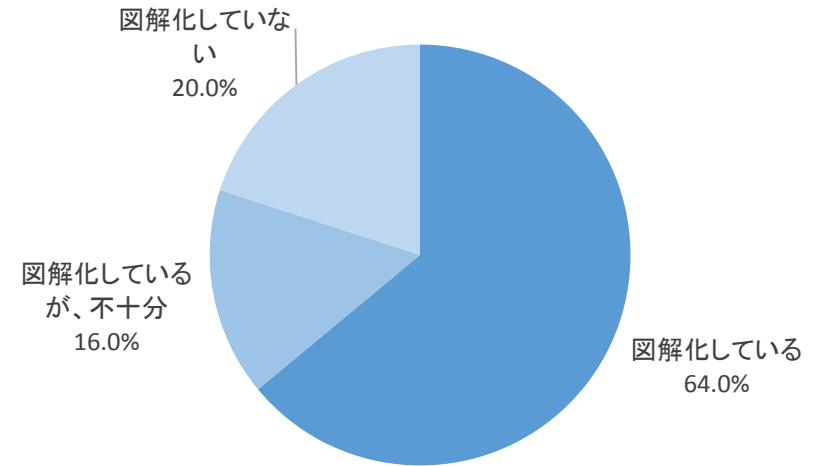


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

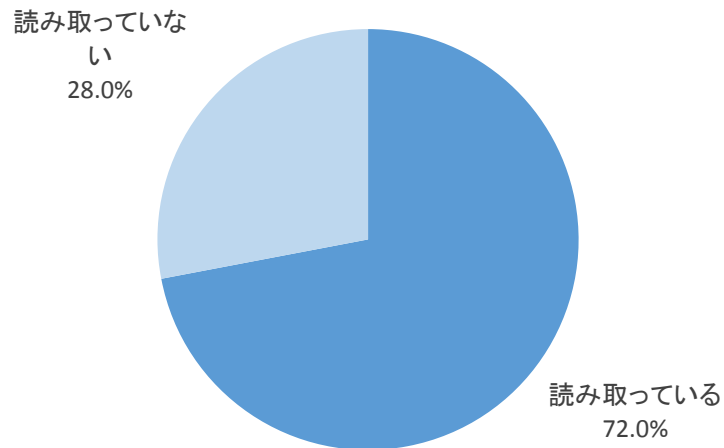
■ データを正しく整理しているか



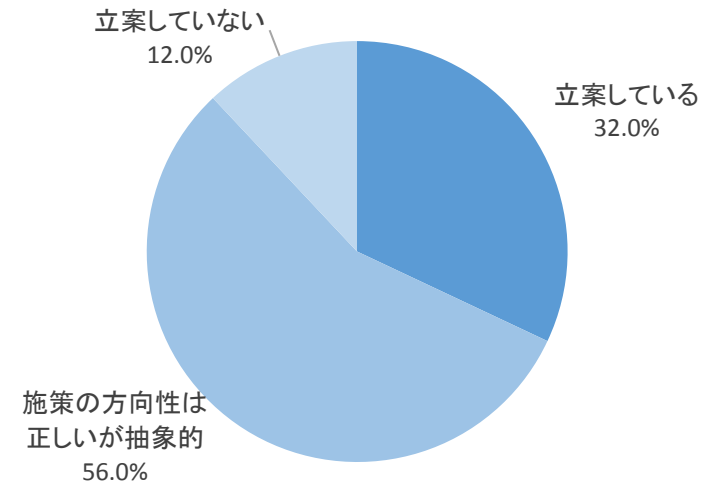
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

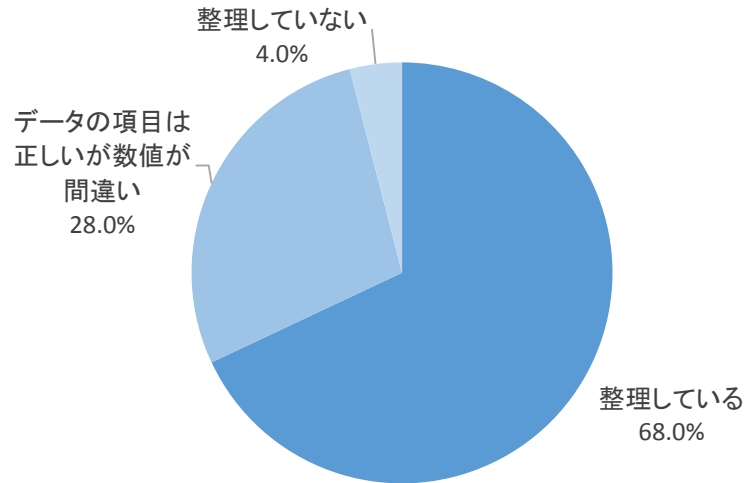


■ 考察から適切な施策を立案しているか

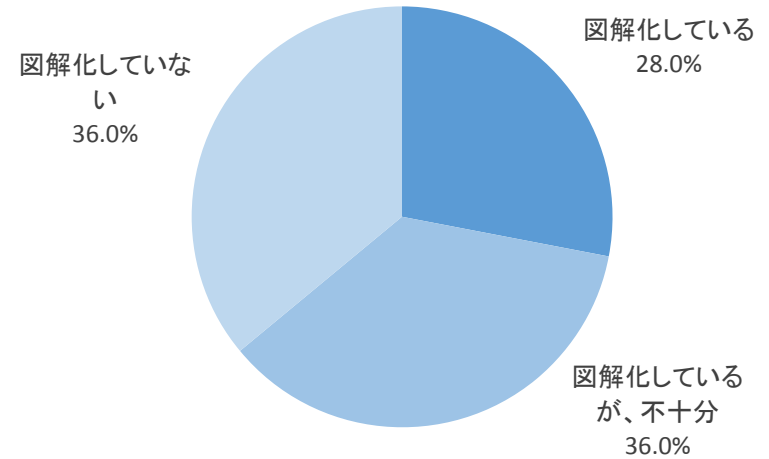


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

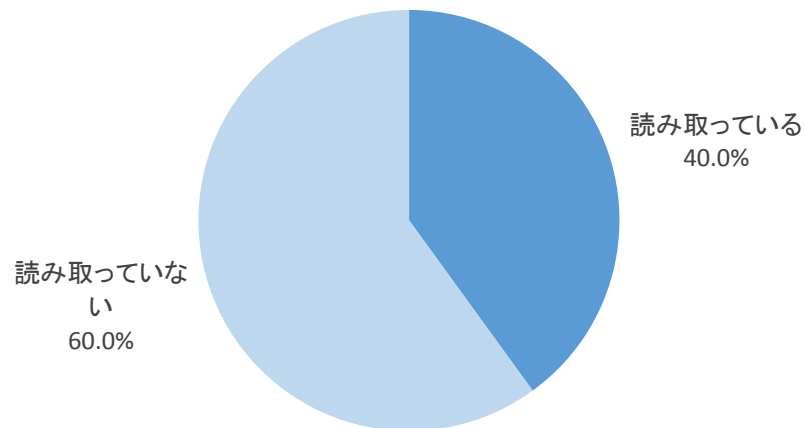
■ データを正しく整理しているか



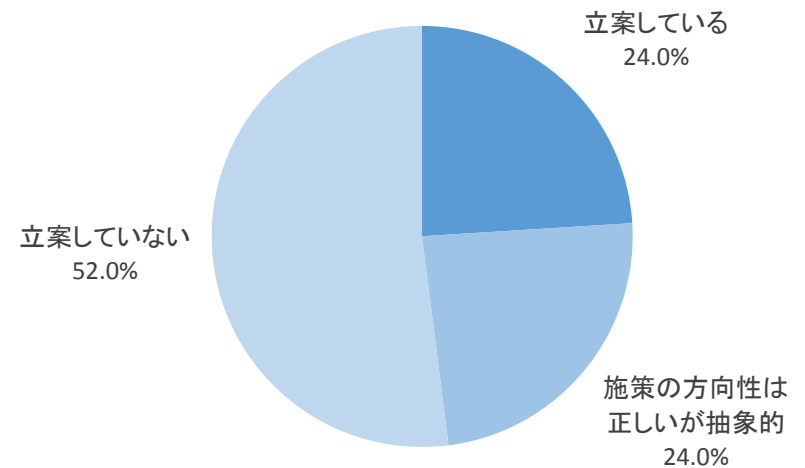
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: ビッグデータに関する講義は初めてだったが、二日間で大体どんなものかは理解できたと思う。
- 受講者B: 普段何気なくデータを触ってはいるが、今回学んだことによって、系統立てて、どんな理屈で構築すればいいかよく分かった。今後業務に活かしていきたい。
- 受講者C: ビッグデータとは何ぞやというところから始まって、少しでも基礎は身についたのかなと思う。今後、会社にフィードバックして業務に役立てていきたい。
- 受講者D: データ分析について広い範囲のことを一通りやったので、なかなか疲れる研修だった。どちらかという、自社ではツールを提案する側であるが、課題があって、それを解決するためにこういうことをやる、ということをお客様に伝えていければいいと思った。
- 受講者E: 今日得た知識を継続して使っていけたらいいと思う。
- 受講者F: どんな図を使えばいいのか、どんな相関関係があるのか分かるようになりたい。これからも使っていきたいと思う。
- 受講者G: 予想通り大変盛りだくさんの内容だった。データ分析について一連のプロセスや要素を、一通り横断して聞けてかなり良かった。ただ、実際やろうと思うと組織横断的な活動になるところや、利活用していく上での課題を見つけていくところがなかなか難しいと思うが、今回聞いた話を少しでも社内外に伝えていきたい。
- 受講者H: ひとまず社に持ち帰り、実際にデータを集めて問題の発見から検証するところまでやってみて、教わった知識をベースに頑張っていきたい。
- 受講者I: 実際に会社に戻って課題を見つけて実現することが重要なので、勉強を活かしていけるように、きちんと継続して頑張っていきたい。

9-2. 研修コースの感想(官公庁・自治体)

- 受講者J: 大変短い時間で非常に幅広い知識を得ることができた。特に具体的なデータを使って解析できたことが非常に良かった。
- 受講者K: 市でもオープンデータやビッグデータを推進していく方向なので、これを課に持ち帰り、仕事にフィードバックして役立てていきたいと思う。
- 受講者L: 受講前はビッグデータとはデータマイニングと同じものと思っていたが、より幅広い概念なんだなと認識を新たにできた。ただ一方で、実際に(業務に)適用するとなると、なかなかハードルが高いことも分かったので、やるにしてもスモールスタートがいいと思った。
- 受講者M: 大変疲れた。二日間ありがとうございます。

9-3. 研修コースの感想(学生)

- 受講者N: 二日間勉強して視野が広がったと思うので、今後の勉強に役立てていきたい。
- 受講者O: 実際にグループでビッグデータについて話し合ったり、他のグループの発表を見て、こんな考え方もあるんだなというのも分かったので、とてもいい機会になったと思う。
- 受講者P: ビッグデータに関する基礎知識がほぼゼロに近いところから始まったので大変だった。グループ演習を通して、ひとつのデータを多角的に見たことが非常に勉強になった。研究以外でも社会に出てから役立つことが多かったので活かしていきたいと思う。
- 受講者Q: ビッグデータについて学ぶことができただけでなく、いろいろな方々の意見を聞くことが出来て、自分のためになったと思う。
- 受講者R: 実際に題材を取り上げて、ワークでやるという形式は貴重な体験だった。ただ、ビジネスに関連付けて考える部分では、自分の力量の無さをすごく思い知った。社会人になる前にこういう痛い目を見ることができてよかった。
- 受講者S: かなり難しい内容で理解できないと思うところもあったが、今後の自分に活かせるように勉強していきたい。
- 受講者T: 学生なので、学んだことを実践する機会はなかなか無いが、データ分析コンペにどんどん参加して、自分のスキルを磨いていこうと思った。
- 受講者U: 二日間ビッグデータのことを学んだが、正直なところ全部は理解できていない。(ケーススタディを通じて)ビッグデータの知識と発表は腕次第だと思った。
- 受講者V: グループでの活動は久しぶりだったのでとても緊張した。今年から研究室の活動が始まるので、今回学んだことを少しでも活かしていけたら良いと思う。
- 受講者W: 大学院では、(データ分析について)興味がある人はどんどん先に進んで、自分みたいにとっ掛かりが無い人はなかなか先に進めなかった。今回、知識を得たので、今後の学習に活かしていきたいと思う。
- 受講者X: データを分析したい時にどういうプロセスや手順でやっていけば良いのかよく分かった。実際にデータを使って演習したが、どういう相関があるかを発見するのが難しいと感じた。

1. 開催概要

地域	沖縄
開催形態	研修コース
日程	2015年3月5日～6日 9:30～17:30
会場	浦添市てだこホール マルチメディア学習室
会場所在地	沖縄県浦添市
申込者数	15名
受講者数	12名
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	3名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 沖縄総合通信事務所 公益社団法人沖縄県情報産業協会

X. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(沖縄会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=12

地域	沖縄県那覇市 [6]		沖縄県浦添市 [2]	沖縄県宜野湾市 [2]	沖縄県うるま市 [1]	福岡県北九州市 [1]	
産業分野・業種	製造(ICT関連) [1]	サービス [1]	サービス(ICT関連) [6]		コンサルティング [1]	出版 [1]	学校・教育機関 [2]
所属部門	経営企画 [2]	営業・販売 [2]	コンサルティング [1]	情報システム [3]	研究開発 [2]	人事・人材育成 [1]	その他 [1]
組織規模	19人以下 [2]	20～99人 [5]		100～499人 [4]		500～999人 [1]	
地位・役職	一般社員 [2]	係長・主任 [4]		課長 [3]	部長 [2]	経営者・役員 [1]	
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の部門で取り組んでいる [1]	取り組みを検討している [7]			取り組みの予定はない [4]		
分析ツールの使用経験	1年未満 [2]	未経験 [10]					

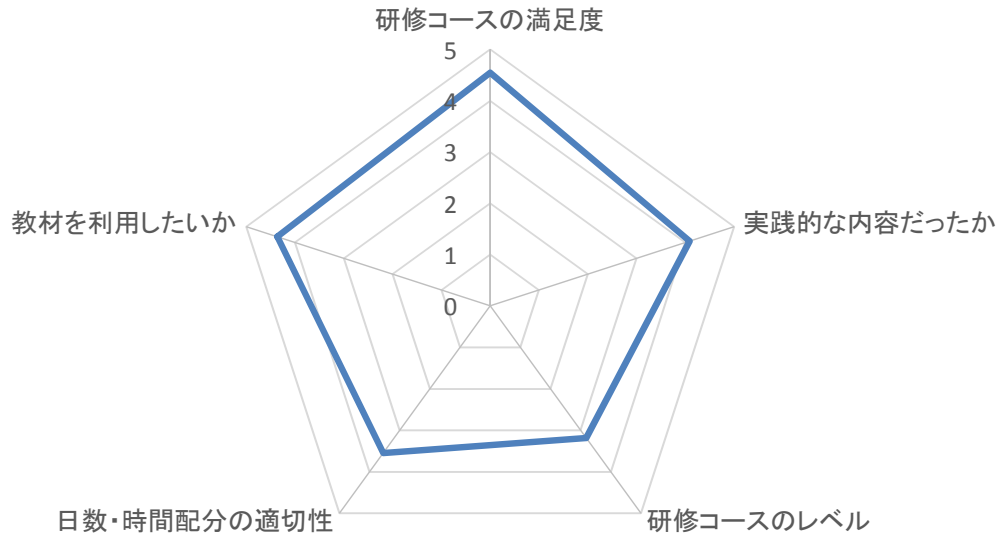
2-2. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=3

地域	沖縄県那覇市 [2]		福岡県北九州市 [1]
産業分野・業種	コンサルティング [1]	出版 [1]	学校・教育機関 [1]
所属部門	経営企画 [1]	情報システム [1]	その他 [1]
勤務先での立場	大学、専門学校等の教員 [1]	その他 [2]	
インストラクター経験	3年以上 [1]	未経験 [2]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

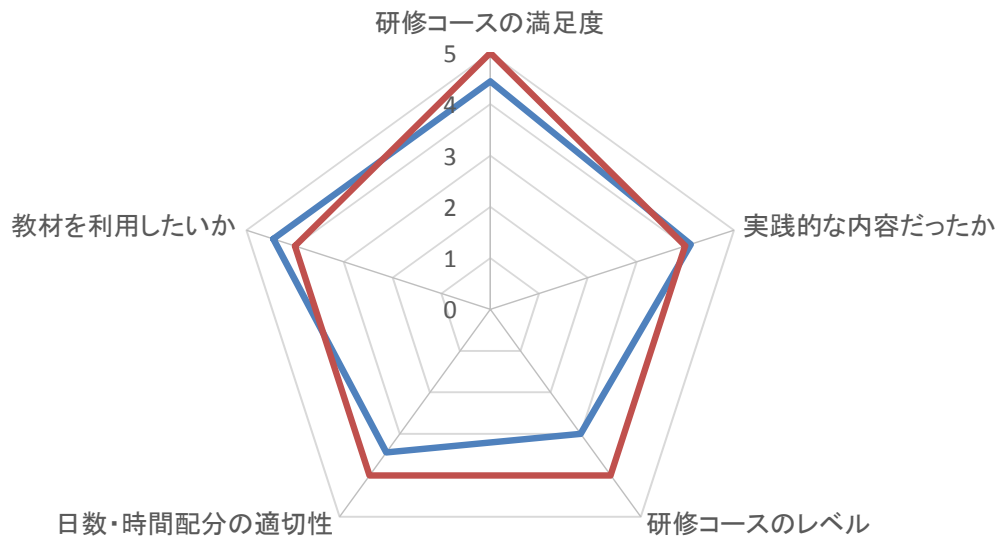
- これから人材育成をする立場
- リスティング広告のデータ分析
- 情報基礎教育

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



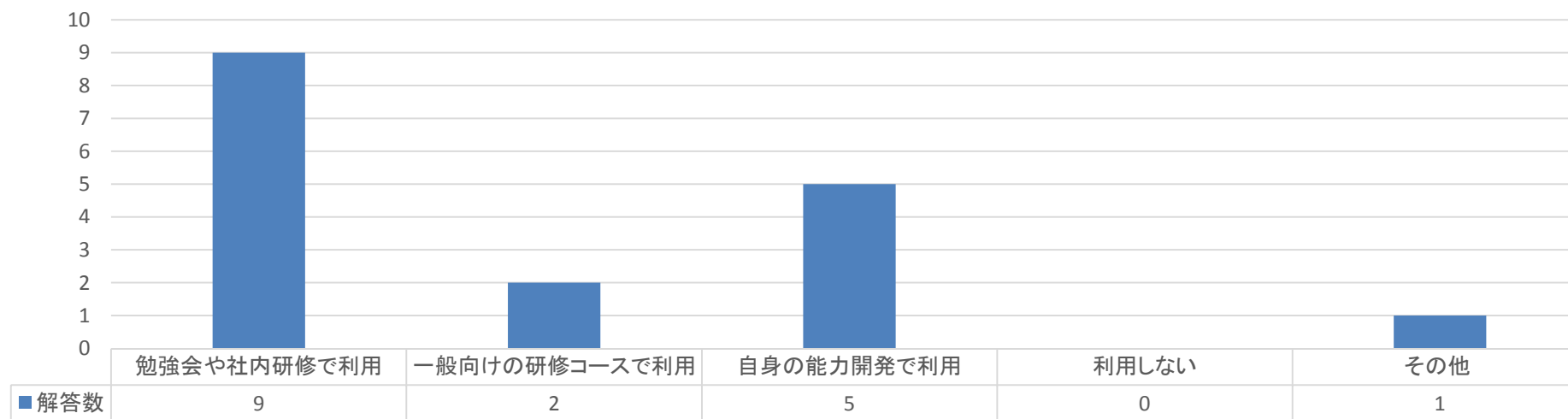
研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.5	4.1	3.2	3.5	4.4

3-2. 研修コースの評価(立場別)

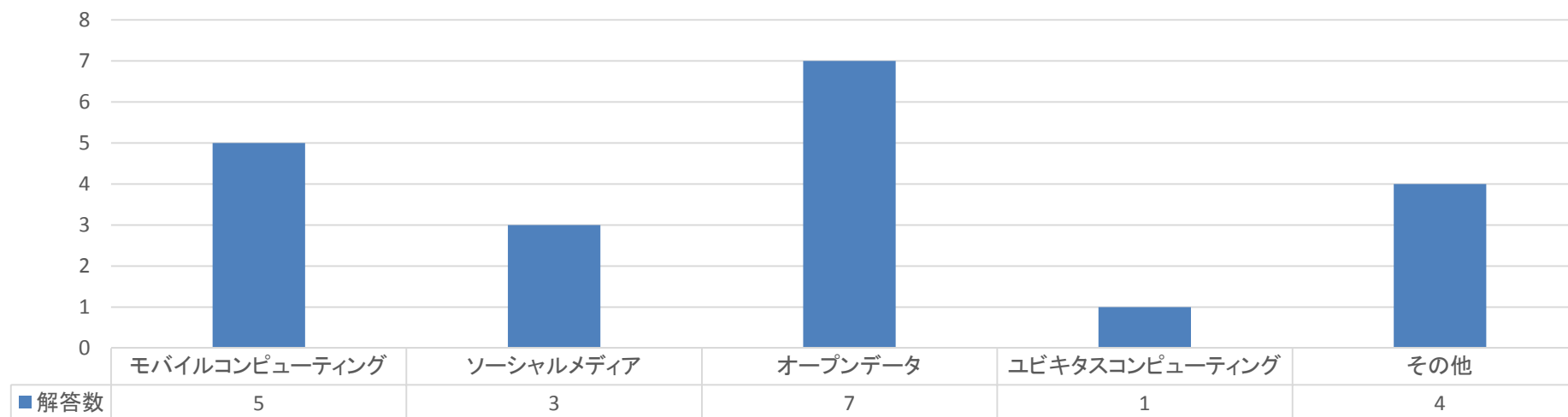


立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.4	4.1	3.0	3.4	4.4
学校・教育機関	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 市場動向などの外部環境についてもう少しお話を聞けたらと思いました
- 次のステップとしてHadoop や NoSQLを使った処理を学びたい
- 施策についての事例などを紹介していただきたい

演習の内容

- 演習で使用するBIツールが、フリーなものを選定されていましたが、可能なら国内でよく使われているツールで演習できれば、よりよくなったと思います。
- 解析ツールについてはオープンソースを利用してほしい。→今後自社で利用してみるため、利用方法を理解したい。
- 演習部分については、もう少しツールの技術的な操作方法がわかるようなテキストがあるとありがたい。
- PBL形式の流れを取り入れられるとうれしい

日数・時間配分

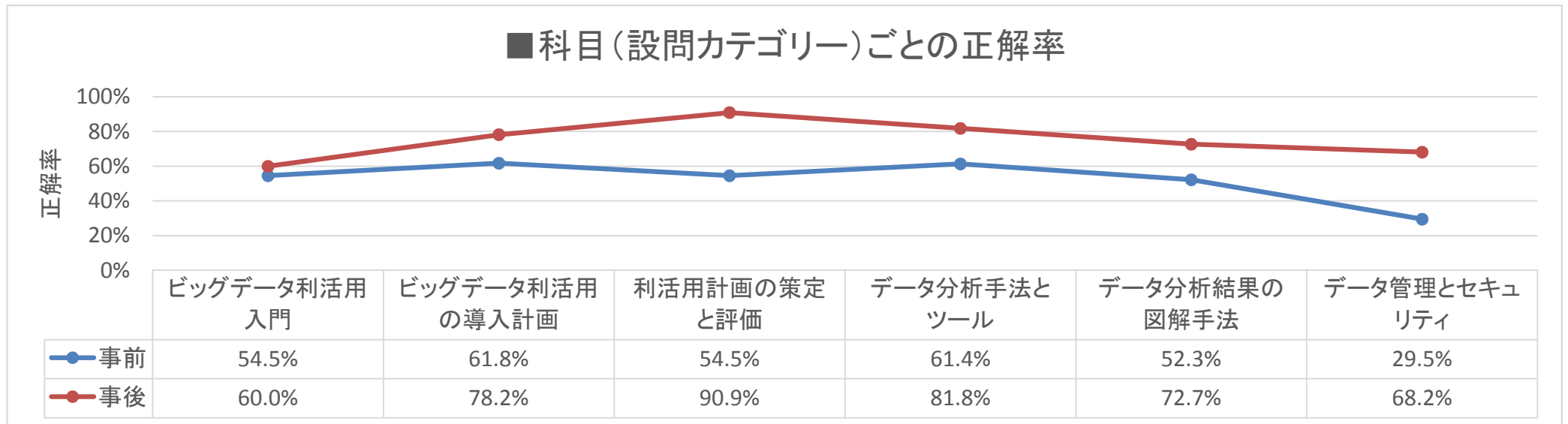
- 各分野向けにもう少し長期で開催してほしい。
- ワークショップの時間をもう少し延ばしてほしい

7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
15.9	21.5

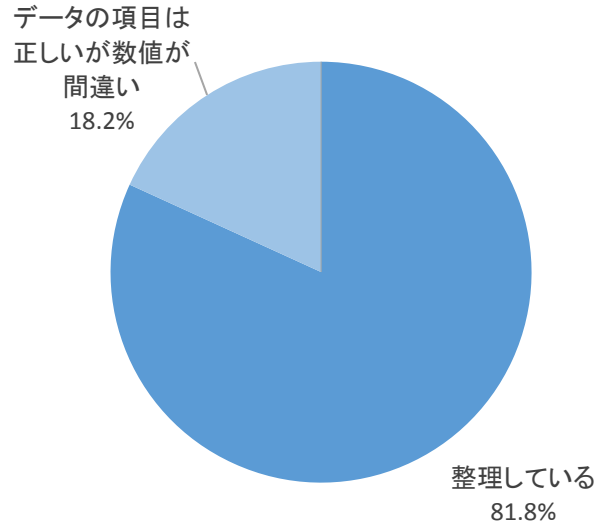
(30点満点)

5.6点UP

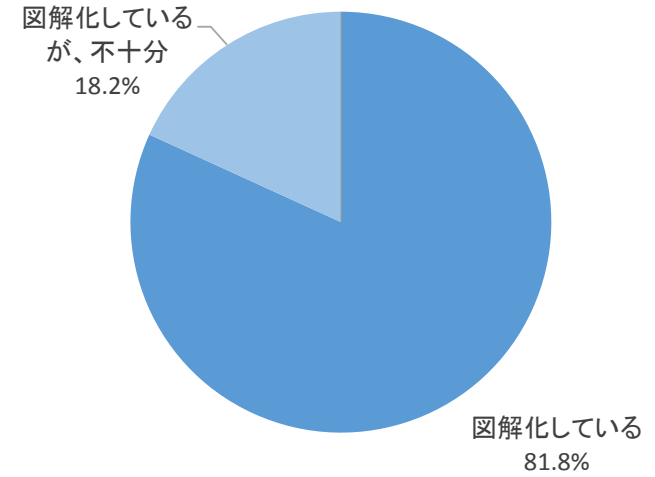


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

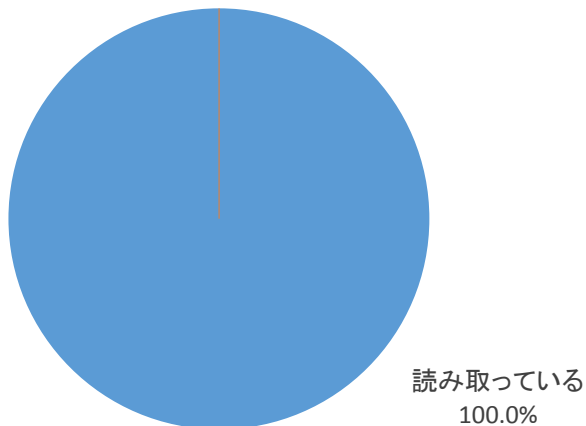
■ データを正しく整理しているか



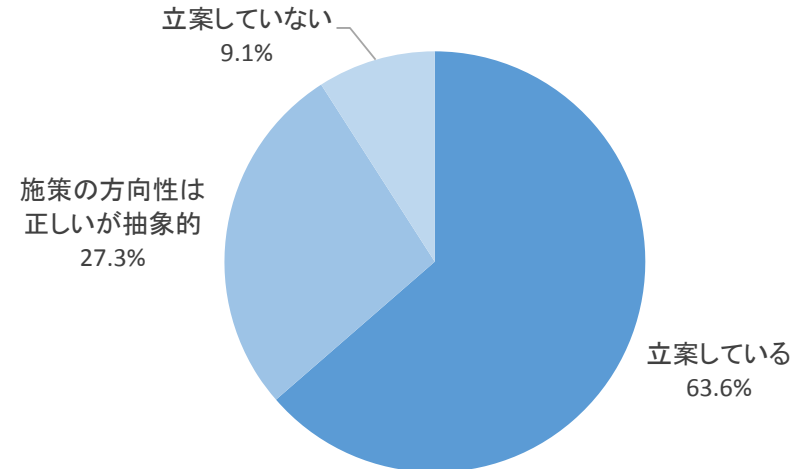
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

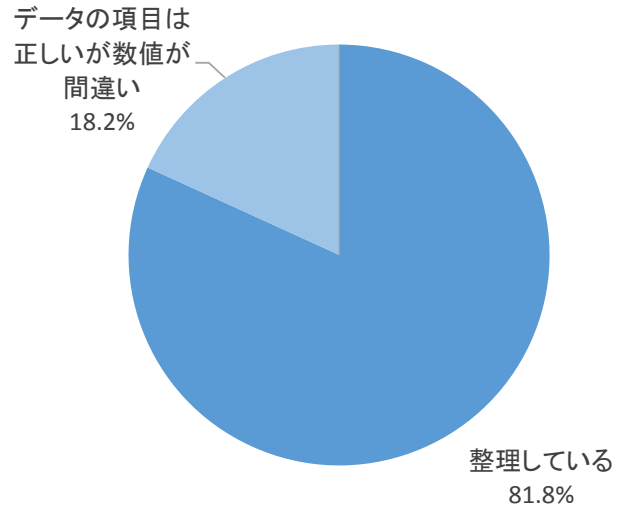


■ 考察から適切な施策を立案しているか

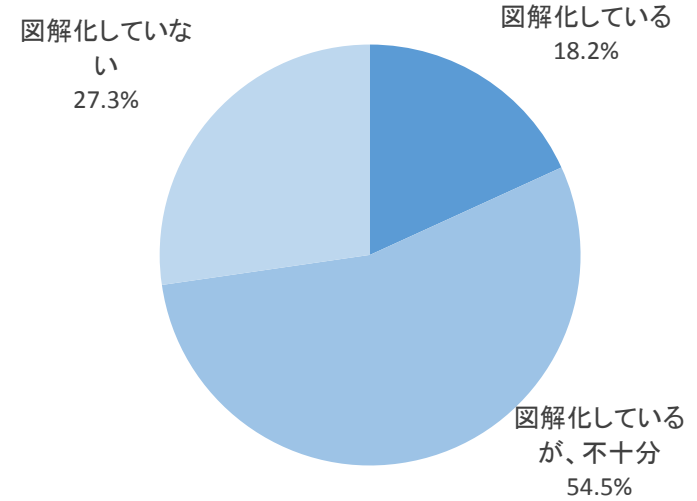


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

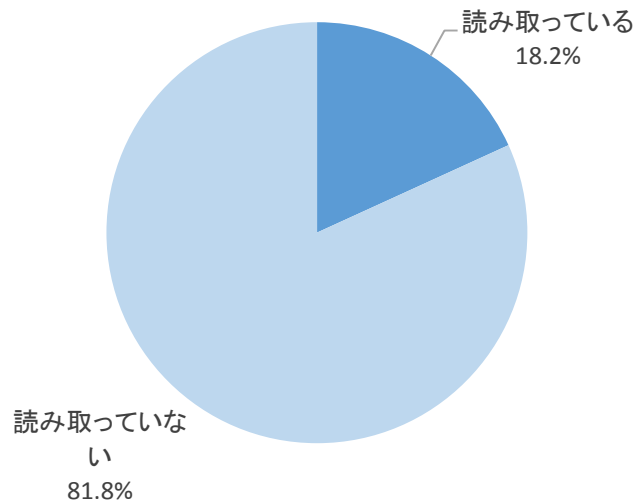
■ データを正しく整理しているか



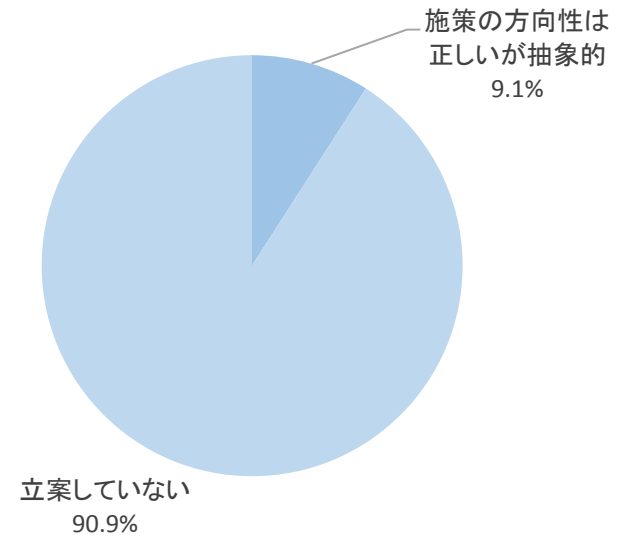
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: データ間の関係性を発見するというのは、なかなか面白いと感じた。これからお客さんへの提案やマイナンバーのところも、いろいろ出てくるとは思うので、また活かしていきたいと思う。
- 受講者B: 業務ではシステム開発をやっていて、畑が違う感じがして特に楽しかった。皆さんありがとうございました。
- 受講者C: 社の方で、ものすごく活用できる内容だった。ロジカルに組み立てるところは、未だ力不足だと非常に感じたので、その部分も含め、社に戻って提案していきたい。
- 受講者D: 色々な所属だったり、バックグラウンドの人と作業する経験ができてすごく楽しかった。ビッグデータについて、基礎的なところを広く教えていただいたので、これから新しい事業をサービスできないか考えていきたい。
- 受講者E: 活用していくには、まだまだ勉強することがたくさんあることが分かった。ただ、体系的にすっきり教えていただいて、資料もかなりまとまっていたので、なんとなく全体は見えたような気がする。今後、これを活かしていきたい。
- 受講者F: 今年度から会社でデータ分析サービスに取り組んでいるが、(研修は)計画に重点をおいた内容だったので、非常に参考になった。どうもありがとうございました。
- 受講者G: 前職では、全社的にビッグデータを活用しようという動きがあったが、現場は何も知らない状況だった。今回、ビッグデータとは何なのか理解が深まったと思う。今回の教訓を活かして、今後、新規事業に着手していきたい。
- 受講者H: ビッグデータについて、ものすごいデータ量で、活用が大変そうだと想像していたが、意外とそんなこともないと、この研修で気付いた。スモールデータからコツコツとやっていきたいと思う。
- 受講者I: 少し落ち着いて頭を整理して、ビッグデータについて調べてみようと思うが、まずは基礎的なことを学べて良かった。

9-2. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者J: いろいろ学ぶべき点が多かった。最新動向が結構あって新しい情報を更新することができた。
- 受講者K: ビッグデータをどういう風に分析していくか、すごい勉強になった。学校に戻って、しっかり復習して伝えていければいいと思う。二日間ありがとうございました。

XI. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(関東会場)」～開催記録～

1. 開催概要

地域	関東(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)
開催形態	特別講座
日程	2015年3月12日～13日 9:30～17:30
会場	情報科学専門学校
会場所在地	神奈川県横浜市
申込者数	36名
受講者数	30名(社会人17名、学生13名)
受講者数(インストラクター育成支援プログラム)	7名
講師	日本サード・パーティ株式会社 清水怜美
協力	総務省 関東総合通信事務所 学校法人 岩崎学園 情報科学専門学校

XI. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(関東会場)」～開催記録～

2-1. 受講者の属性(社会人) N=17

地域	東京都区内 [6]				東京都外 [1]	神奈川県横浜市 [6]			神奈川県川崎市 [1]	静岡県浜松市 [1]	福島県いわき市 [1]	北海道札幌市 [1]
産業分野・業種	林業・水産・鉱業 [1]	建設 [1]	製造 (ICT関連) [1]	金融・保険 [1]	サービス [1]	サービス (ICT関連) [7]			コンサルティング [1]	学校・教育機関 [4]		
所属部門	経営企画 [3]		営業・販売 [1]	マーケティング [1]	情報システム [6]			研究開発 [2]	人事・人材育成 [3]		教育 [1]	
組織規模	19人以下 [2]		20～99人 [3]		100～499人 [8]				500～999人 [2]		1000人以上 [2]	
地位・役職	一般社員 [10]				係長・主任 [1]	課長 [1]	部長 [1]	経営者・役員 [3]		その他 [1]		
勤務先でのビッグデータ利活用状況	一部の部門で取り組んでいる [2]		取り組みを検討している [14]							取り組む予定はない [1]		
分析ツールの使用経験	1年以上 [3]		1年未満 [8]			未経験 [11]						

2-2. 受講者の属性(学生) N=13

地域	東京都 [2]	神奈川県横浜市 [11]		
所属	大学院 [1]	大学 [2]	専門学校 [10]	
専攻	経営・商学部 [2]	社会学部 [1]	工学部(ICT関連) [9]	工学部(ICT関連ではない) [1]
分析ツールの使用経験	1年未満 [2]	未経験 [11]		
ビッグデータに関連した講義やゼミの有無	ある [4]	ない [4]	わからない [5]	

ビッグデータに関連した講義やゼミの内容

- マーケティングサイエンス
- 様々な分析手法を勉強しながら、ビッグデータを取り扱う講義

XI. H26年度 総務省「実践的データ分析コース(関東会場)」～開催記録～

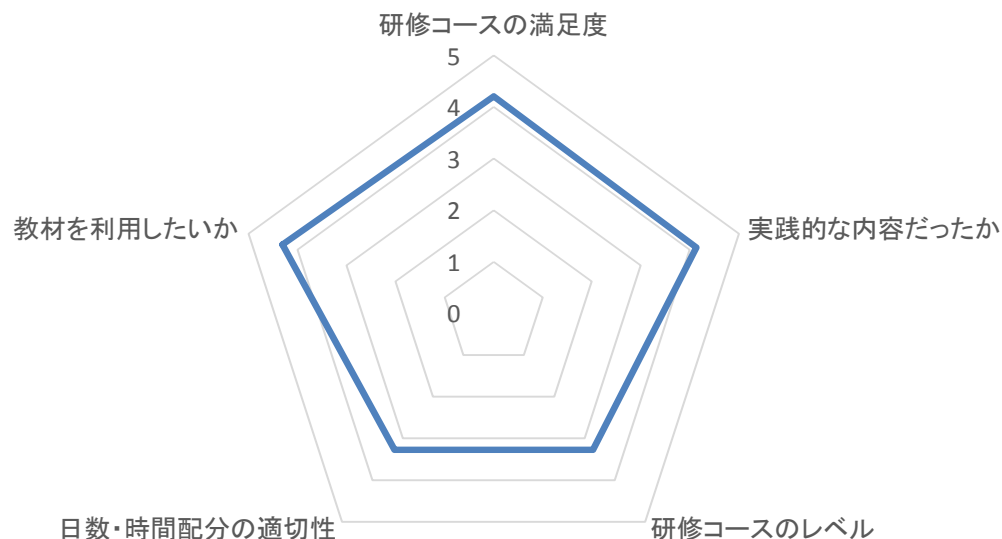
2-3. 受講者の属性(インストラクター育成支援プログラム受講者) N=7

地域	東京都区内 [1]	東京都区外 [1]	神奈川県横浜市 [3]		静岡県浜松市 [1]	北海道札幌市 [1]
産業分野・業種	建設 [1]	金融・保険 [1]	サービス(ICT関連) [1]	学校・教育機関 [4]		
所属部門	経営企画 [1]	情報システム [1]	研究開発 [1]	人事・人材育成 [3]		教育 [1]
インストラクター経験	3年以上 [4]			3年未満 [2]		未経験 [1]
勤務先での立場	フリーランスで活動している講師 [1]	ユーザ企業の人材育成担当者 [1]	大学、専門学校等の教員 [3]		その他 [2]	

現在、取り組んでいる人材育成の分野

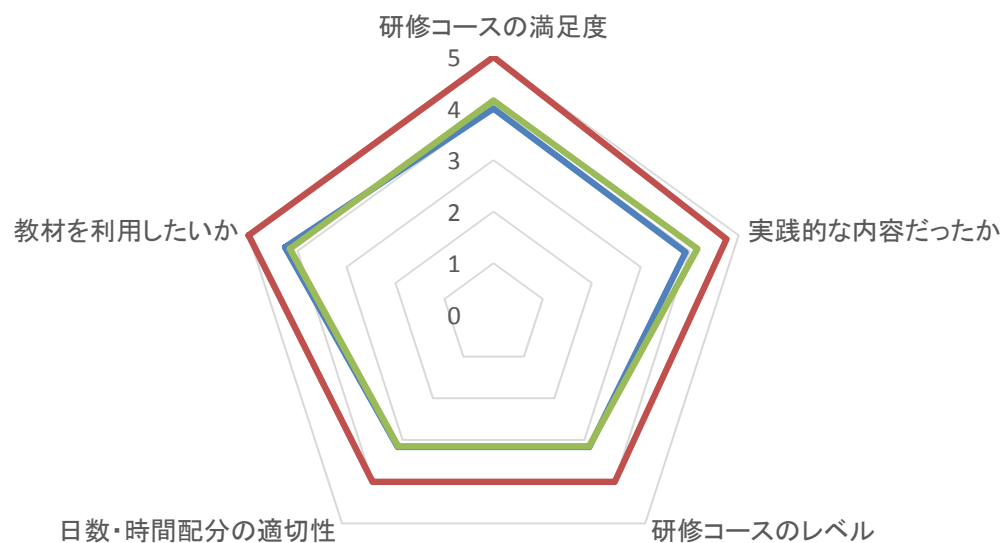
- システム開発エンジニア
- プログラミング、ネットワークセキュリティ等全般
- データを駆使して経営の課題を解決できる人材
- 中小企業ICT部門

3-1. 研修コースの評価(受講者全体)



研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
4.2	4.1	3.3	3.3	4.3

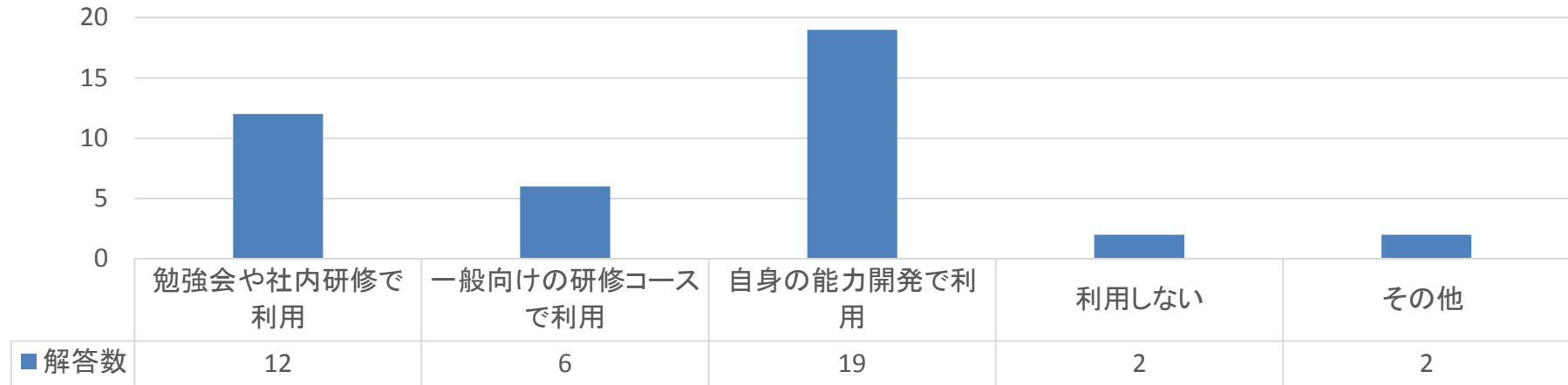
3-2. 研修コースの評価(立場別)



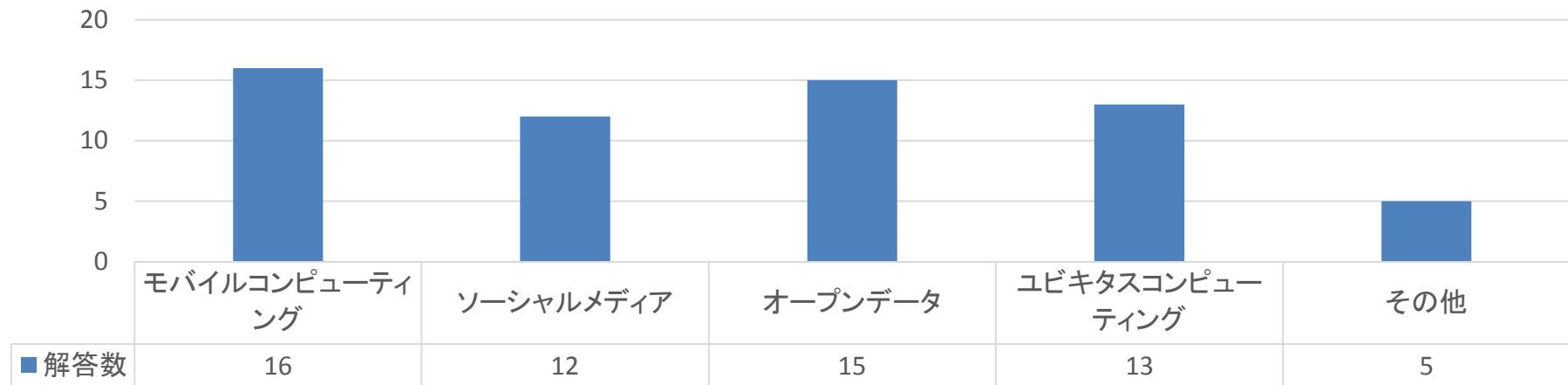
立場	研修コースの満足度	実践的な内容だったか	研修コースのレベル	日数・時間の適切性	教材を利用したいか
企業	4.0	3.9	3.2	3.2	4.3
学校・教育機関	5.0	4.8	4.0	4.0	5.0
学生	4.2	4.2	3.2	3.2	4.2

— 企業 — 学校・教育機関 — 学生

4. 教材の利用意向



5. 今後、期待している高度ICT研修のテーマ



6. 研修コースの運営や教材の改善点(アンケート自由記述欄)

教材の内容

- 技術的な事が少なかったなので、もっと増やしたほうが良いと思いました
- データの収集方法、特にクラウド上のデータ・利用できるデータはどのようなデータがどこにあるのか、収集できるソフトにはどのようなものがあるのか。ない場合は自作する環境等を知りたかった
- もう少し技術や数学、統計学も深く扱ってほしかった
- 章ごとの目次はあったが全体の目次が(たしか)なかったので資料の全体構成がよく分からなかった

演習の内容

- もう少し実践よりの題材やケーススタディが増えるとよいと思う
- 演習やディスカッションの際にも、ゴール地点(何を理解させたいのか)もう少し明確にして頂けると幸いです
- 最後の実践については課題を発見し、与えられたデータの中でそれぞれ分析した方が良いと思います。エクセルの使い方などテクニカルな部分に相当左右されて何を分析したいのかよくわからなかった

日数・時間配分

- 2日目の実習の時間が足りないように思えた
- 実際のBIツール実習はもう少し時間を取って頂きたかった
- もう少し演習部分を充実させた3日間コースとかがあると良いと思います

その他

- テキストについて、PDF等のデジタルデータでも提供していただくと利便性がより高まるかと思います

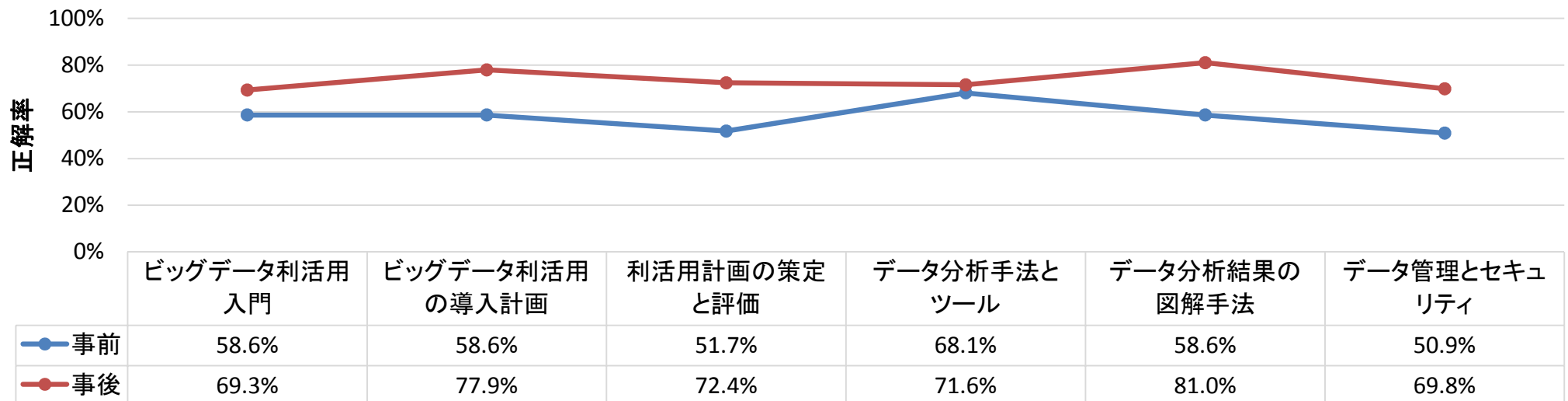
7. アセスメントテストの結果

事前アセスメントテストの平均点	事後アセスメントテストの平均点
17.4	21.9

(30点満点)

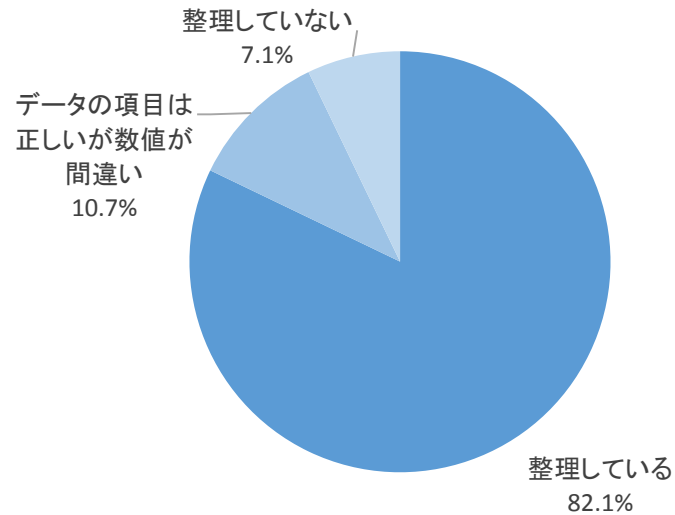
4.5点UP

■ 科目(設問カテゴリー)ごとの正解率

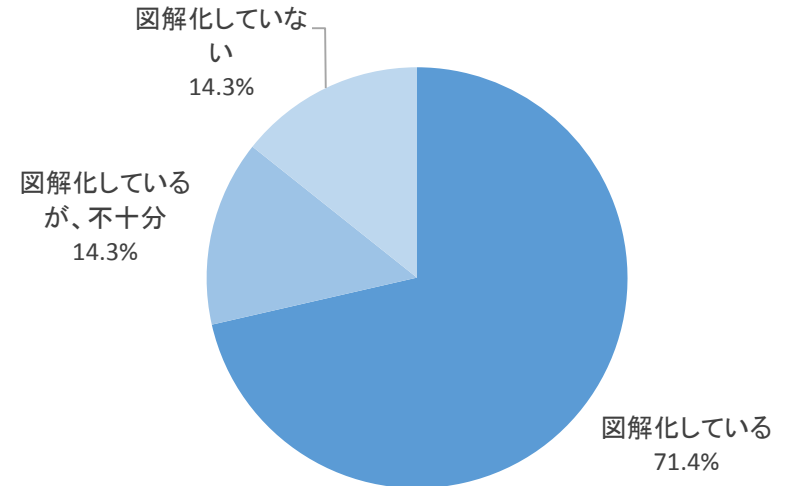


8-1. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題①

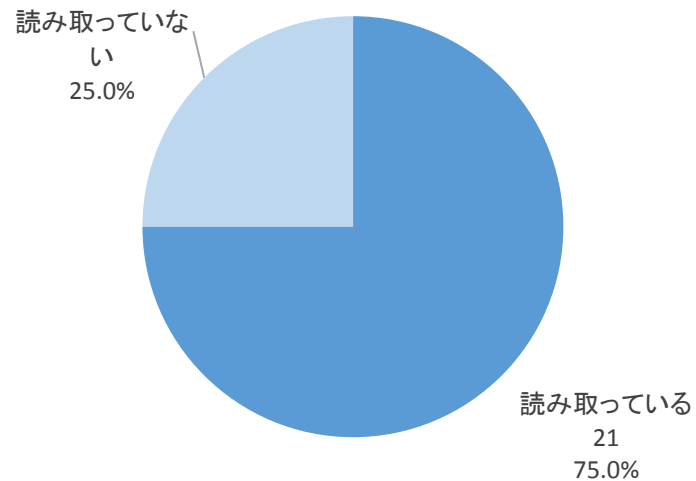
■ データを正しく整理しているか



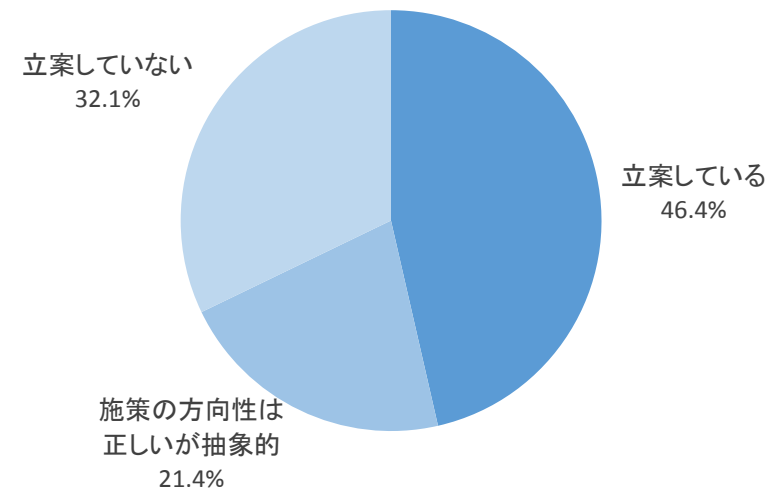
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか

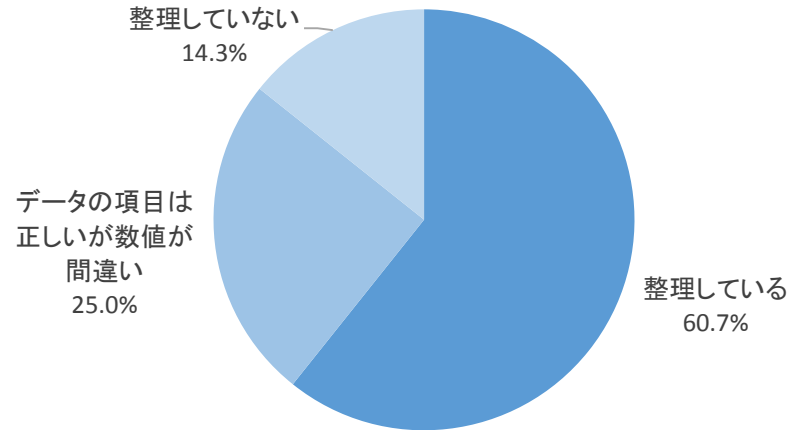


■ 考察から適切な施策を立案しているか

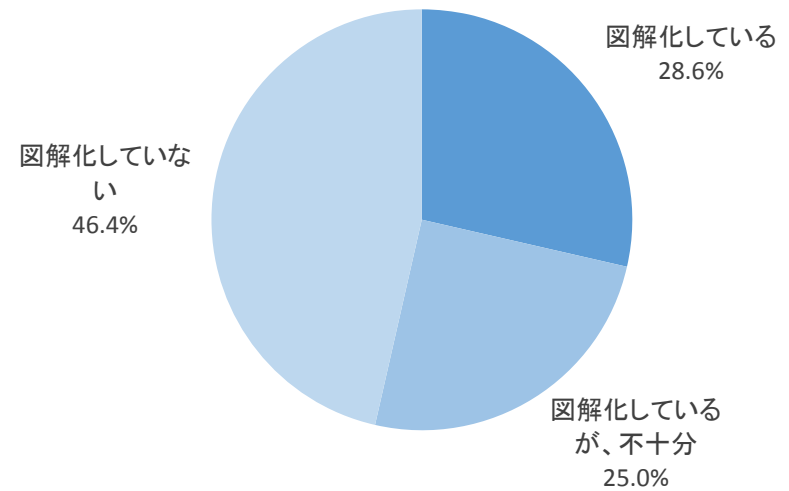


8-2. 総合演習(ハンズオン)の成果物評価: 演習課題②

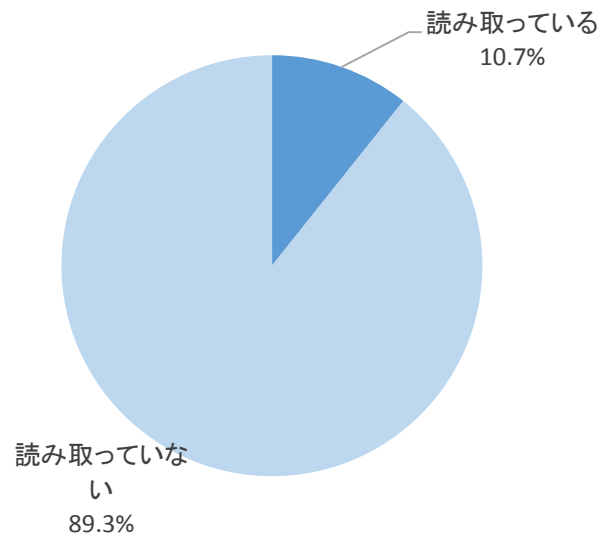
■ データを正しく整理しているか



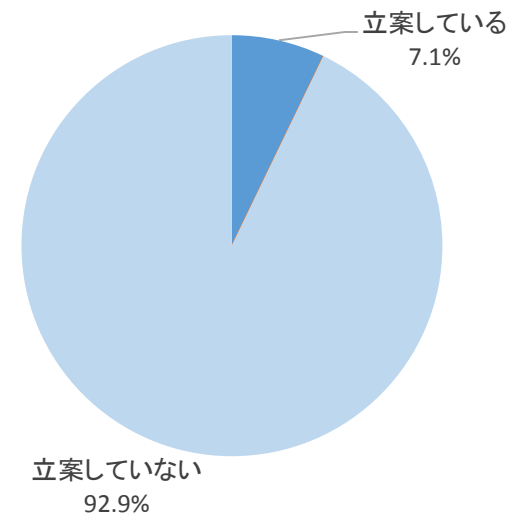
■ 適切に図解化しているか



■ 分析結果を正しく読み取っているか



■ 考察から適切な施策を立案しているか



9-1. 研修コースの感想(企業)

- 受講者A: 二日間本当にありがとうございました。この後、会社にも戻って研修という形で広めていかないといけないが、やはりBIツールの使い方がかなり難しいので、広めていくのが難しいと思うが、頑張っていきたい。
- 受講者B: 二日間勉強したが、知識が増えたというよりも、これからもっと勉強しなきゃいけないと思った。ありがとうございました。
- 受講者C: データ解析に興味があって参加したが、やはりルーチンでやれることはあまりないんだな、というのが分かっただけでも良かったと思う。ありがとうございます。
- 受講者D: 皆さん二日間どうもお疲れ様でした。グループワークも多くて、普段全く使っていない頭もすごい刺激できて、良かった。どうもありがとうございました。
- 受講者E: 座学のところはついていけたが、最後のツールを使った実習のところは、ついにボロがでて、最後まで行き着くことができなかったが、また復習したいと思う。
- 受講者F: 今回、皆さんの発表を聞いて、いろいろためになったので、今後役立てていきたいと思う。そありがとうございました。
- 受講者G: ビッグデータというものは、知識、スキルを身に付ければ直ぐに活かせるイメージでいたが、結局は総合的、多角的に見ていかないといけないと思った。色々な知識が知れて、大変良かった。
- 受講者H: 二日間ありがとうございました。実務でデータ分析を行っているが、普段意識していること、意識していないことを再確認して、体系的に勉強することができた。
- 受講者I: 元々ビッグデータの知識が全くなかったもので、座学はものすごい充実したものだだった。これから何度も復習など、新たな知識を身に付けたいと思う。
- 受講者J: 二日間ついていくのがやっとだったが、普段やってることと、やりたいなということを考えながら参加させていただいた。また忘れないうちに復習を続けて、身に付けていきたいと思う。ありがとうございました。
- 受講者K: 今後は社内に持ち帰って、授業に活かしていくのが私の役目になってくる。非常に有意義な二日間だった。ありがとうございました。
- 受講者L: 普段から業務でデータ分析をやっているが、こうやって改めて体系的に学ぶ機会というのは、なかなか無かったので、非常に二日間勉強になった。

9-2. 研修コースの感想(学校・教育機関)

- 受講者M: なんとか二日間、皆さんの協力のもとで乗り来ることができた。これからも、皆さんのことは忘れないで、頑張って勉強していきたい。
- 受講者N: ビッグデータというものの考え方が、少し私とずれていたと思った。
- 受講者O: 今日のグループワークの皆さんの知っている内容も非常に刺激的で、データとの向き合い方、付き合い方、分析の仕方その辺を確かめることが必要かなと感じた。これからも、データ分析の勉強をしっかりとやっていこうかなと思った。皆さんお疲れ様でした。
- 受講者P: 教員をやっているが、やっぱり学生に必要なのは、こういうことかなと非常に感じた。いわゆるツールの使い方とかではなくて、あくまで、ビジネスの課題があって、それに対してどう提供していくのか、答えのない授業だと思う。こういうものを、(学校でも)是非やっていきたいと思う。本当にありがとうございました。

9-3. 研修コースの感想(学生)

- 受講者Q: 初めて学ぶことが多くて、すごい混乱してしまったが、今後もこの考え方とか活かしていきたいと思う。
- 受講者R: ビッグデータの知識は元々無かったが、この二日間で色々な知識が増えたと思う。これからこの知識を有意義に使えたらいいと思うし、また勉強しながら、頑張りたい。
- 受講者S: 本では、ビッグデータはどういうものか、少し見ていたが、いざ、BIツールを使ってみると、(想像と)違っていて、これから頑張って勉強していかないといけないと思った。
- 受講者T: 二日間お疲れ様でした。最後のBIツールは研修だけじゃ足りないと思って、やっぱ色々なBIツールを活かして、二年後仕事に活かしたいと思う。
- 受講者U: データ関連のことを研究していて、知ってるつもりだったが、より深く体系的に学ぶことができた。もっとデータベースのマネジメントが普及していけばいいと思う。ありがとうございました。
- 受講者V: 今回学んだことを、学生生活の中で、また社会に出たときに活かせたらと思う。二日間ありがとうございました。
- 受講者W: 知識不足で、グループメンバーの方には、非常に迷惑をお掛けしたと思うが、この経験を活かして、自分の学業の幅を広げていけたらなと思う。
- 受講者X: グループワークでは、自分の課題とか反省を見つけられたと思う。明日から、勉強したり反省点をどう直していくか向き合ってみようと思う。二日間ありがとうございました。
- 受講者Y: いろいろ知識も多かったのですが、覚え切れてないことも多いが、これから帰って勉強しようかなと思う。二日間ありがとうございました。
- 受講者Z: 体系的にいろいろ教えていただいて、ツールの使い方も初めて触るツールなので非常に楽しく使うことができた。ありがとうございます。
- 受講者AA: 来年卒業するので、この二日間の経験を活かして、就活と卒業研究頑張りたいと思う。
- 受講者AB: ビッグデータについて、これまでイメージがわいてこなかったが、今日やって、これからビッグデータの何を勉強していけばいいのかイメージが固まってきた。ありがとうございました。